

平成 31/令和 1 年度  
名古屋市立大学大学院薬学研究科  
自己点検・評価報告書

2019

## 目次

1	博士学位取得者	1
2	修士学位取得者	4
3	講演会等（2019年1月から2019年12月）	8
4	研究業績目録（2019年1月から2019年12月）	21
	薬化学分野	22
	精密有機反応学分野	26
	薬品合成化学分野	29
	生体超分子システム解析学分野	31
	コロイド・高分子物性学分野	32
	生命分子構造学分野	35
	分子生物薬学分野	47
	薬物送達学分野	49
	生薬学分野	52
	衛生化学分野	59
	遺伝情報学分野	61
	細胞分子薬効解析学分野	63
	病態生化学分野	67
	薬物動態制御学分野	70
	病態解析学分野	73
	細胞情報学分野	74
	神経薬理学分野	76
	医薬品安全性評価学分野	81
	病院薬剤学分野	84
	臨床薬学分野	90
5	科学研究費等補助金	96
6	新聞報道等（2019年1月から2019年12月）	106
7	進路および就職状況	111
8	在籍者名簿	115

# 1 博士学位取得者

学位記 番号	博士の専 攻分野の 名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主論文名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
		(ふりがな) 氏名	性別	大学院名	研究科 (専攻)名							
甲第 352号	博士 (薬学)	(やまかげ ゆうこ) 山影 祐子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	生後脳におけるリーリン特異的切断の機構、および、その阻害によるアルツハイマー病態抑制効果の解明	H31.3.31	松永 民秀	服部 光治	頭金 正博	田中 正彦	—
甲第 353号	博士 (薬科学)	(こんどう さとし) 近藤 聡志	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ヒトiPS細胞由来腸管幹細胞の維持培養方法の確立と腸管上皮細胞の粘膜障害作用及び保護作用評価への利用	H31.3.31	糸 和彦	松永 民秀	山村 壽男	尾関 哲也	—
甲第 354号	博士 (薬科学)	(さえき たかのり) 佐伯 尚紀	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	小胞体・筋小胞体からのリアノジン受容体を介したCa <sup>2+</sup> 放出によるCa <sup>2+</sup> シグナル伝達機構の解析	R2.3.25	肥田 重明	山村 壽男	大澤 匡弘	田中 正彦	—
甲第 355号	博士 (薬科学)	(やまむら ひでと) 山村 英斗	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	低酸素ストレスにおける脳微小血管内皮細胞の増殖・死機構に関与するイオンチャネルの病態生理学的意義の解明	R2.3.25	星野 真一	山村 壽男	中川 秀彦	井上 靖道	—
甲第 356号	博士 (薬科学)	(のなか ゆか) 野中 友香	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	2型糖尿病治療薬の有効性における民族差研究: システマティックレビュー及びメタアナリシスによる検討	R2.3.25	鈴木 匡	頭金 正博	牧野 利明	糸 和彦	—
甲第 357号	博士 (薬学)	(かわらだ ゆうき) 川原田 祐貴	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	細胞増殖を制御するシグナル伝達とがん抑制遺伝子p53のクロストークによる遺伝子発現制御に関する研究	R2.3.25	星野 真一	林 秀敏	青山 峰芳	伊藤 佐生智	—
甲第 358号	博士 (薬学)	(さかい ようこ) 堺 陽子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	<i>In vitro</i> 胆汁鬱滞肝毒性評価系の開発	R2.3.25	肥田 重明	松永 民秀	木村 和哲	湯浅 博昭	—
甲第 359号	博士 (薬科学)	(おおた ゆうへい) 太田 悠平	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ケミカルスクリーニングを志向したCARM1 およびLSD1 活性検出プローブの開発	R2.3.25	樋口 恒彦	中川 秀彦	井上 靖道	中村 精一	—
甲第 360号	博士 (薬学)	(あおき ひろまさ) 青木 啓将	男	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ヒトiPS細胞由来血管内皮前駆細胞および脳毛細血管内皮細胞の効率的な分化誘導法の開発	R2.3.25	山村 壽男	松永 民秀	青山 峰芳	糸 和彦	—
甲第 361号	博士 (薬科学)	(おぎの ひまり) 荻野 ひまり	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	脳の形成と機能を司る分泌蛋白質リーリンの機能制御機構とその生理的意義の解明	R2.3.25	青山 峰芳	服部 光治	田中 正彦	斉藤 貴志	—

学位記 番号	博士の専 攻分野の 名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		主論文名	授与 年月日	主査	副査 (指導 教員)	副査	副査	副査
		(ふりがな) 氏名	性別	大学院名	研究科 (専攻)名							
甲第 362号	博士 (薬学)	(のだ さゆり) 野田 さゆり	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	BK <sub>Ca</sub> チャンネル新規修飾γ1サブユニットの生理 機能及び病態機構への関与	R2.3.25	条 和彦	山村 壽男	伊藤 佐生智	大矢 進	—
甲第 363号	博士 (薬科学)	(こえだ あきこ) 小枝 暁子	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	カニクイザル新鮮及び凍結肝細胞における薬物 動態関連遺伝子発現の経時変動並びに誘導プ ロファイルの比較	R2.3.25	頭金 正博	松永 民秀	湯浅 博昭	井上 靖道	—
甲第 364号	博士 (薬科学)	(さとう ゆみ) 佐藤 由美	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	外来がん患者の緩和ケアにおける薬局薬剤師 の役割の検討	R2.3.31	鈴木 匡	条 和彦	頭金 正博	松永 民秀	大澤 匡弘
甲第 365号	博士 (薬科学)	(やまだ あき) 山田 亜紀	女	名古屋市立大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	イチゴおよびモミジバダイオウにおける配糖化酵 素の機能解析	R2.3.31	中川 秀彦	牧野 利明	星野 真一	佐藤 匡史	—
乙第 202号	博士 (薬科学)	(ふじえだ ひろき) 藤枝 広樹	男			チオフェニルピロリジン骨格を有する新規グルコ キナーゼ活性化薬の創製およびスケールアップ 研究	R1.9.25	樋口 恒彦	中川 秀彦	尾関 哲也	平嶋 尚英	—

## 2 修士学位取得者

学位番号	分野名	氏名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2179	薬化学	伊藤 聖人	男	細胞毒性の低減を志向した光応答性酸素消費剤としてのカルコゲノローダミン類の合成と機能評価	R2.3.25	中川	樋口	井上	—
2180	薬化学	菰田 潮	男	レシオ型SIRT1活性検出蛍光プローブの開発	R2.3.25	中川	梅澤	佐藤 <sup>匡</sup>	—
2181	薬化学	齋藤 大介	男	N-Nitrosoaminophenol誘導体と色素を含むナノ粒子の光応答性NO供与能の検討	R2.3.25	中川	池田	山中	—
2182	薬化学	本部 竜馬	男	小分子scribbleリガンドの探索を志向したスクリーニング系の構築	R2.3.25	中川	中村	星野	—
2183	精密有機反応学	北川 宙輝	男	一時的環状化を用いた、細胞内で活性化される新規LSD1阻害ペプチドの開発	R2.3.25	樋口	中川	佐藤 <sup>匡</sup>	—
2184	薬品合成化学	伊藤 翼	男	ロンガニンの合成研究 —酸化/付加環化連続反応における置換基効果の検証—	R2.3.25	中村	中川	池田	—
2185	薬品合成化学	大迫 将弥	男	シラシロシドE-1 A環部の不斉合成研究	R2.3.25	中村	中川	梅澤	—
2186	薬品合成化学	斎藤 彩有里	女	伝統薬成分カドコシラクトンA DE環部の合成研究	R2.3.25	中村	樋口	池田	—
2187	生体超分子システム解析学	丹羽 恭平	男	光学顕微鏡法によるコロイド粒子会合体の拡散の研究	R2.3.25	平嶋	尾関	佐藤 <sup>匡</sup>	—
2188	生体超分子システム解析学	古澤 遥	女	マスト細胞と好中球の相互作用に寄与する機能分子の解析	R2.3.25	平嶋	肥田	大澤	—
2189	コロイド・高分子物性学	西尾 文貴	男	コロイド粒子分散系の安定性に対する塩濃度の影響	R2.3.25	山中	平嶋	尾関	—
2190	生命分子構造学	小藤 加奈	女	カルシウムイメージングを用いた味覚修飾タンパク質クルクリンと甘味受容体の相互作用解析	R2.3.25	加藤	山村	湯浅	—
2191	生命分子構造学	齋藤 泰輝	男	フコース転移酵素9によるタンパク質特異的な糖鎖修飾機構の解明	R2.3.25	加藤	林	白根	—
2192	薬物送達学	小松 美穂	女	ポリ乳酸グリコール酸を基剤とした多孔質マイクロ粒子の調製と機能性吸入製剤への応用	R2.3.25	尾関	山中	湯浅	—
2193	薬物送達学	LIU JIN	女	3Dバイオプリンターを用いたリポソーム含有ゲルインプラントの開発	R2.3.25	尾関	湯浅	鈴木	—
2194	生薬学	許 鑫	男	Inducible effect of heated honey products on G-CSF production in intestinal epithelial cells and its contributing ingredients	R2.3.25	牧野	肥田	佐藤 <sup>匡</sup>	—
2195	生薬学	近藤 泰嗣	男	牛車腎気丸のサルコペニアに対する有用性とその有効生薬・成分の探索・解析	R2.3.25	牧野	樋口	林	—

学位 番号	分野名	氏 名	性 別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2196	生薬学	倪 昊	女	<i>In vitro</i> effect of <i>Valeriana fauriei</i> root extract on GABA <sub>A</sub> receptor and its active ingredients	R2.3.25	牧野	条	中村	—
2197	衛生化学	滝藤 遥希	女	黄色ブドウ球菌免疫かく乱毒素による肥満細胞の活性化	R2.3.25	肥田	平嶋	井上	—
2198	衛生化学	藤岡 直人	男	ビフィズス菌を用いた腫瘍選択的DDSの安全性に関する研究	R2.3.25	肥田	林	岩尾	—
2199	遺伝情報学	大石 結香	女	mRNAポリA鎖長が翻訳効率に及ぼす影響の解明	R2.3.25	星野	条	井上	—
2200	遺伝情報学	合田 凌也	男	RNase Lを標的としたmRNA医薬安定化技術の開発	R2.3.25	星野	林	白根	—
2201	遺伝情報学	宮原 彰太	男	翻訳終結因子eRF3によるmRNAポリA鎖分解開始のメカニズム	R2.3.25	星野	服部	牧野	—
2202	細胞分子薬効解析学	小澤 拓海	男	マウス腸間膜動脈の興奮転写連関におけるCaMKKの役割	R2.3.25	山村	木村	細田	—
2203	細胞分子薬効解析学	澤井 優輝	男	マウス骨髄由来マクロファージのP2X7受容体活性に対するカベオリン1の寄与	R2.3.25	山村	服部	伊藤	—
2204	細胞分子薬効解析学	楯野 真也	男	Kv1.6チャネルと変形性関節症の関連	R2.3.25	山村	大澤	大矢	—
2205	病態生化学	石井 圭介	男	リーリンの生化学的性質および海馬形成における機能に関する研究	R2.3.25	服部	条	井上	—
2206	病態生化学	大嶋 智葉	女	脳におけるリン脂質フリッパーゼの局在と機能に関する研究	R2.3.25	服部	田中	白根	—
2207	病態生化学	興梠 勝成	男	神経細胞における脂肪酸の生理的意義	R2.3.25	服部	青山	白根	—
2208	薬物動態制御学	難波 莉子	女	小腸及び肝細胞モデルにおけるnicotinamide担体輸送系の比較解析	R2.3.25	湯浅	牧野	岩尾	—
2209	病態解析学	白川 茉由	女	低体温療法が神経幹細胞の分化と神経細胞の成熟に与える影響について	R2.3.25	青山	山村	大澤	—
2210	病態解析学	安富 栄人	男	炎症性破骨細胞の分化機構およびその性状の探索	R2.3.25	青山	平嶋	肥田	—
2211	細胞情報学	渡辺 信	男	脱ユビキチン化酵素USP7を介した上皮間葉転換関連転写因子Twistの安定化機構の解明	R2.3.25	林	星野	服部	—
2212	神経薬理学	石崎 千晶	女	ショウジョウバエの各種甘味料に対する嗜好性と行動への影響	R2.3.25	条	星野	青山	—



学位 番号	分野名	氏 名	性別	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2213	神経薬理学	岩城 杏奈	女	オキサリプラチン誘発アロディニアに対するシンバスタチンの効果解析	R2.3.25	条	牧野	山村	—
2214	レギュラトリーサイエンス	落部 達也	男	ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期スタチン使用の有用性の評価	R2.3.25	頭金	条	鈴木	—
2215	レギュラトリーサイエンス	早瀬 稔起	男	臨床試験データを用いた複合心血管イベントの発症に対する2型糖尿病治療薬の影響と民族差に関する研究	R2.3.25	頭金	岩尾	青山	—
2216	臨床薬学	小川 勇	男	創薬研究支援材料への利用を目的としたヒトiPS細胞由来腸管オルガノイド培養技術の開発	R2.3.25	松永	湯浅	頭金	—
2217	臨床薬学	外山 智視	男	潰瘍性大腸炎モデルマウスに対するヒトiPS細胞由来腸管幹細胞移植治療	R2.3.25	松永	青山	頭金	—
2218	医薬品質保証学	小林 健也	男	単一細胞に分散されたヒト多能性幹細胞の生存率最適化に関する研究	R2.3.25	佐藤 <sup>陽</sup>	松永	頭金	—

### 3 講演会等

(2019年1月から2019年12月)

開催日： 2019年1月15日  
講演会： 名古屋市立大学薬学部・神経薬理学特別セミナー  
講師： 内谷正文  
所属： 俳優・映画監督  
演題： 遠回りしなければ分からなかった～薬物依存症との闘い～  
世話分野： 神経薬理学分野

開催日： 2019年1月18日  
講演会： Next Generation Leader Conference  
場所： JPタワー名古屋  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年1月19日  
講演会： 第50回愛知県糖尿病薬物療法研究会  
講師： 小山佐知子  
所属： 名古屋第一赤十字病院薬剤部  
演題： どうする糖尿病診療？がん治療中の患者さんと関わって  
講師： 石川 寛  
所属： 静岡県立静岡がんセンター  
演題： がん化学療法中の糖尿病合併患者への薬学的介入  
講師： 大橋 健 科長  
所属： 国立がん研究センター中央病院総合内科・歯科・がん救急科  
演題： 糖尿病とがんの危険な関係～2つの病を支える対話のかたち～  
場所： TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋ルーセントタワー  
世話人： 菊池千草，他（愛知県糖尿病薬物療法研究会）

開催日： 2019年1月24日  
講演会： 第1回薬剤師のための経口抗がん剤服薬指導セミナー  
場所： 名古屋市立大学病院  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年1月25日  
講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師： 廣田順二 准教授  
所属： 東京工業大学  
演題： 臭神経細胞の運命選択の分子機構  
世話分野： 病態生化学分野

開催日： 2019年1月26日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 東 英樹  
所属： 名古屋市立大学病院こころの医療センター  
演題： てんかんの薬物治療  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年1月27日～28日  
講演会： 第3回名古屋市立大学-梨花女子大学ジョイントシンポジウム  
場所： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
世話人： 佐藤匡史

開催日： 2019年1月30日  
講演会： 第18回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 嶋田逸誠 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生化学分野  
演題： 神経幹細胞の運命決定制御機構による水頭症の発症メカニズムの解明  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年2月1日  
講演会： 杏林シンポジア シリーズ泌尿器科領域  
場所： 日経ラジオ本社スタジオ  
演者： 木村和哲

開催日： 平成31年2月1日～2日  
講演会： ExCELLS Retreat for Young Scientists 2018  
場所： みかわ温泉 海遊亭  
主催： 生命創成探究センター  
世話人： 三井優輔、谷中冴子、田中智弘、大谷哲久、畠山宙大、宮澤和久、青木一洋

開催日： 2019年2月16日  
講演会： 日本酸化ストレス学会東海支部第7回学術集会  
場所： 名古屋市立大学 名駅サテライト  
世話分野： 精密有機反応学分野

開催日： 2019年2月23日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 田中智洋  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学  
演題： 肥満症を克服して糖尿病の寛解を目指す  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年2月27日  
講演会： 第19回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 田口和己 助教  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野  
演題： マクロファージによる尿路結石溶解療法を目指した遺伝子解析研究  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年3月7日  
講演会： 第4回病棟薬剤師・薬剤師スキルアップNOW  
場所： 名古屋大学医学部  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年3月8日  
講演会： 平成30年度 如月会  
場所： 名古屋市立大学 医学部研究棟11階  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年3月9日  
講演会： 第5回東海あすか学術講演会  
場所： ミッドランドスクエア  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年3月9日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 佐々木郁枝  
所属： ニュートリー株式会社  
演題： 褥瘡と感染症の栄養管理～コラーゲンペプチドと乳酸菌の働きについて～  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年3月20日  
講演会： 第20回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 植村明嘉 教授  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 網膜血管生物学寄付講座  
演題： 糖尿病網膜症における血管異常メカニズム  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年3月22日  
講演会： 第3回名古屋リズム研究会  
場所： 名古屋市立大学田辺キャンパス内  
世話分野： 神経薬理学分野

開催日： 2019年3月30日  
講演会： 第51回愛知県糖尿病薬物療法研究会  
講師： 青谷大介 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学  
演題： 糖尿病を伴う肥満症の治療について  
講師： 片岡智哉 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科臨床薬剤学  
演題： 2型糖尿病に伴う男性性機能障害の発症と男性ホルモン投与の有効性  
講師： 川瀬弘多郎  
所属： 名古屋市立大学病院診療技術部診療技術科栄養管理係  
演題： 名古屋市立大学病院での肥満・糖尿病患者への肥満外科手術の術後栄養管理  
講師： 田中智洋 准教授  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科消化器・代謝内科学  
演題： 新時代の糖尿病・肥満症治療－薬物療法の課題と展望－  
場所： TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口  
世話人： 菊池千草，他（愛知県糖尿病薬物療法研究会）

開催日： 2019年3月31日  
講演会： 第30回日本医学会総会 2019 中部  
講師： 松延 康  
所属： 夢・サイエンス  
講師： 菊池千草 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
演題： 松延康先生の世界一受けたいくすりの授業

場所： ポートメッセなごや  
世話人： 日本製薬工業協会

開催日： 2019年4月17日  
講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師： 梅田真郷 教授  
所属： 京都大学  
演題： 膜脂質の分子運動から生物現象を探る  
世話分野： 病態生化学分野

開催日： 2019年4月23日  
講演会： 桜山 Pharmacist Workshop  
場所： 名古屋市立大学病院  
演題： 「糖尿病・肥満症に関する特別講演」  
演者： 木村和哲

開催日： 2019年4月24日  
講演会： 第21回 NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 大石久史 教授  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 病態モデル医学分野  
演題： 実験動物におけるゲノム編集の現状と課題  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年4月24日  
講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師： 佐藤隆一郎 教授  
所属： 東京大学大学院農学生命科学研究科食品生化学分野  
演題： コレステロール代謝産物による代謝制御  
世話分野： 細胞情報学分野

開催日： 2019年4月27日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 福光研介  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学  
演題： ガイドラインに準じた喘息の实地診療  
世話分野： 牧野利明

開催日： 2019年5月16日  
講演会： 日本薬剤学会第34年会学術シンポジウム2「経肺経鼻投与型製剤の設計と体内動態の評価」  
場所： 富山国際会議場  
世話人： 尾関哲也、岡本浩一

開催日： 2019年5月18日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 杉浦健之  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野 疼痛医学部門

演題： いたみセンターにおける慢性疼痛の薬物治療

世話人： 牧野利明

開催日： 2019年5月22日

講演会： 第22回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー

講師： 吉井達之 助教

所属： 名古屋工業大学大学院工学研究科 生命・応用化学専攻

演題： 細胞内タンパク質を操る分子ツール

世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年5月23日

講演会： 招聘勉強会

場所： 小野薬品工業株式会社

演題： 大学病院における医薬品適正使用

演者： 木村和哲

開催日： 2019年5月28日

講演会： 緑区薬剤師会講演会

場所： 鳴海商工会議所

演題： 大学病院と地域保険薬局との連携を考える

演者： 木村和哲

開催日： 2019年5月30日

講演会： 糖尿病イブニングセミナー春学術講演会 2019

講師： 夏目久美子 室長

所属： 岡崎市民病院医療技術局臨床検査室

演題： 持続血糖モニターにおける療養指導への関わり

講師： 神谷英紀 准教授

所属： 愛知医科大学糖尿病内科

演題： 糖尿病性神経障害とインクレチン

場所： 名古屋市立大学桜山キャンパス

世話人： 菊池千草，他（桜山糖尿病勉強会）

開催日： 2019年6月3日

講演会： 薬薬連携ガン協議会

場所： 名古屋市立大学病院

演題： バイオシミラーの現状

世話人： 木村和哲

開催日： 2019年6月3日

講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会

講師： Min Li

所属： Mr. & Mrs. Ko Chi-Ming Centre for Parkinson's Disease Research; Director, Teaching & Research Division; School of Chinese Medicine, Hong Kong Baptist University

演題： Ancestors' Gift from Traditional Chinese Medicine: Targeting Autophagy-Lysosome Pathway for New Drug Discovery for Neurodegenerative Diseases

世話人： 牧野利明

開催日： 2019年6月8日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 杉浦知範  
所属： 名古屋市立大学病院循環器内科  
演題： 高血圧治療～JSH2014からJSH2019へ～  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年6月10日～12日  
講演会： 日本ケミカルバイオロジー学会第13回年会  
場所： 愛知県産業労働センター「ウインクあいち」  
世話人： 中川秀彦

開催日： 2019年6月13, 14日  
講演会： 第56回薬剤学懇談会研究討論会（第1回令和の薬剤学を考える懇談会）  
場所： 愛知県蒲郡温泉郷「天の丸」  
世話人： 尾関哲也、楠原洋之、箱守正志、森部久仁一、山下伸二

開催日： 2019年7月6日～9日  
講演会： Frontier Bioorganization Forum 2019  
場所： Rm. 1503, KIAS, Seoul  
世話人： Jooyoung Lee, Koichi Kato

開催日： 2019年7月10日  
講演会： 第23回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 佐藤豊大 病院助教  
所属： 名古屋市立大学医学研究科 神経内科学  
演題： コリン作動性神経賦活はCognitive Reserveのメカニズムの一つとなり得るか  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年7月24日  
講演会： 第24回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 田村哲也 助教  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学分野  
演題： エリスロポエチンの活性化ミクログリア抑制を介した神経保護作用  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年8月2日～4日  
講演会： 第20回若手NMR研究会  
場所： ホテルたつき  
世話人： 谷中冴子、矢木真穂

開催日： 2019年8月3日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 脇田竜也  
所属： GSK 中部営業部  
演題： COPD治療薬の最近のトピックス



講師： 福島雅憲  
所属： マイラン EPD 合同会社  
演題： たかが便秘、されど便秘～ガイドラインを中心に便秘治療について  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年8月25日  
講演会： 第4回日本薬学教育学会大会シンポジウム15  
場所： 大阪大学豊中キャンパス  
オーガナイザー： 菊池千草, 河田 興

開催日： 2019年9月1日  
講演会： 第35回(2019年)名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講師： 山村寿男 教授  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科細胞分子薬効解析学分野  
演題： 肺高血圧症の病態と治療ガイドライン  
講師： 桑野敬市 部長  
所属： 日本新薬株式会社研究開発本部研開企画統括部研開企画部  
演題： 肺動脈性肺高血圧症(PAH)治療剤 セレキシパグの研究開発の経緯  
講師： 武田 裕 副院長  
所属： NTT西日本東海病院  
演題： 肺高血圧症治療薬の射程：誤報・偽報・混乱・実害  
場所： 名古屋市立大学田辺通キャンパス  
世話人： 菊池千草, 他(名古屋市立大学薬学部薬友会)

開催日： 2019年9月2日  
講演会： 薬薬連携ガン協議会  
場所： 名古屋市立大学病院  
演題： 麻薬の取り扱いについて  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年9月12日  
講演会： 第7回ExCELLSセミナー  
講師名： 森戸大介 講師  
所属： 昭和大学医学部  
演題： もやもや病責任遺伝子の生理・病態機能  
世話人： 加藤晃一

開催日： 2019年9月14日  
講演会： 日本薬学会医薬化学部会創薬人育成スクールアドバンストコース講演会  
場所： 名古屋市立大学桜山キャンパス医学部研究棟11階講義室A  
世話人： 中川秀彦

開催日： 2019年9月18日  
講演会： 第188回薬学談話会  
講師： 大石俊輔 特任助教  
所属： 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所  
演題： ペプチドライゲーションと植物ケミカルバイオロジー  
世話人： 家田直弥、石内勘一郎、岩尾岳洋、川口充康、河野孝夫、鈴木良明、築地仁美、富田  
淳、寺坂和祥、保嶋智也、堀田祐志、矢木宏和、久松洋介、坡下真大、山越博幸、山城貴  
弘、井上靖道、萩原宏美、日比陽子、中津海洋一、栗原裕司

開催日： 2019年9月18日  
講演会： 第92回日本生化学会大会 シンポジウム  
場所： パシフィコ横浜  
シンポジウムタイトル： オルガネラ間コミュニケーションの新知見  
オーガナイザー： 白根道子、平林祐介（東京大学）

開催日： 2019年9月23日  
講演会： 79th FIP World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences: HOT TOPIC: FIP-WHO joint session on Access to Medicines  
場所： Abu Dhabi National Exhibition Centre  
世話人： 尾関哲也、Sabine Kopp

開催日： 2019年9月23日  
講演会： 2019年度 薬剤師のためのスキルアップセミナー 地域レイン系・かかりつけ薬局機能向上を目指して 高齢者の生活・心身機能のサポートを習得する  
講師： 遠藤英俊 センター長  
所属： 国立長寿医療研究センター長寿医療研修センター  
演題： 認知症の最新情報を知る  
講師： 伊藤松恵  
所属： 春日井市民病院  
演題： 認知症の方と家族をどのように支えるか？を考える  
場所： 名古屋市立大学田辺通キャンパス  
世話人： 三木健義，鈴木匡，菊池千草，他

開催日： 2019年9月25日  
講演会： 第25回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 堀田祐志 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科 病院薬剤学分野  
演題： 難治性勃起不全に対する新たな治療薬の開発  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年9月28日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 中外製薬株式会社  
演題： 血友病の治療薬について  
講師： 伊藤康彦  
所属： 名古屋市立西部医療センター 小児腫瘍科  
演題： 血友病 A 治療の変遷  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年9月29日  
講演会： 第1回セルフメディケーションの推進に向けた大学と地域の薬局の協働  
講師： 菊池千草 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院薬学研究科  
演題： 地域でのセルフメディケーションの推進と検証  
場所： 昭和薬科大学  
世話人： 昭和薬科大学

開催日： 2019年10月1日  
講演会： N・E・W 薬薬連携 Seminar  
場所： 名古屋市立大学病院  
演題： ハイリスク薬のマネジメント  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年10月3日  
講演会： 桜山漢方研究会学術講演会  
場所： 名古屋市立大学  
演題： 漢方薬の正しい使い方  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年10月6日  
講演会： 第35回(2019年)名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講師： 杉浦健之 教授  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野、いたみセンター  
演題： 疼痛治療に用いられる薬物と集学的慢性痛診療  
講師： 吉岡睦展 部長  
所属： 宝塚市立病院薬剤部  
演題： 地域連携によるポリファーマシー対策  
場所： 名古屋市立大学田辺通キャンパス  
世話人： 菊池千草, 他(名古屋市立大学薬学部薬友会)

開催日： 2019年10月10, 11日  
講演会： 製剤機械技術学会 第29回大会「AIとKnowledgeで築く製剤機械技術から医療への贈り物」  
場所： じゅうろくプラザ岐阜  
世話人： 山本浩充、尾関哲也、丹羽敏幸

開催日： 2019年10月19日  
講演会： 東洋医学研究財団 東洋医学に関する市民公開講演会  
講師： 板倉英俊  
所属： 神奈川県立がんセンター東洋医学科  
演題： がんサポートケアと漢方医学  
講師： 田中耕一郎  
所属： 東邦大学医学部東洋医学研究室  
演題： 季節の養生と生薬  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年10月19日  
講演会： 糖尿病と地域連携について考える会  
講師： 石川敦子  
所属： 野村病院  
演題： 最近の糖尿病治療  
講師： 友滝和人  
所属： 中日ファーマシー  
演題： 糖尿病と地域連携について考える  
場所： ウィンクあいち  
世話人： 菊池千草, 他(愛知県糖尿病薬物療法研究会)

開催日： 2019年10月23日  
講演会： 第26回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 片岡智哉 講師  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 臨床薬学分野  
演題： 男性ホルモンによる血管保護作用  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年10月26日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 第一三共エスファ株式会社  
演題： オーソライズド・ジェネリック（AG）最近の話題  
講師： 若見和明  
所属： 名古屋市立大学病院循環器内科  
演題： 静脈血栓症の包括的な診療のために  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年10月31日  
講演会： 糖尿病イブニングセミナー秋学術講演会2019  
講師： 北 和子  
所属： 新富士病院血管外科センター  
演題： 歩ける足を守ろう  
講師： 前田泰孝 センター長  
所属： 南糖尿病臨床研究センター  
演題： 血糖トレンドを活用したインスリン療法  
場所： 名古屋市立大学桜山キャンパス  
世話人： 菊池千草，他（桜山糖尿病勉強会）

開催日： 2019年10月31日  
講演会： 日本薬学会東海支部特別講演会  
講師： 中山 淳 助教  
所属： 徳島大学大学院医歯薬学研究部  
演題： 天然物合成を基盤とした医薬化学研究とケミカルバイオロジーへの展開  
世話人： 家田直弥、石内勘一郎、岩尾岳洋、川口充康、河野孝夫、鈴木良明、築地仁美、寺坂和祥、冨田 淳、中津海洋一、坡下真大、久松洋介、堀田祐志、矢木宏和、保嶋智也、山城貴弘、山越博幸

開催日： 2019年11月5日  
講演会： 興和 Web 講演会  
場所： 名古屋キャッスルウエスチン  
演題： 地域における薬剤師像  
演者： 木村和哲

開催日： 2019年11月14日  
講演会： Aichi Pharmacist Summit 2019  
場所： ストリングスホテル名古屋  
演題： AIがもたらす薬剤師の未来  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年11月17日  
講演会： 第35回（2019年）名古屋市立大学薬学部卒後教育講座  
講師： 六鹿雅登 講師  
所属： 名古屋大学大学院医学系研究科心臓外科学分野  
演題： 最新の重症心不全治療  
講師： 土屋有里子 准教授  
所属： 学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科  
演題： 日本人の死生観  
場所： 名古屋市立大学田辺通キャンパス  
世話人： 菊池千草，他（名古屋市立大学薬学部薬友会）

開催日： 2019年11月18日  
講演会： 第28回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： Wen Chentao  
所属： 名古屋市立大学システム自然科学研究科 神経回路機能講座  
演題： 人工知能技術による生命系画像と脳活動の解析  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年11月20日  
講演会： 第27回NCU Life Science グループ若手イブニングセミナー  
講師： 鈴木敦詞  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野  
演題： 新規ヨードトランスポーターSLC26A7 遺伝子の発見とその臨床的意義  
世話人： 金子奈穂子、澤田雅人、川口充康、家田直弥、嶋田逸誠、太田晴子、藤掛数馬、田口和己、恵谷俊紀、鬼頭宏彰、築地仁美、河野孝夫、神農英雄、川瀬恒哉、岩田英敏、坪井義晃、藤岡哲平

開催日： 2019年11月25日  
講演会： 第11回粉末吸入剤研究会シンポジウム「DPI: 新時代の幕開け」  
場所： ANA クラウンプラザホテル富山  
世話人： 岡本浩一、岡田弘晃、尾関哲也、川上亘作、竹内洋文、牧野悠治、山本浩充

開催日： 2019年11月26日  
講演会： 桜山 Pharmacist Workshop  
場所： 名古屋市立大学病院  
演題： ワーク&レクチャー  
世話人： 木村和哲

開催日： 2019年11月27日  
講演会： 第8回ExCELLSセミナー  
講師名： 香月康宏 准教授  
所属： 鳥取大学染色体工学研究センター（准教授）/とっとり創薬実証センター（センター長）  
演題： ヒト/マウス人工染色体を用いたゲノムライティングと応用  
世話人： 加藤晃一

開催日： 2019年11月30日  
講演会： 瑞穂薬剤師会学術講演会  
講師： 第一三共株式会社

演題： てんかん治療薬の適正使用について  
講師： 服部文子  
所属： 名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野  
演題： 小児てんかんにおける薬物治療  
世話人： 牧野利明

開催日： 2019年12月5日  
講演会： 高機能コロイド結晶材料研究会  
講師： 梶谷忠志  
所属： 富士フィルム株式会社  
演題： ソフトマテリアルの科学  
講師： 奥 蘭 透  
演題： コロイドの結晶化に関する数値シミュレーション  
場所： 科学技術交流財団研究交流センター  
世話人： 豊玉彰子

開催日： 2019年12月8日  
講演会： 2019年度 薬剤師のためのスキルアップセミナー 地域レイン系・かかりつけ薬局機能向上を目指して 高齢者の生活・心身機能のサポートを習得する  
講師： 東 賢司 代表取締役  
所属： ソシオ  
演題： 高齢者施設とその特徴について  
講師： 笹野弘美 助教  
所属： 奈良学園大学保健医療学部リハビリテーション学科  
演題： 予防理学療法について学ぶ  
場所： 名古屋市立大学田辺通キャンパス  
世話人： 三木健義, 鈴木 匡, 菊池千草, 他

開催日： 2019年12月14日  
講演会： 第52回愛知県糖尿病薬物療法研究会  
講師： 角岡こころ  
所属： 南生協病院薬剤科  
演題： 当院におけるダバグリフロジンの位置づけ  
講師： 鈴木のぞみ  
所属： 名鉄病院薬剤部  
演題： 名鉄病院及び近隣薬局における SGLT2 阻害薬服薬指導の現状  
講師： 後藤礼司 部長  
所属： 総合大雄会病院感染症課診療部兼循環器内科  
演題： 糖尿病ガイドラインを感染症科と循環器科両面の立場から紐解く  
講師： 岡本秀樹 副院長  
所属： 名鉄病院糖尿病センター  
演題： インスリン分泌不全糖尿病患者における SGLT2 阻害薬の有用性  
場所： 小野薬品工業株式会社  
世話人： 菊池千草, 他 (愛知県糖尿病薬物療法研究会)

## 4 研究業績目録

(2019年1月から2019年12月)

## 【薬化学分野】

(原報)

Yuhei Ohta, Hiroo Wakita, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, Shigehiro Osada, and Hidehiko Nakagawa  
Ratiometric assay of CARM1 activity using a FRET-based fluorescent probe  
*Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **29**, 126728 (2019).

Mitsuyasu Kawaguchi, Xiang Han, Tomoka Hisada, Sayaka Nishikawa, Kuniyuki Kano, Naoya Ieda, Junken Aoki, Tasuya Toyama, and Hidehiko Nakagawa  
Development of an ENPP1 fluorescence probe for inhibitor screening, cellular imaging and prognostic assessment of malignant breast cancer  
*J. Med. Chem.*, **62**, 9254-9269 (2019).

Md. Jahirul Islam, Kazuya Matsuo, Halley M. Menezes, Masayuki Takahashi, Hidehiko Nakagawa, Akira Kakugo, Kazuki Sadac, and Nobuyuki Tamaoki  
Substrate selectivity and its mechanistic insight of the photo-responsive non-nucleoside triphosphate for myosin and kinesin  
*Org. Biomol. Chem.*, **17**, 53-65 (2019).

Naoya Ieda, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, and Hidehiko Nakagawa  
In Cellulo and ex Vivo Availability of a Yellowish-Green-Light-Controllable NO Releaser  
*Chem. Pharm. Bull.*, **67**, 576-579 (2019).

Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa  
Development of Peptide-Based Sirtuin Defatty-Acylase Inhibitors Identified by the Fluorescence Probe, SFP3, That Can Efficiently Measure Defatty-Acylase Activity of Sirtuin  
*J. Med. Chem.*, **62**, 5434-5452 (2019).

Taniyuki Furuyama, Takashi Ishii, Naoya Ieda, Hajime Maeda, Masahito Segi, Masanobu Uchiyama, and Hidehiko Nakagawa  
Cationic Axial Ligands on Sulfur Substituted Silicon(IV) Phthalocyanines: Improved Hydrophilicity and Exceptionally Red-shifted Absorption into the NIR Region  
*Chem. Commun.*, **51**, 7311-7314 (2019).

Kazuki Kunieda, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa  
Development of a Highly Sensitive Fluorescence Probe for Peptidyl Arginine Deiminase (PAD) Activity  
*Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **29**, 923-928 (2019).

Naoya Ieda, Yumina Oka, Toshitada Yoshihara, Seiji Tobita, Takahiro Sasamori, Mitsuyasu Kawaguchi, and Hidehiko Nakagawa  
Structure-efficiency relationship of photoinduced electron transfer-triggered nitric oxide releasers  
*Sci. Rep.*, **9**, 1430 (2019).

Naoya Ieda, Kaoru Itoh, Yasumichi Inoue, Yusuke Izumiya, Mitsuyasu Kawaguchi, Naoki Miyata, and Hidehiko Nakagawa  
An irreversible inhibitor of peptidyl-prolyl cis/trans isomerase Pin1 and evaluation of cytotoxicity  
*Bioorg. Med. Chem. Lett.*, **29**, 353-356 (2019).



(総説・著書・総合論文など)

中川秀彦

活性硫黄研究ツールとしてのケージド硫化水素化合物の開発  
硫酸と工業, **72**, 1-9 (2019).

(学会発表)

國枝一輝, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦

網羅的な PADs 活性検出系の構築

日本酸化ストレス学会東海支部第7回学術集会, 2019年2月16日(名古屋) O-6

石井孝知, 家田直弥, 前多肇, 千木昌人, 内山真伸, 中川秀彦, 古山溪行

軸配位子及び周辺置換基の修飾による機能性ケイ素フタロシアニンの開発

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 21PO-am014

國枝一輝, 川口充康, 家田直弥, 中川秀彦

アイソザイム非依存的な PAD 活性検出蛍光プローブの開発

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-am103

川口充康, 家田直弥, 中川秀彦

SIRT2 脱アシル化活性阻害剤の開発

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-am107

齋藤大介, 鈴木あゆみ, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

*N*-Methyl-*N*-nitrosoaminophenol と色素を含むナノ粒子の光応答性 NO 放出能の検討

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-am139

家田直弥, 吉原利忠, 飛田成史, 笹森貴裕, 川口充康, 中川秀彦

光誘起電子移動駆動型 NO ドナーにおける光化学特性およびレドックスパラメータ解析

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-am145

岡由実奈, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

酵素反応および可視光制御可能な二段階型 NO ドナーの開発と機能評価

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-pm086S

中村旭良, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

ピリジニウムカチオンの反応性を応用した可視光応答ケージド基の合成と機能評価

日本薬学会第139年会, 2019年3月20-23日(千葉) 22PO-pm087S

Naoya Ieda, Hana Okuno, Ayaka Yamauchi, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, Hidehiko Nakagawa

Development of light-controllable nitric oxide releasing small compounds and biological application

9th FAOPS Congress, 2019年3月28-31日(Kobe) 2P-081

齋藤大介, 鈴木あゆみ, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

*N*-Methyl-*N*-nitrosoaminophenol と Ir(Fppy)<sub>3</sub> を含むナノ粒子の光応答性 NO 放出能の検討

日本ケミカルバイオロジー学会第14回年会, 2019年6月10-12日(名古屋) P-012

中村旭良, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
オルト置換の重要性に基づいた可視光応答ケージド基の合成と機能評価  
日本ケミカルバイオロジー学会第 14 回年会, 2019 年 6 月 10 - 12 日 (名古屋) P-137

太田悠平, 脇田弘臣, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
FRET を基盤とした CARM1 活性検出系の開発  
日本ケミカルバイオロジー学会第 14 回年会, 2019 年 6 月 10 - 12 日 (名古屋) P-141

家田直弥, 山内彩樺, 堀田祐志, 川口充康, 木村和哲, 中川秀彦  
赤色光制御 NO ドナーの開発と *in vivo* での血流系光制御  
第 72 回日本酸化ストレス学会学術集会, 2019 年 6 月 27 - 28 日 (札幌) O-14

岡由実奈, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
 $\beta$ -Galactosidase と光の dual lock 型 NO 放出剤の開発  
第 65 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋) D-1S

中村旭良, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
ピリジニウムカチオンに基づいた青色光ケージド基の開発  
第 65 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋) D-2S

齋藤大介, 鈴木あゆみ, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦 【優秀発表賞】  
*N*-Nitrosoaminophenol 構造を有する化合物と色素を含むナノ粒子の光応答性 NO 放出能の検討  
第 65 回日本薬学会東海支部 総会・大会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋) D-3S

Naoya Ieda 【Award Lecture】

Development of light-controllable NO releasers applicable for photomanipulation of vasodilation *in vivo* condition  
International Congress on Pure & Applied Chemistry 2019, 2019 年 8 月 6 - 9 日 (Yangon, Myanmar)  
OBC20

家田直弥  
血液の流れを自在に操る新しい光技術  
イノベーションジャパン 2019, 2019 年 8 月 29 - 30 日 (東京) L-41

家田直弥, 山内彩樺, 堀田祐志, 川口充康, 木村和哲, 中川秀彦  
赤色光制御 NO ドナーの開発と *in vivo* での光血流制御  
第 13 回バイオ関連化学シンポジウム 2019, 2019 年 9 月 4 - 6 日 (仙台) 1C-14

中村旭良, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦  
ピリジニウムカチオンに基づいた可視光応答性ケージド基の開発  
第 13 回バイオ関連化学シンポジウム 2019, 2019 年 9 月 4 - 6 日 (仙台) 1P-008

太田悠平, 脇田弘臣, 川口充康, 家田直弥, 長田茂宏, 中川秀彦  
スクリーニングを志向した CARM1 活性検出系の開発  
第 13 回バイオ関連化学シンポジウム 2019, 2019 年 9 月 4 - 6 日 (仙台) 2P-021

家田直弥, 奥野華, 山内彩樺, 堀田祐志, 川口充康, 木村和哲, 中川秀彦  
*In vitro* から *in vivo* まで応用可能な可視光制御 NO ドナー群の開発  
2019 年光化学討論会, 2019 年 9 月 10 - 12 日 (名古屋) 1A-10

伊藤聖人, 小口瑠菜, 家田直弥, 川口充康, 中川秀彦

細胞毒性を低減させた光応答性酸素消去剤の開発

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019年11月10日 (名古屋) F-10

【精密有機反応学分野】

(原報)

Yosuke Hisamatsu, Takehiro Fukiage, Kojiro Honma, Andrii G. Balia, Naoki Umezawa, Nobuki Kato, Tsunehiko Higuchi  
Effect of the o-acetamido group on pH-dependent light emission of a 3-hydroxyphenyl-substituted dioxetane luminophore  
*Org. Lett.*, **21(5)**, 1258-1262 (2019).

Yusuke Kashiwagi, Takashi Nishio, Masatoshi Ichikawa, Chwen-Yang Shew, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi, Koichiro Sadakane, Yuko Yoshikawa, Kenichi Yoshikawa  
Repulsive/attractive interaction among compact DNA molecules as judged through laser trapping: difference between linear- and branched-chain polyamines  
*Colloid Polym. Sci.*, **297(3)**, 397-407 (2019).

Yoshinori Shirakawa, Yuuki Yano, Yuki Niwa, Kanako Inabe, Naoki Umezawa, Nobuki Kato, Yosuke Hisamatsu, Tsunehiko Higuchi  
Stable iron porphyrin intramolecularly coordinated by alcoholate anion: synthesis and evaluation of axial ligand effect of alcoholate on spectroscopy and catalytic activity  
*Inorg. Chem.*, **58(7)**, 4268-4274 (2019).

Yuya Miyazawa, Akib Bin Rahman, Yutaka Saga, Hiroki Imafuku, Yosuke Hisamatsu, Shin Aoki  
Catalytic Hydrolysis of Phosphate Monoester by Supramolecular Complexes Formed by the Self-assembly of a Hydrophobic Bis( $Zn^{2+}$ -cyclen) Complex, Copper, and Barbitol Units that are Functionalized with Amino Acids in a Two-Phase Solvent System  
*Micromachines*, **10(7)**, 452 (2019).

Kana Naito, Kenta Yokoi, Chandrasekar Balachandran, Yosuke Hisamatsu, Shin Aoki  
Design, Synthesis, and Anticancer Activity of Iridium(III) Complex-Peptide Hybrids that Contain Hydrophobic Acyl Groups at the N-terminus of the Peptide Units  
*J. Inorg. Biochem.*, **199**, 110785 (2019).

Takashi Nishio, Yuko Yoshikawa, Chwen-Yang Shew, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi, Kenichi Yoshikawa  
Specific effects of antitumor active norspermidine on the structure and function of DNA  
*Sci. Rep.*, **9**, 1-12 (2019).

Shota Teramae, Akane Kito, Tomoteru Shingaki, Yu Hamaguchi, Yuuki Yano, Takamori Nakayama, Yuko Kobayashi, Nobuki Kato, Naoki Umezawa, Yosuke Hisamatsu, Tetsuo Nagano, Tsunehiko Higuchi  
Methylene chain ruler for evaluating the regioselectivity of a substrate-recognising oxidation catalyst  
*Chem. Commun.*, **55(58)**, 8378-8381 (2019).

(学会発表)

久松洋介, 梅澤直樹, 矢木宏和, 加藤晃一, 樋口恒彦  
プロトポルフィリン IX と分子ピンセットからなる超分子型光増感剤の光線力学療法への応用.  
日本酸化ストレス学会東海支部 第7回学術集会, 2019年2月16日(名古屋).

樋口恒彦【招待講演】

生体内マンガンの重要性：Mn 含有タンパク質及び医用 Mn 錯体の概説。  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 21 日 (千葉)。

矢野 雄輝, 白川 慶典, 梅澤 直樹, 久松 洋介, 樋口 恒彦  
シトクロム P450 の軸配位子のセレノラート置換モデル錯体の化学特性。  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 23 日 (千葉)。

Tsunehiko Higuchi, Yukinobu Noritake, Yoritada Watanabe, Naoki Umezawa, Nobuki Kato  
Manganese Salen Complexes with Catalytic Auxiliary: Functional Mimetics of Catalase  
15th International Symposium on Applied Bioinorganic Chemistry, 2019, June 4, Nara

Yosuke Hisamatsu, Koki Otani, Naoki Umezawa and Tsunehiko Higuchi, Design, Synthesis and Biological Applications of a Molecular Tweezer That Recognizes Protoporphyrin IX and Iron(III) Protoporphyrin IX, 14th International Symposium on Macrocyclic and Supramolecular Chemistry, 2019, June 3, Lecce, Italy

大谷 紘生, 久松 洋介, 梅澤 直樹, 樋口 恒彦  
ヘム認識能を有する蛍光性分子ピンセットの設計・合成。  
日本ケミカルバイオロジー学会 第 14 回年会, 2019 年 6 月 12 日 (名古屋)。

梅澤直樹, 辻佳寿美, 佐藤心, 菊地正樹, 渡邊寿美, 寶来侑平, 山口真史, 久松洋介, 梅原崇史, 樋口恒彦  
キララなポリアミン誘導体による FAD 依存性リシン特異的脱メチル化酵素の阻害。  
日本ケミカルバイオロジー学会 第 14 回年会, 2019 年 6 月 12 日 (名古屋)。

樋口恒彦, 本間紘次郎, 吹上雄大, 久松洋介, 梅澤直樹, 竹田圭介, 加藤信樹  
フェノキシド生成をトリガーとする化学発光・蛍光分子の生理的 pH 条件適応のための分子内水素結合戦略。  
日本ケミカルバイオロジー学会 第 14 回年会, 2019 年 6 月 12 日 (名古屋)。

樋口恒彦【招待講演】

シトクロム P450 の精密化学モデル：初期のデザインから最新の展開まで。  
筑波大学 生物無機化学セミナー, 2019 年 7 月 30 日 (筑波)。

久松洋介, 大谷 紘生, 梅澤直樹, 樋口 恒彦  
水中でヘムを認識する蛍光性人工レセプターの開発。  
第 13 回バイオ関連化学シンポジウム, 2019 年 9 月 4 日 (仙台)。

住藤夏美, 梅澤直樹, 築地真也, 水野稔久  
細胞内導入能を有するペプチドジェミニ型界面活性剤の機能評価と導入機構評価。  
第 13 回バイオ関連化学シンポジウム, 2019 年 9 月 4-6 日 (仙台)。

樋口恒彦

新しいモダリティー創薬の現状と今後。  
日本学術振興会学術システム研究センター主催「21 世紀を明るく科学する会」, 2019 年 9 月 7 日 (天城)

矢野雄輝, 白川慶典, 梅澤直樹, 久松洋介, 樋口恒彦  
軸配位子のセレノラート置換シトクロム P450 モデル錯体の合成と化学特性。  
錯体化学会第 69 回討論会, 2019 年 9 月 21-23 日 (名古屋)。

樋口恒彦, 矢野雄紀, 白川慶典, 梅澤直樹, 久松洋介  
軸配位子のセレノラート置換シトクロム P450 モデル錯体の特徴的酸化触媒能.  
第 124 回触媒討論会, 2019 年 9 月 19 日 (長崎) .

樋口恒彦【招待講演】  
ヘム酵素モデル研究の多様な展開.  
第 52 回酸化反応討論会, 2019 年 11 月 10 日 (奈良) .

樋口恒彦【招待講演】  
新薬はどのように生み出されてくるのか? 創薬科学技術の変遷.  
藤田医科大学 医学セミナー, 2019 年 11 月 21 日 (豊明) .

【薬品合成化学分野】

(原報)

Sayuri Saito, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura  
Second-Generation Synthesis of a Chiral Building Block for Oxygenated Terpenoids via a Ring-Contractive Coupling with a Secondary Alcohol.  
*Heterocycles*, **99**, 1086–1094 (2019).

(学会発表)

小林 誠, 鈴木恵介, 山越博幸, 中村精一  
パークレトリオンの合成研究 – ポリエン環化における C8 位置換基効果の検証 –.  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 21 日 (千葉) .

大田陽野, 齋藤彩有里, 山越博幸, 中村精一  
イソプレレオヘテリンの合成研究.  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 21 日 (千葉) .

齋藤彩有里, 山越博幸, 中村精一  
カドコシラクトン A の合成研究 ~ 可視光レドックス触媒反応を利用した DE 環フラグメントの合成 ~.  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 22 日 (千葉) .

坂上友花梨, 山越博幸, 鬼頭宏彰, 大矢 進, 中村精一  
血管収縮阻害物質マルビインの誘導體合成及び活性評価.  
日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 22 日 (千葉) .

Sayuri Saito, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura  
Studies on the Synthesis of Kadcoccolactone A.  
27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, 2019 年 9 月 2 日 (京都) .

Mirai Kage, Yu Yuan Liang, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura  
Formal Synthesis of (±)-Morphine via Tandem Oxidation/Cycloaddition Sequence.  
27th International Society of Heterocyclic Chemistry Congress, 2019 年 9 月 5 日 (京都) .

小林 誠, 鈴木恵介, 山越博幸, 中村精一  
架橋四環性メロテルペノイド・パークレトリオンの合成研究.  
第 36 回有機合成化学セミナー, 2019 年 9 月 18 日 (岐阜) .

陰 未来, 高田峰辰, 梁 宇源, 山越博幸, 中村精一  
フタラン誘導體の酸化/付加環化連続反応の開発と(±)-モルヒネの形式合成への応用.  
第 45 回反応と合成の進歩シンポジウム, 2019 年 10 月 28 日 (倉敷) .

齋藤彩有里, 近藤直記, 山越博幸, 中村精一 【優秀賞】  
カドコシラクトン A の合成研究 ~ 光レドックス触媒反応によるヒドロインダン骨格の立体選択的構築 ~.  
第 50 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2019 年 11 月 9 日 (松本) .

齋藤彩有里, 山越博幸, 中村精一

カドコシラクトン A の合成研究 ～光レドックス触媒反応を用いる付加/環化/フラグメンテーション連続反応による DE 環部の合成～.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 10 日 (名古屋).



【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Umi Okura, Naohide Hirashima, Masahiko Tanaka

*Calcineurin B1* deficiency in glial cells reduces gastrointestinal motility and results in maldigestion and/or malabsorption in mice.

*Biol. Pharm. Bull.*, **42**, 1230-1235 (2019).

Ruriko Suzuki, Yoshikazu Inoh, Satoru Yokawa, Ryo Suzuki, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima

Monomer hapten and hapten-specific IgG inhibit mast cell activation evoked by multivalent hapten with different mechanisms.

*Eur. J. Immunol.*, **49**, 2172-2183 (2019).

(学会発表)

大倉 宇海, 平嶋 尚英, 田中 正彦

Calcineurin を欠損した小腸グリア細胞の異常と消化・吸収不良との関連.

日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 21 日 (千葉); 21PO-pm397.

田中 正彦, 成瀬 美結, 平嶋 尚英

小脳プルキンエ細胞の樹状突起形成における phospholipase C $\beta$  の役割.

第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学学会大会合同大会 (NEURO2019), 2019 年 7 月 26 日 (新潟); PA-044.

服部 幸希, 望月 雄司, 二宮 里帆, 田中 正彦, 鈴木 亮, 平嶋 尚英

マスト細胞の分泌における Orai-2 の 2 つの役割.

第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18-19 日 (千葉); P15.

寺本 光, 平嶋 尚英, 田中 正彦

Calcineurin 欠損腸管グリア細胞の培養下における生存能・増殖能の評価.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 10 日 (名古屋); H-9.

田中 正彦, 大倉 宇海, 平嶋 尚英

グリア細胞でのカルシニューリン欠損がもたらす消化・吸収不良、低血糖、致死の機構解析.

第 42 回日本分子生物学会年会, 2019 年 12 月 5 日 (福岡); 3P-0432.

伊藤 瑚桃, 溝端 沙莉, 平嶋 尚英, 鈴木 亮

マスト細胞と好中球の相互作用によるアレルギー応答制御機構の研究.

第 42 回日本分子生物学会年会, 2019 年 12 月 6 日 (福岡); 4P-0487.

Ruriko Suzuki, Yoshikazu Inoh, Satoru Yokawa, Ryo Suzuki, Tadahide Furuno, Naohide Hirashima

Addition of monomer hapten and hapten-specific IgG inhibits mast cell activation with different mechanisms.

ASCB|EMBO 2019 meeting, Dec. 9, 2019, Washington DC, USA; AP2333.

【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, and J. Yamanaka  
Two-Dimensional Nonclose-Packed Colloidal Crystals by the Electrostatic Adsorption of Three-Dimensional Charged Colloidal Crystals.  
*Langmuir*, **35** (28), 9194-9201 (2019).

T. Seki, T. Okuzono, A. Toyotama, and J. Yamanaka  
Mechanism of Diffusiophoresis with Chemical Reaction on a Colloidal Particle.  
*Phys. Rev. E*, **99** (1), 012608 (2019).

Y. Sato, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka  
Crystallization of Microgel Colloids Due to Depletion Attraction.  
*Chem. Lett.*, **48**, 1319-1321 (2019).

(総説・著書・総合論文など)

山中淳平, 奥菌透, 豊玉彰子  
コロイド微粒子の自己集合による構造形成  
*Pharm. Tech. Jpn.*, **35** (9), (2019).

(学会発表)

山中淳平  
コロイド結晶を用いた構造色材料  
第9回化粧品開発展, 2019年1月31日(千葉).

山中淳平【招待講演】  
コロイド分散系の結晶化と相分離  
表面・界面ダイナミクスの数理17, 2019年4月18日(東京).

山中淳平【招待講演】  
コロイド微粒子の高分子ゲル表面およびガラス表面への吸着  
分離技術会, 2019年5月24日(名古屋).

T. Okuzono, T. Seki, A. Toyotama, J. Yamanaka  
Another mechanism of diffusiophoresis with chemical reaction on a colloidal particle  
The 5th International Soft Matter Conference (ISMC2019), 2019年6月5日(イギリス・エジンバラ).

Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka  
Fabrication of 2D Charged Colloidal Crystals by Electrostatic Particles  
The 5th International Soft Matter Conference (ISMC2019), 2019年6月5日(イギリス・エジンバラ).

奥菌透  
表面科学反応を伴うコロイド粒子の弱電解質溶液中における拡散泳動  
ERATO 横山液晶微界面プロジェクト発足20周年記念研究会, 2019年6月29日(神奈川).

山中淳平【招待講演】

3D 荷電コロイドの基板への吸着による 2D コロイドの作製  
東北大学共同研究セミナー, 2019 年 7 月 8 日 (仙台).

豊玉彰子【招待講演】

金微粒子を用いた擬 2D コロイド結晶  
東北大学共同研究セミナー, 2019 年 7 月 8 日 (仙台).

山田望【招待講演】

金微粒子を用いた擬 2D コロイド結晶  
東北大学共同研究セミナー, 2019 年 7 月 8 日 (仙台).

T. Okuzono, T. Seki, A. Toyotama, J. Yamanaka

Diffusiophoresis of a weakly charged colloidal particle undergoing a surface chemical reaction  
The 27th International Conference on Statistical Physics, 2019 年 7 月 11 日 (アルゼンチン・ブエノスアイレス).

奥菌透

荷電コロイド粒子の拡散泳動に関する新しいメカニズムの提案  
第 9 回「ソフトな物理・工学の未来を考える会」, 2019 年 10 月 6 日 (東京).

J. Yamanaka【Invited Lecture】

Interface Dynamics of Colloidal Systems  
Mathematical Aspects of Surface and Interface Dynamics18, 2019 年 10 月 16 日 (東京).

山中淳平, 佐藤結, 豊玉彰子, 奥菌透, 坂西裕一, 福田瞳

コロイド結晶の化粧品分野への応用  
第 48 回結晶成長国内会議(JCCG-48), 2019 年 10 月 30 日 (大阪).

Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

2D Non-close-packed Colloidal Crystals by the Electrostatic Adsorption of 3D Charged Colloidal Crystals  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019 年 11 月 3 日 (沖縄).

C. Kurosawa, S. Adachi, T. Sakashita, Y. Nakamura, J. Yamanaka, Y. Toyoshima, Y. Watanabe, M. Nagai

Preparation of JAXA Multicomponent Colloidal Clusters Experiments under Microgravity  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019 年 11 月 4 日 (沖縄).

Y. Sato, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

Crystallization of Microgel Colloids Due to Depletion Attraction  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019 年 11 月 6 日 (沖縄).

N. Yamada, R. Yamamoto, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

Non-Classical Crystal Growths of Colloidal Systems Due to Depletion Attraction  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019 年 11 月 6 日 (沖縄).

M. Ioka, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka

Fabrications of Gold Colloidal Crystals Due to Depletion Attraction and Their Applications for SERS  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019 年 11 月 6 日 (沖縄).

T. Ishigami, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka  
Adsorption Behavior of Oppositely Charged Particle/Plate and Binary Particle Systems  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019年11月6日(沖縄).

M. Fujita, Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, J. Yamanaka  
Single-Sheet Diamond Colloidal Crystals Formed by Layer-by-Layer Electrostatic Self-Assembly  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019年11月6日(沖縄).

J. Yamanaka, H. Komazawa, M. Fujita, H. Miki, M. Minami, T. Ishigami, M. Ioka, H. Hattori, Y. Kondo, A. Toyotama, T. Okuzono  
Clustering of Oppositely Charged Colloidal Particles  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019年11月8日(沖縄).

A. Toyotama, A. Fukushima, M. Ioka, T. Okuzono, S. Uda, J. Nozawa, J. Yamanaka  
2D crystallization of submicron-sized gold particles  
OKINAWA COLLOIDS 2019, 2019年11月8日(沖縄).

J. Yamanaka 【Invited Lecture】  
3D and 2D colloidal crystals of submicron-sized gold particles  
Post conference of Okinawa Colloids 2019, 2019年11月9日(沖縄).

三木裕之, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平  
反対符号に荷電したコロイド粒子の会合構造の塩濃度による変化  
第9回ソフトマター研究会, 2019年11月26日(名古屋).

石神瑛圭, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平  
反対符号の電荷を持つ粒子/平板系と2成分粒子系の吸着挙動の相関  
第9回ソフトマター研究会, 2019年11月26日(名古屋).

J. Yamanaka, H. Komazawa, M. Fujita, H. Miki, M. Minami, T. Ishigami, A. Toyotama, T. Okuzono  
Clustering of Oppositely Charged Colloidal Particles  
Space Environment Utilization Working Group “Kibo” Utilization Opportunities, 2019年11月27日(名古屋).

## 【生命分子構造学分野】

(原報)

Satoru G. Itoh, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Hisashi Okumura  
Effects of a Hydrophilic/Hydrophobic Interface on Amyloid- $\beta$  Peptides Studied by Molecular Dynamics Simulations and NMR Experiments

*J. Phys. Chem. B* **123**, 160-169 (2019).

Robert G. Brinson, John P. Marino, Frank Delaglio, Luke W. Arbogast, Ryan M. Evans, Anthony Kearsley, Geneviève Gingras, Houman Ghasriani, Yves Aubin, Gregory K. Pierens, Xinying Jia, Mehdi Mobli, Hamish G. Grant, David W. Keizer, Kristian Schweimer, Jonas Stähle, Göran Widmalm, Edward R. Zartler, Chad W. Lawrence, Patrick N. Reardon, John R. Cort, Ping Xu, Feng Ni, Saeko Yanaka, Koichi Kato, Stuart R. Parnham, Desiree Tsao, Andreas Blomgren, Torgny Rundlöf, Nils Trieloff, Peter Schmieder, Alfred Ross, Ken Skidmore, Kang Chen, David Keire, Darón I. Freedberg, Thea Suter-Stahel, Gerhard Wider, Gregor Ilc, Janez Plavec, Scott A. Bradley, Donna M. Baldisseri, Mauricio Luis Sforça, Ana Carolina de Mattos Zeri, Julie Yu Wei, Christina M. Szabo, Carlos A. Amezcua, John B. Jordan, and Mats Wikström

Enabling adoption of 2D-NMR for the higher order structure assessment of monoclonal antibody therapeutics  
*MAbs* **11**, 94-105 (2019).

Yoichiro Harada, Takehiro Suzuki, Tomoko Fukushige, Yasuhiko Kizuka, Hirokazu Yagi, Mika Yamamoto, Kiyotaka Kondo, Hiromasa Inoue, Koichi Kato, Naoyuki Taniguchi, Takuro Kanekura, Naoshi Dohmae, and Ikuro Maruyama  
Generation of the heterogeneity of extracellular vesicles by membrane organization and sorting machineries  
*Biochim. Biophys. Acta Gen. Subj* **1863**, 681-691 (2019).

Takashi Matsui, Shizuka Kamata, Kentaro Ishii, Takahiro Maruno, Nouran Ghanem, Susumu Uchiyama, Koichi Kato, Atsuo Suzuki, Naoko Oda-Ueda, Tomohisa Ogawa, and Yoshikazu Tanaka  
SDS-induced oligomerization of Lys49-phospholipase A2 from snake venom  
*Sci. Rep.* **9**, Article number: 2330 (2019).

Narentuya, Yoshiko Takeda-Uchimura, Tahmina Foyez, Zui Zhang, Tomoya O. Akama, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Yukio Komatsu, Kenji Kadomatsu, and Kenji Uchimura  
GlcNAc6ST3 is a keratan sulfate sulfotransferase for the protein-tyrosine phosphatase PTPRZ in the adult brain  
*Sci. Rep.* **9**, Article number: 4387 (2019).

Yoichiro Harada, Yasuhiko Kizuka, Yuko Tokoro, Kiyotaka Kondo, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, Hiromasa Inoue, Naoyuki Taniguchi, and Ikuro Maruyama  
N-glycome inheritance from cells to extracellular vesicles in B16 melanomas  
*FEBS Lett.* **593**, 942-951 (2019).

Tadashi Satoh, Maho Yagi-Utsumi, Kenta Okamoto, Eiji Kurimoto, Keiji Tanaka, and Koichi Kato  
Molecular and structural basis of the proteasome  $\alpha$  subunit assembly mechanism mediated by the proteasome-assembling chaperone PAC3-PAC4 heterodimer  
*Int. J. Mol. Sci.* **20**, 2231 (2019).

Taichiro Sekiguchi, Tadashi Satoh, Eiji Kurimoto, Chihong Song, Toshiya Kozai, Hiroki Watanabe, Kentaro Ishii, Hirokazu Yagi, Saeko Yanaka, Susumu Uchiyama, Takayuki Uchihashi, Kazuyoshi Murata, and Koichi Kato  
Mutational and combinatorial control of self-assembling and disassembling of human proteasome  $\alpha$  subunits  
*Int. J. Mol. Sci.* **20**, 2308 (2019).

Yasuhiro Yunoki, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi, Reiko Murakami, Susumu Uchiyama, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

ATP hydrolysis by KaiC promotes its KaiA binding in the cyanobacterial circadian clock system  
*Life Sci. Alliance*. **2**, e201900368 (2019).

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Rintaro Inoue, Masaaki Sugiyama, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura, Yohei Miyanoiri, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato

Dynamic views of the Fc region of immunoglobulin G provided by experimental and computational observations  
*Antibodies* **8**, 39 (2019).

Rina Yogo, Yuki Yamaguchi, Hiroki Watanabe, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Mahito Nakanishi, Masayoshi Onitsuka, Takeshi Omasa, Mari Shimada, Takahiro Maruno, Tetsuo Torisu, Shio Watanabe, Daisuke Higo, Takayuki Uchihashi, Saeko Yanaka, Susumu Uchiyama, and Koichi Kato

The Fab portion of immunoglobulin G contributes to its binding to Fcγ receptor III  
*Sci. Rep.* **9**, Article number: 11957 (2019).

Rintaro Inoue, Tatsuo Nakagawa, Ken Morishima, Nobuhiro Sato, Aya Okuda, Reiko Urade, Rina Yogo, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Kazuki Omoto, Kazuki Ito, and Masaaki Sugiyama

Newly developed Laboratory-based Size exclusion chromatography Small-angle x-ray scattering System (La-SSS)  
*Sci. Rep.* **9**, Article number: 12610 (2019).

Reiko Murakami, Yasuhiro Yunoki, Kentaro Ishii, Kazuki Terauchi, Susumu Uchiyama, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Cooperative binding of KaiB to the KaiC hexamer ensures accurate circadian clock oscillation in cyanobacteria  
*Int. J. Mol. Sci.* **20**, 4550 (2019).

Carol Cho, Juwon Jang, Yujin Kang, Hiroki Watanabe, Takayuki Uchihashi, Seung Joong Kim, Koichi Kato, Ja Yil Lee, and Ji-Joon Song

Structural basis of nucleosome assembly by the Abo1 AAA+ ATPase histone chaperone  
*Nature Commun.* **10**, Article number: 5764 (2019).

Hiroki Akiba, Hiroko Tamura, Masato Kiyoshi, Saeko Yanaka, Kenji Sugase, Jose M. M. Caaveiro, Kouhei Tsumoto, Structural and thermodynamic basis for the recognition of the substrate-binding cleft on hen egg lysozyme by a single-domain antibody

*Sci. Rep.* **9**, Article number: 15481 (2019).

(総説・著書・総合論文など)

加藤晃一, 山口拓実, 矢木-内海真穂

糖鎖解析技術：核磁気共鳴 (NMR) 法

糖鎖分析 (日本分析化学会編), 丸善出版, pp.209-214 (2019).

植草義徳, 加藤晃一, 矢木-内海真穂

NMR による糖鎖-タンパク質相互作用の解析

糖鎖分析 (日本分析化学会編), 丸善出版, pp.246-252 (2019).

矢木宏和, 鈴木達哉, 谷中冴子, 山口拓実, 加藤晃一

核磁気共鳴分光法と分子動力学計算を通じて観る糖鎖の動的構造とレクチンの糖鎖認識の理解

医学のあゆみ, 269, 761-767, (2019).

Chikara Sato, Koichi Kato, Yoshiki Yamaguchi, Daisuke Kohda, Ryuichi Kato, Kenichi G. N. Suzuki, Kazuya Kikuchi, Go Hirai, Yasuhiko Kizuka, Katsunori Tanaka, Yuko Nakashima, and Mitsutoshi Setou  
Glycoscience: Basic Science to Applications (Naoyuki Taniguchi, Tamao Endo, Jun Hirabayashi, Shoko Nishihara, Kenji Kadomatsu, Kazunari Akiyoshi, and Kiyoko F. Aoki-Kinoshita ed.)  
Structural Biology of Glycans  
Springer, Singapore, 35-63 (2019).

矢木宏和, 加藤晃一  
バイオ・抗体医薬品における糖鎖解析技術  
医薬品開発における創薬スクリーニング関連技術開発, 情報機構, pp.41-56 (2019).

加藤晃一  
真っ直ぐな思い  
伊東信教授退職記念誌 (伊東信教授退職記念事業会編) , pp. 28 (2019).

加藤晃一  
新たな時代の日本核磁気共鳴学会  
NMR: Bulletin of the Nuclear Magnetic Resonance Society of Japan, **10**, 5 (2019).

加藤晃一  
我が恩師 荒田洋治先生を偲ぶ  
NMR: Bulletin of the Nuclear Magnetic Resonance Society of Japan, **10**, 12-13 (2019).

Maho Yagi-Utsumi.  
NMR characterization of conformational dynamics and molecular assemblies of proteins.  
*Biol Pharm Bull.* **42**(6), 867-872 (2019).

Hirokazu Yagi  
Article for JSCR 40th Anniversary Issue  
Functional Roles of Glycoprotein Glycans in Neural Stem Cells  
*Trends in Glycoscience and Glycotechnology* **31**(181), SE91-SE92 (2019).

矢木宏和  
日本糖質学会 40 周年記念号論文  
神経幹細胞における糖タンパク質糖鎖の機能  
*Trends in Glycoscience and Glycotechnology* **31**(181), SJ91-SJ92 (2019).

Tadashi Satoh  
Article for JSCR 40th Anniversary Issue  
Structural Understanding of ER Quality Control System Mediated by Glucose Tagging  
*Trends in Glycoscience and Glycotechnology* **31**(181), SE69-SE70 (2019).

佐藤匡史  
日本糖質学会 40 周年記念号論文  
グルコース残基を目印とした小胞体品質管理機構の構造的理解  
*Trends in Glycoscience and Glycotechnology* **31**(181), SJ69-SJ70 (2019).

(学会発表)

加藤晃一

分子ネットワークのインストール

第5回秩序化分子システムワークショップ 2019年1月8日(東京)

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, 加藤晃一【優秀発表賞】

特定のタンパク質へのFUT9依存的なフコース転移機構の解明

第6回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会

2019年1月8日(名古屋)

佐々木雄大, 齋藤泰輝, 矢木宏和, 加藤晃一

クマムシに発現するN型糖鎖の構造解析とその合成に関わる糖転移酵素の探索

第6回 将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会

2019年1月8日(名古屋)

矢木宏和【招待講演】

ペプチド修飾による糖タンパク質の糖鎖修飾の制御

第3回 DSANJ Bio Conference'19 2019年1月23日(大阪)

谷中冴子

NMRを用いた抗体の動的構造解析

産業技術研究所 研究部門セミナー 2019年1月25日(つくば)

Yasuhiro Yunoki

KaiA-KaiC interaction was triggered by the conformational changes of KaiC flexible C-terminal segments mediated by its ATP hydrolysis

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月1日(西尾); P5.

Saeko Yanaka

Structural analysis of antibody dynamics

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月1日(西尾); P11.

Taichiro Sekiguchi

Characterization of the "scrap-and-build" process in the proteasome  $\alpha$  ring formation

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月1日(西尾); P12.

Rina Yogo

Characterization of dynamics and functions of antibodies

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月1日(西尾); P17.

Tatsuya Suzuki

Development of high-affinity glycan through regulation of its structural dynamics

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月1日(西尾); P20.

Taiki Saito

The specific amino acid sequence of LAMP-1 induces FUT9-dependent Lewis X modification

第1回 ExCELLS 若手交流リトリート 2019年2月2日(西尾); S1.

加藤晃一



アミロイド線維形成の宇宙実験  
アミロイド宇宙実験意見交換会 2019年2月7日(岡崎)

Koichi Kato and Tadashi Satoh 【招待講演】  
Mechanistic insights on the dynamics of proteasome formation  
2019 EWU-NCU joint symposium (第3回 名古屋市立大学-梨花女子大学ジョイントシンポジウム)  
2019年2月28日(名古屋)

矢木真穂【招待講演】  
神経変性疾患の解明を目指した構造生物学研究  
サントリー生命科学財団セミナー 2019年3月1日(京都)

加藤晃一【招待講演】  
極限環境生命探査: ExCELLS の挑戦  
宇宙科学談話会 2019年3月6日(相模原)

Rina Yogo, Saeko Yanaka, Hiroki Watanabe, Hirokazu Yagi, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato  
Biophysical characterization of antibody interactions *in situ*  
Nagoya Immunology Network in ICU / The 1st international Symposium 2019年3月11日(名古屋)

松井 崇, 鎌田しずか, 石井健太郎, 丸野孝浩, ガーネム ノーラン, 内山 進, 加藤晃一, 鈴木淳臣, 上田直子, 小川智久, 田中良和  
ホスホリパーゼ A2 アナログの立体構造解析と SDS による多量体化  
Structure analysis of phospholipase A2 analogue and its SDS-induced oligomerization  
2018年度 量子ビームサイエンスフェスタ 2019年3月12日(つくば); PF BL-17A, PF-AR NE3A.

中根健汰, 鈴木達哉, 谷中冴子, 加藤晃一, 山口拓実  
動的相互作用機構解析に基づいたレクチン高親和性糖鎖の設計  
日本化学会 第99春季年会 2019年3月17日(神戸); 2PC-003.

加藤晃一【招待講演】  
生命分子システムの動秩序形成機構の探究  
第3回 名古屋リズム研究会 2019年3月22日(名古屋)

谷中冴子, 與語理那, 矢木宏和, 伊藤 暁, 奥村久士, 加藤晃一  
Fc の構造ダイナミクスが Fc $\gamma$  受容体との相互作用に 及ぼす影響の解明  
日本薬学会第139年会 2019年3月23日(千葉); 23R-pm10.

與語理那, 谷中冴子, 渡辺大輝, 矢木宏和, 内橋貴之, 加藤晃一 【学生優秀発表賞】  
膜を舞台にする抗体機能の高速原子間力顕微鏡解析  
日本薬学会第139年会 2019年3月23日(千葉); 23R-pm11S.

矢木真穂, 西村勝之, 加藤晃一  
固体 NMR 法による GM1 ガングリオシド膜上におけるアミロイド  $\beta$  の構造解析  
日本薬学会第139年会 2019年3月23日(千葉); 23R-pm16.

佐藤匡史, 関口太一郎, 石井健太郎, Chihong Song, 小財稔矢, 渡辺大輝, 矢木宏和, 矢木真穂, 谷中冴子, 栗本英治, 内橋貴之, 村田和義, 内山 進, 加藤晃一  
プロテアソーム $\alpha$ サブユニットの自己組織化  
平成30年度 日本生物物理学界中部支部講演会 2019年3月26日(岡崎); T03, P16.

渡邊東紀男, 鈴木達哉, 谷中冴子, 山口拓実, 矢木宏和, 加藤晃一  
動的構造の制御によるレクチンに対する高親和性糖鎖の設計  
平成 30 年度 日本生物物理学界中部支部講演会 2019 年 3 月 26 日 (岡崎); P17.

渡辺大輝, Carol Cho, 内橋貴之, 加藤晃一, Ji-Joon Song  
ヒストンシヤペロン Abo1 の直接観察  
平成 30 年度 日本生物物理学界中部支部講演会 2019 年 3 月 26 日 (岡崎); P25.

齋藤泰輝  
LAMP-1 中の特定のアミノ酸配列による FUT9 依存的な Lewis X 修飾の制御  
第 83 回 日本生化学会中部支部例会・シンポジウム 2019 年 5 月 25 日 (名古屋); P55.

矢木宏和  
糖転位酵素の局在に着目したタンパク質特異的な糖鎖修飾機構の解析  
新学術領域研究「オルガネラゾーン」班会議 2019 年 5 月 27 日 (吹田); P40.

Koichi Kato 【招待講演】  
Determinants for Glycoprotein Fates in Cells  
International Symposium on Bio-CHAINS from Single Molecules to Highly Organized Systems  
2019 年 6 月 3 日 (岐阜)

矢木宏和  
極限生物の糖鎖構造解析  
第 20 回 比較グライコーム研究会 2019 2019 年 6 月 8 日 (横浜); S1.

Koichi Kato 【招待講演】  
What is ExCELLS?  
ExCELLS visit talks 2019 年 6 月 21 日 (台湾)

Maho Yagi-Utsumi 【招待講演】  
Biophysical characterization of environment-dependent biomolecular assemblies  
ExCELLS visit talks 2019 年 6 月 21 日 (台湾)

谷中冴子, 與語理那, 矢木宏和, 伊藤 暁, 奥村久士, 山口拓実, 加藤晃一  
IgG のフコシル化による Fc のダイナミクスの変化が Fc $\gamma$  受容体との相互作用に及ぼす影響  
Dynamic conformational effects of IgG fucosylation for interaction between Fc and Fc $\gamma$  receptor  
第 19 回日本蛋白質科学会年会, 第 71 回日本細胞生物学会大会 合同年次大会  
2019 年 6 月 25 日 (神戸); 2WCp-06, 2P-020.

加藤晃一, 白瀧千夏子 【招待講演】  
生命創成探究センター (ExCELLS) の共同利用研究  
Joint Research Projects organized by ExCELLS  
第 19 回日本蛋白質科学会年会, 第 71 回日本細胞生物学会大会 合同年次大会  
2019 年 6 月 26 日 (神戸); 3WDa-04.

Koichi Kato 【基調講演】  
Experimental and Computational Approaches for Elucidating Glycofunctional Mechanisms  
The 23rd International Annual Symposium on Computational Science and Engineering: Expanding Your Mind  
2019 年 6 月 28 日 (Chiang Mai)

Koichi Kato, Tatsuya Suzuki, Rina Yogo, Maho Yagi-Utsumi, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Saeko Yanaka 【招待講演】

NMR characterization of dynamic conformations and interactions of functional oligosaccharides and antibody glycoproteins

8th Asia-Pacific NMR Symposium 2019 年 7 月 4 日 (Singapore)

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Rintaro Inoue, Masaaki Sugiyama, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura, Yohei Miyanoiri, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato 【招待講演】

Dynamic Views of the Fc Portion of Immunoglobulin G Provided by Experimental and Computational Observations  
Frontier Bioorganization Forum 2019 2019 年 7 月 7 日 (Seoul)

Maho Yagi-Utsumi, Satoru G. Itoh, Hisashi Okumura, Katsuyuki Nishimura, and Koichi Kato 【招待講演】

NMR characterization of conformational transition of amyloid- $\beta$  on ganglioside membrane

Frontier Bioorganization Forum 2019 2019 年 7 月 7 日 (Seoul)

Koichi Kato, Tatsuya Suzuki, Tokio Watanabe, Taiki Saito, Gengwei Yan, Tadashi Satoh, Saeko Yanaka, Hirokazu Yagi, and Takumi Yamaguchi 【招待講演】

Biomolecular engineering of Lewis X-containing oligosaccharides

Frontier Bioorganization Forum 2019 2019 年 7 月 8 日 (Seoul)

矢木宏和 【招待講演】

糖タンパク質糖鎖の構造機能解析

第 8 回 BRIGHT (Bridging the Rising Generations by Hybrid research in Tokushima) symposium

2019 年 7 月 26 日 (徳島)

柚木康弘, 矢木宏和, 矢木真穂, 石井健太郎, 村上怜子, 内山 進, 加藤晃一

時計タンパク質 KaiC による ATP 加水分解に依存した Kai タンパク間相互作用の制御メカニズムの解明  
第 20 回 若手 NMR 研究会 2019 年 8 月 2 日 (蒲郡) ; P1.

與語理那, 谷中冴子, 矢木宏和, 加藤晃一

安定同位体標識を利用した NMR による抗体の動的構造解析

第 20 回 若手 NMR 研究会 2019 年 8 月 2 日 (蒲郡) ; P20.

山口拓実 【奨励賞受賞講演】

常磁性 NMR 計測を活用した糖鎖の動的立体構造解析法の開発

第 38 回 日本糖質学会年会 2019 年 8 月 19 日 (名古屋) ; 1A-P3.

矢木宏和 【ワークショップ】

糖転移酵素の局在に着目したタンパク質特異的な糖鎖修飾機構の解析

第 38 回 日本糖質学会年会 2019 年 8 月 19 日 (名古屋) ; WS-03.

加藤晃一 【招待講演】

令和初めての夏に想う、抗体の NMR から学んだこと

第 20 回若手 NMR 研究会 2019 年 8 月 20 日 (蒲郡)

小川光貴, 矢木宏和, 田嶋優子, 妹尾勇弥, 池田和貴, 加藤晃一, 竹内英之, 岡島徹也

構造学的なアプローチによる細胞外 O-GlcNAc 修飾の分子機能解析

第 38 回 日本糖質学会年会 2019 年 8 月 20 日 (名古屋) ; 2A-01(A).

蜷川 暁, Ginto George, 矢木宏和, 住友嘉樹, 神谷由紀子, 石川時郎, 武田俊一, 佐久間哲史, 山本 卓, 加藤晃一, 岡田徹也, 森 和俊  
高等動物における N 型糖鎖トリミングを基軸とした小胞体関連分解機構の解析  
第 38 回 日本糖質学会年会 2019 年 8 月 20 日 (名古屋) ; 2A-03(A).

鈴木達哉, 谷中冴子, 渡邊東紀男, Gengwei Yan, 佐藤匡史, 矢木宏和, 山口拓実, 加藤晃一  
未結合状態の糖鎖のコンフォメーション空間の改変によるレクチン親和性の向上  
第 38 回 日本糖質学会年会 2019 年 8 月 21 日 (名古屋) ; 3A-04(B).

Hirokazu Yagi, Rena Honda, Rino Yamada, Maho Yagi-Utsumi, Kazuhiro Aoki, and Koichi Kato  
Promotion of  $\alpha$ 2,3-sialylation of recombinant erythropoietin by tagging it with a 10-aminoacid sequence recognized by a cargo receptor complex  
25th International Symposium on Glycoconjugates 2019 年 8 月 26-30 日 (Milano) ; 398.

Taiki Saito, Hirokazu Yagi, Chuwei Kuo, Kay-Hooi Khoo, and Koichi Kato  
Deciphering the molecular code for FUT9-dependent Lewis X modification  
25th International Symposium on Glycoconjugates 2019 年 8 月 29 日 (Milano) ; Session17-2.

矢木宏和【招待講演】  
糖鎖のシークエンス解析および立体構造解析  
TIA ナノバイオサマースクール (糖鎖・レクチン) 2019 年 9 月 3 日 (東京)

谷中冴子【招待講演】  
抗体の構造研究から学ぶ、研究者ってどんな職業？  
中高生のための未来教室 - ホンネで語るライフサイエンスの道！ 2019 年 9 月 4 日 (東京)

Koichi Kato, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Saeko Yanaka【招待講演】  
Dynamic Views of Structures and Interactions of Antibodies  
The 10th Toyota RIKEN International Workshop on Science of Life Phenomena Woven by Water and Biomolecules  
2019 年 9 月 5 日 (長久手)

Maho Yagi-Utsumi and Koichi Kato  
NMR Study of Conformational Transition of Amyloid- $\beta$  on Ganglioside Membrane  
The 10th Toyota RIKEN International Worksyp on Science of Life Phenomena Woven by Water and Biomolecules  
2019 年 9 月 5 日 (長久手)

Methanee Hiranyakorn, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, and Koichi Kato  
NMR characterization of conformational dynamics of Lys48-linked ubiquitin chains  
The 10th Toyota RIKEN International Worksyp on Science of Life Phenomena Woven by Water and Biomolecules  
2019 年 9 月 5 日 (長久手)

宮澤和久, 伊藤 暁, 渡辺大輝, 内橋貴之, 谷中冴子, 矢木真穂, 加藤晃一, 荒川和晴, 奥村久士  
分子動力学シミュレーションおよび高速原子間力顕微鏡による RvSAHS1 タンパク質の水溶液中での動的性質の解明  
第 4 回 クマムシ学研究会 2019 年 9 月 8 日 (大阪)

土井昂大, 島村 繁, 矢木宏和, 矢木真穂, 谷中冴子, 澤山茂樹, 井町寛之, 高井 研, 加藤晃一, 中川 聡  
深海の化学合成生態系に優占する共生微生物の糖鎖生物学的性状  
日本微生物生態学会 第 33 回大会 2019 年 9 月 11 日 (山梨) ; P1-16.

Saeko Yanaka 【招待講演】

Experimental and computational observations of the dynamics of the Fc region of immunoglobulin G  
Satellite meeting for PF Workshop “Marriage of Computational and Experimental Techniques for Solution  
Small-angle Scattering” 2019年9月13日（熊取）

Hirokazu Yagi 【シンポジウム】

Structure and function of the Golgi

Molecular mechanisms underlying protein-specific glycosylation pattern formation by tagging with a  
MCFD2-binding motif sequence recognized by cargo receptor

第92回 日本生化学会大会 2019年9月20日（横浜）；3S12m-06.

與語理那

IgG と Fc 受容体の相互作用における Fab 領域の新規結合部位の同定

第92回 日本生化学会大会 2019年9月19日（横浜）；2T08m-06.

2019年9月20日（横浜）；3P-375.

Rino Yamada, Hirokazu Yagi, Rena Honda, Maho Yagi-Utsumi, Kazuhiro Aoki, and Koichi Kato

Promotion of  $\alpha$ 2,3-sialylation of glycoproteins by a passport sequence tag recognized by cargo receptor

The 6th International Symposium on Bioimaging

The 28th Annual Meeting of the Bioimaging Society 2019年9月21-22日（東京）；P-35.

加藤晃一 【招待講演】

物質と生命をつなぐ分子のオーケストレーション

第3回 J-PARC 国際シンポジウム「宇宙・物質・生命の起源を求めて」市民公開講座

2019年9月23日（つくば）

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Dynamic structures and interactions of antibodies under physiologically relevant conditions

第57回 日本生物物理学会年会 2019年9月24日（宮崎）；1SDP-5.

Hiroki Watanabe, Koichi Kato, and Takayuki Uchihashi

Visualization and quantification of biological samples by high-speed atomic force microscope

第57回 日本生物物理学会年会 2019年9月24日（宮崎）；1SDP-4 (1Pos267).

Maho Yagi-Utsumi and Koichi Kato 【招待講演】

Biophysical characterization of environment-dependent protein assemblies of physiological and pathological interest

第57回 日本生物物理学会年会 2019年9月26日（宮崎）；3SHA-3.

Hirokazu Yagi, Yasuhiro Yunoki, Ken Morishima, Kentaro Ishii, Reiko Murakami, Lionel Porcar, Anne Martel,

Rintaro Inoue, Kazuki Terauchi, Susumu Uchiyama, Masaaki Sugiyama, and Koichi Kato 【招待講演】

Structural characterization of the circadian clock protein complexes composed of KaiA, KaiB and KaiC by integrative  
structural approaches

第3回 J-PARC 国際シンポジウム「宇宙・物質・生命の起源を求めて」 2019年9月26日（つくば）

Kunihiro Kuwajima, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato 【招待講演】

The H/D-exchange kinetics of unfolded ubiquitin in 6 M GdmCl studied by the DMSO-quenched 2D NMR  
techniques

The 19th KIAS Conference on Protein Structure and Function 2019年9月26-28日（Seoul）；S03-1.

柚木康弘, 石井健太郎, 矢木真穂, 村上怜子, 寺内一姫, 内山 進, 矢木宏和, 加藤晃一  
谷中冴子, 與語理那, 矢木宏和, 加藤晃一【招待講演】  
安定同位体標識を利用した NMR による抗体の「品質」の解析  
第 42 回 日本分子生物学会年会 2019 年 12 月 5 日 (福岡); 3AW-20-3.谷中冴子

Yasuhiro Yunoki, Atsuji Kodama, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi, Reiko Murakami, Kazuki Terauchi, Susumu Uchiyama, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato【優秀ポスター賞】  
ATP hydrolysis by KaiC regulates its binding to Kai proteins in the cyanobacterial circadian clock system  
第 26 回 日本時計生物学会学術大会 2019 年 10 月 13 日 (金沢); P004.

関口太一郎, 佐藤匡史, 栗本英治, ソンチホン, 渡辺大輝, 石井健太郎, 矢木宏和, 谷中冴子, 内山 進,  
内橋貴之, 村田和義, 加藤晃一  
プロテアソームの $\alpha$ サブユニットからなるタンパク質複合体の集合状態の制御  
「細胞を創る」研究会 12.0 2019 年 10 月 17-18 日 (松山); P-13.

谷中冴子, 與語理那, 山崎俊夫, 宮ノ入洋平, 矢木宏和, 加藤晃一  
抗体の NMR 解析のための安定同位体標識法の開発と応用  
第 58 回 NMR 討論会 2019 年 11 月 7 日 (川崎); P19.

矢木真穂, 西村勝之, 加藤晃一  
ガングリオシド膜上におけるアミロイド $\beta$ の固体 NMR 解析  
第 58 回 NMR 討論会 2019 年 11 月 9 日 (川崎); L3-4.

梅澤芙美子, 矢木宏和, 加藤晃一  
真核生物におけるグリセロールリン酸供与体 CDP-グリセロールの合成酵素の探索  
第 29 回 日本病院薬剤師会東海ブロック学術大会・令和元年度日本薬学会東海支部例会  
2019 年 11 月 10 日 (名古屋); G-5.

土井昂大, 島村 繁, 矢木宏和, 矢木真穂, 谷中冴子, 澤山茂樹, 井町寛之, 高井 研, 加藤晃一, 中川  
聡  
深海底熱水活動域に優占する化学合成独立栄養細菌の糖鎖生物学的性状  
極限環境生物学会 2019 年度 (第 20 回) 年会 2019 年 11 月 17 日 (京都); O4-06.

Koichi Kato【招待講演】  
Prof. Yoji Arata memorial session  
Lessons Learned from Antibody NMR  
The 58th Annual Meeting of the Nuclear Magnetic Resonance Society of Japan 2019 年 11 月 8 日 (川崎)

Satoru G. Itoh, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Hisashi Okumura  
Theoretical and experimental studies on an A $\beta$  monomer at a hydrophilic/hydrophobic interface  
The 2nd ExCELLS symposium 2019 年 11 月 18 日 (岡崎); P3.

Kazuhisa Miyazawa, Satoru G. Itoh, Hiroki Watanabe, Takayuki Uchihashi, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi,  
Koichi Kato, Kazuharu Arakawa, and Hisashi Okumura  
Structural stability of RvSAHS1 in solution and the dehydrated condition using molecular dynamics simulations and  
high-speed atomic force microscopy  
The 2nd ExCELLS symposium 2019 年 11 月 18 日 (岡崎); P4.

Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato

Research activities in extreme environmental biomolecular research group in FY2019

The 2nd ExCELLS symposium 2019年11月18日(岡崎); P16.

Maho Yagi-Utsumi, Hiroki Watanabe, Christian Ganser, Vincent Schnapka, Chise Ota, Yudai Sasaki, Hirokazu Yagi, Tadashi Satoh, Takayuki Uchihashi, Kazuhiro Aoki, Hisashi Okumura, Kazuharu Arakawa, and Koichi Kato  
Exploration of the cryptobiotic mechanism of tardigrades for understanding adaptation strategies of living systems to extreme environments

The 2nd ExCELLS symposium 2019年11月18日(岡崎); P17.

Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hiroki Watanabe, Satoru G. Itoh, Hirokazu Yagi, Susumu Uchiyama, Hisashi Okumura, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato

Observation of dynamical orchestration of antibodies

The 2nd ExCELLS symposium 2019年11月18日(岡崎); P18.

Tatsuya Suzuki, Rena Honda, Misaki Himeda, Rino Yamada, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Tadahi Satoh, Hirokazu Yagi, Satoshi Goto, Tomomi Nemoto, Yusaku Ohta, Kazuhiro Aoki, Shinji Takada, and Koichi Kato  
Protein-specific glycosylation determined by sub-Golgi localizations of glycosyltransferases

The 2nd ExCELLS symposium 2019年11月18日(岡崎); P19.

Yasuhiro Yunoki, Atsuji Kodama, Kentaro Ishii, Maho Yagi-Utsumi, Reiko Murakami, Kazuki Terauchi, Susumu Uchiyama, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Native mass spectrometric analysis of the interplay among circadian clock proteins

The 2nd ExCELLS symposium 2019年11月18日(岡崎); P20.

伊藤 暁, 矢木真穂, 加藤晃一, 奥村久士

分子動力学シミュレーション及びNMR実験を用いた親水性/疎水性界面でのA $\beta$ に関する研究  
スーパーコンピュータワークショップ2019「凝縮系の構造、物性、ダイナミクス」

2019年11月19日(岡崎)

矢木真穂【招待講演】

アルツハイマー病の解明を目指したNMR構造研究

東京大学社会連携講座：革新分子構造解析講座 公開シンポジウム 一低分子からタンパク質まで、統合分子構造解析— 2019年11月22日(東京)

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kai-Hooi Khoo, 加藤晃一

FUT9依存的なLewis X修飾をもたらす特定のアミノ酸配列の同定

第2回オルガネラ・ゾーン若手の会 2019年11月25日(東京); T14.

矢木宏和

タンパク質特異的な糖鎖修飾機構の解析

第3回オルガネラ・ゾーン研究会 2019年11月26日(東京); S1. P5.

矢木真穂【招待講演】

古細菌タンパク質の高次構造多型の解析

2019年度第1回中性子構造生物学研究会 2019年11月28日(東京)

梅澤英美子, 矢木宏和, 加藤晃一【奨励賞】

真核生物における新規グリセロール酸修飾の生合成経路の探索

第3回Glycolleague 2019年11月29日(東広島)

矢木宏和  
糖タンパク質および糖鎖の構造機能解析  
第3回 Glycolleague 2019年11月29日(東広島)

蜷川 暁, George Ginto, 矢木宏和, 今見考志, 石濱 泰, 石川時郎, 佐久間哲史, 山本 卓, 武田俊一,  
加藤晃一, 岡田徹也, 森 和俊  
小胞体タンパク質品質管理機構の中心を担う N 型糖鎖依存/非依存小胞体関連分解経路の分子メカニズム  
の解析  
第42回 日本分子生物学会年会 2019年12月3日(福岡); 1AW-04-7.

谷中冴子, 與語理那, 矢木宏和, 加藤晃一  
安定同位体標識を利用した NMR による抗体の「品質」の解析  
第42回 日本分子生物学会年会 2019年12月5日(福岡); 3AW-20-3.

矢木宏和【依頼講演】  
積荷受容体が認識するパスポート配列タグの付加に伴う $\alpha$ 2,3 シアリル化の亢進  
第42回 日本分子生物学会年会 2019年12月5日(福岡); 3PW-03-2.

山口祐希, 與語理那, 矢木宏和, 佐藤匡史, 中西真人, 嶋田麻里, 丸野孝浩, 鳥巢哲生, 渡邊史生, 肥後  
大輔, 谷中冴子, 加藤晃一, 内山 進  
HDX-MS による抗体と Fc 受容体の相互作用解析  
第42回 日本分子生物学会年会 2019年12月6日(福岡); 4P-0616.

Koichi Kato, Tatsuya Suzuki, Tokio Watanabe, Taiki Saito, Gengwei Yan, Tadashi Satoh, Saeko Yanaka, Hirokazu  
Yagi, and Takumi Yamaguchi【招待講演】  
Glycoengineering based on biomolecular science  
2<sup>nd</sup> International Conference on Materials Research and Innovation (ICMARI) 2019年12月17日(Bangkok)

Koichi Kato【招待講演】  
Biophysical insights into dynamical protein assembly systems  
IMS - PCOSS Bilateral Symposium 2019年12月22日(Xiamen)



## 【分子生物薬学分野】

(総説・著書・総合論文など)

Michiko Shirane

Roles of protrudin at interorganelle membrane contact sites

*Proceedings of the Japan Academy (PJA), Series B*, **95**, 312-320 (2019).

(学会発表)

白根道子【招待講演】

Regulation of inter-organelle communication

EWU-NCU joint symposium, 2019年2月27日(名古屋)、口頭発表(英語)

白根道子【招待講演】

The protrudin complex at ER membrane contact sites

The 16th International Membrane Research Forum, 2019年3月19日(沖縄)、口頭発表(英語)

白根道子

膜接触部位を介したエンドソーム成熟の機構

第92回日本生化学会大会 シンポジウム、2019年9月18日(横浜)、口頭発表

國松濤奈、松尾奏江、松崎英美子、中津海洋一、中山敬一、白根道子

プロトルーディン複合体による膜接触部位の形成機構

第83回日本生化学会 中部支部例会、2019年5月25日(名古屋)、口頭発表+ポスター発表

林直希、中山敬一、白根道子

プロトルーディン複合体による膜接触部位を介した細胞内カルシウム調節機構

第83回日本生化学会 中部支部例会、2019年5月25日(名古屋)、口頭発表+ポスター発表

松本悠希、橋本寛、宮川剛、昌子浩孝、中山敬一、白根道子

モノアミン分泌における細胞内輸送制御分子プロトルーディンの関与

第83回日本生化学会 中部支部例会、2019年5月25日(名古屋)、口頭発表+ポスター発表

山畑育子、中山敬一、白根道子

神経細胞の樹状突起スパイン成熟におけるプロトルーディンの関与と機構

第83回日本生化学会 中部支部例会、2019年5月25日(名古屋)、口頭発表+ポスター発表

佐藤希帆、白根道子

膜接触部位における TMEM55B の細胞内  $\text{Ca}^{2+}$  調節機能の解析

第65回東海支部総会・大会、2019年7月6日(名古屋)、口頭発表

竹本龍介、白根道子

プロトルーディン複合体タンパク質 Tmed10 の膜接触部位における機能の解析

第65回東海支部総会・大会、2019年7月6日(名古屋)、口頭発表

中津海洋一、松本雅記、白根道子、中山敬一

定量的リン酸化プロテオミクスによる mTORC1 下流の新規がん促進シグナルの解析

日本プロテオーム学会 2019年大会、2019年7月25日(宮崎)、口頭発表

山畑育子、松尾奏江、中山敬一、白根道子

**Protrudin-PDZD8** 複合体は小胞体-後期エンドソーム間繫留を促進する

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019、2019 年 9 月 7 日（静岡）、口頭発表

松本悠希、林直希、中山敬一、白根道子

プロトルーディン結合タンパク質 **PDZD8** の脂質輸送活性と作用機序

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019、2019 年 9 月 7 日（静岡）、口頭発表

林直希、松本悠希、中山敬一、白根道子

**PDZD8** による脂質輸送の制御機構の研究

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019、2019 年 9 月 7 日（静岡）、口頭発表

國松澪奈、山畑育子、中津海洋一、中山敬一、白根道子

膜接触部位におけるプロトルーディン複合体によるエンドソーム成熟

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019、2019 年 9 月 7 日（静岡）、口頭発表

森田敬子、松崎芙美子、中山敬一、白根道子

膜接触部位におけるプロトルーディン複合体のプロテオミクス解析

第 92 回日本生化学会大会、2019 年 9 月 18 日（横浜）、ポスター発表

大田雄大、林直希、松本悠希、中山敬一、白根道子

プロトルーディン複合体による膜接触部位における脂質転移制御

第 92 回日本生化学会大会、2019 年 9 月 18 日（横浜）、ポスター発表

和田万理子、國松澪奈、山畑育子、中津海洋一、中山敬一、白根道子

プロトルーディン複合体による膜接触部位を介した後期エンドソーム成熟

第 92 回日本生化学会大会、2019 年 9 月 18 日（横浜）、ポスター発表

高橋勇人、林直希、松本悠希、白根道子

オルガネラ間膜接触部位における脂質転移機構の研究

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日(名古屋)、口頭発表

種子島智哉、白根道子

精神疾患における炎症関連遺伝子の動態解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日(名古屋)、口頭発表

森千伽子、白根道子

**Protrudin** 欠損マウスにおける神経免疫関連遺伝子の動態解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日(名古屋)、口頭発表

## 【薬物送達学分野】

(原報)

Tatsuaki Tagami, Natsumi Yoshimura, Eiichi Goto, Hakehiro Noda and Tetsuya Ozeki  
Fabrication of Muco-Adhesive Oral Films by the 3D Printing of Hydroxypropyl Methylcellulose-Based Catechin-Loaded Formulations  
*Biol. Pharm. Bull.*, **42(11)**, 1898-1905(2019).

Ryo Maeda, Tatsuya Ito, Tatsuaki Tagami, Takemasa Takii and Tetsuya Ozeki  
Development of dried emulsion/mannitol composite microparticles through a unique spray nozzle for efficient delivery of hydrophilic anti-tuberculosis drug against alveolar macrophages  
*Biol. Pharm. Bull.*, **42(11)**, 1846-1853(2019).

Midori Nishio, Tatsuaki Tagami, Moeko Taki and Tetsuya Ozeki  
Effective spray drying technique to prepare nanocomposite particles by preventing the growth of needle-like simvastatin crystal  
*J. Drug Deliv. Sci. Technol.*, **53 October**, Article 101188(2019).

Tatsuaki Tagami, Eriko Kuwata, Norihito Sakai, and Tetsuya Ozeki  
Drug Incorporation into Polymer Filament using Simple Soaking Method for Tablet Preparation using Fused Deposition Modeling  
*Biol. Pharm. Bull.*, **42(10)**, 1753-1760(2019).

Tatsuaki Tagami, Naomi Hayashi, Norihito Sakai, and Tetsuya Ozeki  
3D printing of unique water-soluble polymer-based suppository shell for controlled drug release  
*Int. J. Pharm.*, **568**, **10 September**, Article 118494(2019).

Tatsuaki Tagami, Mutsumi Ando, Noriko Nagata, Eiichi Goto, Natsumi Yoshimura, Takao Takeuchi, Takehiro Noda, and Tetsuya Ozeki  
Fabrication of naftopidil-loaded tablets using a 3D bioprinter, and the characteristics of the printed hydrogel and resulting tablets  
*J. Pharm. Sci.*, **108**, 907-913(2019).

(総説・著書・総合論文など)

田上辰秋、尾関哲也  
バイオ医薬品の DDS～生分解性ポリマー・ハイドロゲルを用いたタンパク医薬品の薬物放出制御に関する最近の研究～  
バイオ医薬品の開発と市場 2019 第 8 章、pp. 84-91(2019).

(学会発表)

田上辰秋【招待講演】  
3Dプリンター技術を活かした錠剤・医薬品研究に関する最近の動向  
平成 30 年度 第 3 回「メディシヨナルナノテク研究会」, 2019 年 2 月 27 日 (神戸)

桑田絵里子, 伊藤恵里奈, 林直美, 田上辰秋, 酒井紀人, 尾関哲也

FDM方式3Dプリンター錠剤の品質に影響を与える薬物含有ポリマーフィラメントの調製法（含浸法）の検討と材料力学的評価  
日本薬学会第139年会, 2019年3月20日～23日（千葉）

花木彩香, 後藤瑛一, 田上辰秋, 尾関哲也  
多孔性PLGAマイクロ粒子を用いた抗体封入・徐放システムの開発  
粉体工学会2019年度春期研究発表会, 2019年5月9日～10日（東京）

玉越知樹, 川口恵里奈, 後藤瑛一, 田上辰秋, 尾関哲也  
マンニトールを粉碎メディアとした種々の難溶性薬物の微細化技術  
日本薬学会第139年会, 2019年3月20日～23日（千葉）

尾関哲也, 竹内堂朗, 梶屋昌史, 中村和哉, 鯉江真帆, 林直美, 田上辰秋, 川上智子, 池崎秀和  
名古屋市立大学薬学部の製剤学実習における味覚センサー導入の試み～第8報～  
日本薬学会第139年会, 2019年3月20日～23日（千葉）

田上辰秋, 吉村夏実, 後藤瑛一, 尾関哲也  
3Dバイオプリンターを用いたオーダーメイド口腔付着フィルムの調製  
日本薬学会第139年会, 2019年3月20日～23日（千葉）

小松美穂, 後藤瑛一, 田上辰秋, 尾関哲也  
肺がん治療を目的としたテムシロリムス・クルクミン共封入多孔性PLGA微粒子吸入剤の開発  
日本薬学会第139年会, 2019年3月20日～23日（千葉）

伊藤恵里奈, 井上智貴, 彭姝瑗, 田上辰秋, 酒井紀人, 尾関哲也  
3Dプリンターを活用した中空坐剤外殻の作製と薬物イオン液体を含有する坐剤の調製  
日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日～18日（富山）

古閑健人, 田上辰秋, 尾関哲也  
金ナノ粒子被覆温熱感受性リポソームの調製と近赤外レーザーによる薬物放出制御  
日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日～18日（富山）

中村和哉, 田上辰秋, 尾関哲也  
機能性吸入剤に向けたMini-Depofoamの粒子設計  
日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日～18日（富山）

田上辰秋, 尾関哲也【招待講演】  
3Dプリント技術を活用した新しい製剤技術  
第56回薬剤学懇談会研究討論会, 2019年6月14日（蒲郡）

田上辰秋, 尾関哲也【招待講演】  
吸入剤に適した機能性ナノコンポジット粒子・ナノマトリクス粒子の開発  
第35回日本DDS学会学術集会, 2019年7月4日～5日（横浜）

近藤康人, 竹内堂朗, 田上辰秋, 尾関哲也  
肺がん治療に向けた近赤外線レーザーと光増感剤搭載金ナノスターを併用した新しい治療様式と殺細胞効果  
第35回日本DDS学会学術集会, 2019年7月4日～5日（横浜）

井上智貴, 竹内堂朗, 田上辰秋, 尾関哲也

チオール化ヒアルロン酸を保護基とした金ナノクラスターの調製  
第 65 回日本薬学会東海支部大会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋)

山本菜緒, 田上辰秋, 尾関哲也

Solid-in-Oil emulsion 技術とスプレードライ技術を組み合わせた抗菌薬含有マイクロスフェアの粒子設計

第 65 回日本薬学会東海支部大会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋)

Tatsuaki Tagami, Masafumi Kajiya, Eiichi Goto, Tetsuya Ozeki

Preparation of lactoferrin/chitosan nanofiber-based foam formulation for 3D bioprinting against wound healing

2019 Controlled Release Society Annual Meeting, July 21-24, 2019 (Valencia, Spain)

田上辰秋, 尾関哲也

フェムト秒レーザーを用いた難溶性薬物微細化技術

粉体工学会 第 54 回技術討論会, 2019 年 9 月 3 日～4 日 (名古屋)

田上辰秋【招待講演】

機能性食品・医薬品の苦味マスキング技術

ISS 産業科学システムズ (ISSEC) Solutions Techno Management Consulting Seminar, 2019 年 9 月 12 日 (東京)

北原恵, 浦野真帆, 辰巳真里奈, 後藤瑛一, 田上辰秋, 深水啓朗, 尾関哲也

スプレードライヤーを用いた難水溶性薬物シロスタゾール cocrystal の調製と溶出性の改善  
製剤機械技術学会 第 29 回大会, 2019 年 10 月 10 日～11 日 (岐阜)

伊藤恵里奈, 田上辰秋, 林直美, 酒井紀人, 尾関哲也

熱溶融積層方式 3D プリンターを用いた内部構造の異なる中空坐剤外殻の作製と薬物放出  
製剤機械技術学会 第 29 回大会, 2019 年 10 月 10 日～11 日 (岐阜)

中村和哉, 田上辰秋, 尾関哲也

吸入剤に適した抗菌薬含有 Mini-Depofoam の作製と粒子径・薬物放出制御  
製剤機械技術学会 第 29 回大会, 2019 年 10 月 10 日～11 日 (岐阜)

Tetsuya Ozeki【招待講演】

Application of gold-based nanoparticles as a unique platform of Nanomedicine

AFPS-ICAPPS 2019, October 25, 2019 (Bali, Indonesia)

Tetsuya Ozeki【受賞講演】

Gold-based nanoparticles as a unique platform of nanomedicine

Higuchi Memorial Prize Lecture, December 10, 2019 (Lawrence, KS, USA)

田上辰秋, 伊藤恵里奈, 野田剛弘, 尾関哲也

3D バイオプリンターを用いた小児グミ製剤の製造に向けたプリンターインクの性質に関する検討  
第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 2 日～4 日 (福岡)

田上辰秋【招待講演】

3D プリンター技術を用いた様々な剤形への医薬品応用

令和元年度 第 3 回メディショナルナノテク研究会, 2019 年 12 月 11 日 (名古屋)

## 【生薬学分野】

(原報)

Misato Ota, Kan'ichiro Ishiuchi, Xin Xu, Masaaki Minami, Yasutaka Nagachi, Maho Yagi-Utsumi, Yoshiaki Tabuchi, Shao-Qing Cai, Toshiaki Makino

Immunostimulatory effects and chemical characteristics of heated honey

*J. Ethnopharmacol.* **228**, 11-17 (2019).

Waka Nakayama, Yukio Fujiwara, Yasuhiro Kosuge, Orawan Monthakantirat, Kazumi Fujikawa, Santi Watthana, Susumu Kitanaka, Toshiaki Makino, Kan'ichiro Ishiuchi

Phlenumdines D and E, new *Lycopodium* alkaloids from *Phlegmariurus nummulariifolius*, and their regulatory effects on macrophage differentiation during tumor development

*Phytochem. Lett.* **39**, 98-103 (2019).

Aki Yamada, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Hajime Mizukami, Kazuyoshi Terasaka

A glucosyltransferase specific for 4-hydroxy-2,5-dimethyl-3(2H)-furanone in strawberry

*Biosci. Biotech. Biochem.* **83**, 106-113 (2019).

Kan'ichiro Ishiuchi, Osamu Morinaga, Takeshi Ohkita, Chuanting Tian, Asuka Hirasawa, Miaki Mitamura, Yasuhito Maki, Tsubasa Kondo, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa, Kiyoshi Minamizawa, Takao Namiki, Toshiaki Makino

18 $\beta$ -glycyrrhetyl-3-O-sulfate would be a causative agent of licorice-induced pseudoaldosteronism

*Sci. Rep.* **9**, 1587 (2019).

Masaaki Minami, Mineo Nakamura, Toshiaki Makino

Effect of *Lonicera caerulea* var. *emphylocalyx* extracts on murine *Streptococcus pyogenes* infection by modulating immune system

*BioMed Res. Int.* **2019**, 1797930 (2019).

Toshiyuki Atsumi, Yumi Yokoyama, Takami Yokogawa, Toshiaki Makino, Isao Ohtsuka

Effects of crushed Schisandra Fruit on the content of lignans in Kampo decoction

*J. Nat. Med.* **73**, 381-387 (2019).

Vahap Murat Kutluay, Toshiaki Makino, Makoto Inoue, Iclal Saracoglu

New knowledge about old drugs; a cardenolide type glycoside with cytotoxic effect and unusual secondary metabolites from *Digitalis grandiflora* Miller

*Fitoterapia* **134**, 73-80 (2019).

Katsuhiko Masumoto, Zhiyang Quan, Kan'ichiro Ishiuchi, Takashi Matsumoto, Junko Watanabe, Toshiaki Makino

Drug interaction between shoseiryuto extract or catechins and fexofenadine through organic anion-transporting polypeptide (OATP) 1A2 *in vitro*

*Pharmacog. Mag.* **15**, 304-308 (2019).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Masayo Taira, Toshiaki Makino

*In vitro* effect of the traditional medicine Hainosan (Painongsan) on *Porphyromonas gingivalis*

*Medicines* **2019**, 58 (2019).

Vahap Murat Kutluay, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Iclal Saracoglu

Cytotoxic phenylethanoid glycosides from *Digitalis davisiana* Heywood: Evaluation of structure activity relationships and chemotaxonomical significance of isolated compounds  
*Fitoterapia* **135**, 90–98 (2019).

Fuzi Zhang, Kan'ichiro Ishiuchi, Akinori Sugiyama, Masahiro Ohsawa, Toshiaki Makino  
B-ring-homo-tonghaosu, isolated from *Chrysanthemum morifolium* capitulum, acts as a peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$  agonist  
*J. Nat. Med.* **73**, 497–503 (2019).

Zeynep Doğan, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, İclal Saraçoğlu  
 $\alpha$ -pyrone glycosides from *Scutellaria salviifolia* Benth  
*Turkish J. Chem.* **43**, 972–981 (2019).

Yohei Tanimura, Masato Yoshida, Kan'ichiro Ishiuchi, Masahiro Ohsawa, Toshiaki Makino  
Neoline is the active ingredient of processed aconite root against murine peripheral neuropathic pain model, and its pharmacokinetics in rats  
*J. Ethnopharmacol.* **241**, 111859 (2019).

Zeynep Doğan, İclal Saraçoğlu, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino  
New acylated iridoid glucosides from *Scutellaria glaphyrostachys* Rech.f. and chemotaxonomic importance for the genus *Scutellaria*  
*Phytochem. Lett.* **242**, 157–161 (2019).

Misato Ota, Junko Nakazakia, Yoshiaki Tabuch, Takahiko Ono, Toshiaki Makino  
Historical and pharmacological studies on rehmannia root processing – Trends in usage and comparison of the immunostimulatory effects of its products with or without steam processing and pretreatment with liquor  
*J. Ethnopharmacol.* **242**, 112059 (2019).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Masayo Taira, Toshiaki Makino  
Hainosan (painongsan) suppresses the biofilm formation of *Porphyromonas gingivalis* and *Prevotella intermedia* *in vitro*  
*Tradit. Kampo Med.* **6**, 79–87 (2019).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Mineo Nakamura, Toshiaki Makino  
Methanol extract of *Lonicera caerulea* var. *emphylocalyx* fruit has antibacterial and anti-biofilm activity against *Streptococcus pyogenes* *in vitro*  
*BioScience Trends.* **13**, 145–151 (2019).

Sakiko Nishikawa, Yuka Itoh, Muneshige Tokugawa, Yasumichi Inoue, Ken-ichi Nakashima, Yuka Hori, Chiharu Miyajima, Kou Yoshida, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Makoto Inoue, Hajime Mizukami, Toshiaki Makino, Hidetoshi Hayashi  
Kurarinone from *Sophora flavescens* roots triggers ATF4 activation and cytostatic effects through PERK phosphorylation  
*Molecules* **24**, 3110 (2019).

Kanon Takahashi, Tetsuhiro Yoshino, Yasuhito Maki, Kan'ichiro Ishiuchi, Takao Namiki, Keiko Ogawa-Ochiai, Kiyoshi Minamizawa, Toshiaki Makino, Tomonori Nakamura, Masaru Mimura, Kenji Watanabe  
Identification of glycyrrhizin metabolites in humans and of a potential biomarker of liquorice-induced pseudoaldosteronism: a multi-centre cross-sectional study  
*Arch. Toxicol.* **91**, 3111–3119 (2019).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Mineo Nakamura, Toshiaki Makino  
Effect of *Lonicera caerulea* var. *emphyllocalyx* fruit on biofilm formed by *Porphyomonas gingivalis*  
*BioMed Res. Int.* **2019**, 3547858 (2019).

Masaaki Minami, Hiroshi Takase, Mineo Nakamura, Toshiaki Makino  
Methanol extract of *Lonicera caerulea* var. *emphyllocalyx* fruit has anti-motility and anti-biofilm activity against enteropathogenic *Escherichia coli*  
*Drug Discov. Ther.* **13**, 335–342 (2019).

Kan'ichiro Ishiuchi, Dai Hirose, Yoriko Takahashi, Ryu Miyagawa, Kohei Watanabe, Susumu Kitanaka  
Isochromophilol A, a new azaphilone isolated from *Penicillium* sp. RO369, a leaf litter inhabiting fungus from *Tsuga diversifolia*  
*Heterocycles* **98**, 1574–1579 (2019).

笛木司、松岡尚則、李宣融、牧野利明、猪飼祥夫  
『傷寒論』の薬七（方寸七、錢七）の量値  
*漢方の臨床*. **66**, 945–953 (2019).

笛木司、谷村陽平、田中耕一郎、千葉浩輝、松岡尚則、並木隆雄、藤田康介、須永隆夫、別府正志、  
牧野利明  
『宋板傷寒論』の未修治附子配合処方の煎煮時間と煎液に含まれるアコニチン型ジエステルアルカロ  
イド量—処方中の乾姜と甘草が与える影響—  
*日本東洋医学雑誌*. **66**, 313–323 (2019).

（総説・著書・総合論文など）

Shin Takayama, Ryutaro Arita, Minoru Ohsawa, Akiko Kikuchi, Natsumi Saito, Hiromichi Yasui, Toshiaki  
Makino, Yoshiharu Motoo, Tadashi Ishii  
Perspectives on the use of ninjin'yoeito in modern medicine: a review of randomized controlled trials  
*Evid. Based Complement. Alternat. Med.* **2019**, 9590260 (2019).

牧野利明  
ハチミツを加熱すると免疫賦活作用が現れる  
*漢方の臨床*. **66**, 63–64 (2019).

牧野利明  
漢方薬理・最前線～加味帰脾湯  
*phil 漢方*. **74**, 9–11 (2019).

牧野利明  
漢方薬理・最前線～十全大補湯①  
*phil 漢方*. **75**, 8–11 (2019).

牧野利明  
漢方薬理・最前線～十全大補湯②  
*phil 漢方*. **76**, 10–13 (2019).

牧野利明



甘草の副作用，偽アルドステロン症の真の原因物質の探索  
*医学のあゆみ*. **270**, 621-626 (2019).

牧野利明  
漢方薬の有効成分の体内動態  
*Hormone Frontier in Gynecology* **26**, 275-280 (2019).

松岡尚則、田中耕一郎、牧野利明、別府正志  
日本の薬・医療の始まりを考えさせられる出土物について  
*藤門医林*. **32**, 11-16 (2019).

(学会発表)

牧野利明  
生薬の薬能～伝統医学用語で表現される効能～を科学する  
第3回琉球大学漢方医学研究会，2019年2月15日（那覇）。

牧野利明  
ハチミツを加熱加工すると、免疫賦活作用が出現する～加熱加工ハチミツの摂取で細菌感染が予防できる可能性～  
ハチミツ公正取引委員会研修，2019年2月18日（東京）。

Xin Xu, Misato Ota, Yoshiaki Tabuchi, Shao-Qing Cai, Toshiaki Makino  
Inducible effect of heated honey on G-CSF secretion from cultured intestinal cells and its active ingredients  
Nagoya Immunology Network in NCU, 2019年3月11日（名古屋）。

中崎絢子、太田美里、田淵圭章、牧野利明  
地黄の修治による効能変化の本草学的考察及びその科学的検証  
日本薬学会第139年会，2019年3月21-23日（千葉）。

三田村実秋、平澤明日香、牧靖人、石内勘一郎、牧野利明  
甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索（第5報）  
日本薬学会第139年会，2019年3月21-23日（千葉）。

セイエドアイシャアンバル，小菅康弘，藤原章雄，牧野利明，廣瀬大，石内勘一郎  
ウラジロモミ由来糸状菌 *Penicillium decaturense* RO050 より単離した新規 oxalicine アルカロイドの構造と生物活性  
日本薬学会第139年会，2019年3月21-23日（千葉）。

柏原郁恵、佐藤文彦、牧野利明、寺坂和祥  
ウマノスズクサからの MATE トランスポーターの単離及び機能解析  
日本薬学会第139年会，2019年3月21-23日（千葉）。

浅井恒志、牧野利明、寺坂和祥  
カラダイオウからのアントラキノン配糖化酵素の探索  
日本薬学会第139年会，2019年3月21-23日（千葉）。

南正明、中村峰夫、牧野利明  
ハスカップのジンジバリス菌に対する抗バイオフィルム効果

第 92 回日本細菌学会総会, 2019 年 4 月 23-25 日 (札幌) .

中村峰夫、牧野利明、南正明

厚真産ハスカップ果実エキスのジンジバリス菌に対する新規抗細菌効果

第 66 回北海道薬学大会, 2019 年 5 月 18-19 日 (札幌) .

高橋かのん、吉野鉄大、牧野利明、並木隆雄、龍興一、小川恵子、白井明子、南澤 潔、中村智徳、渡辺賢治

偽アルドステロン症を疑われた患者の血中および尿中からのグリチルリチン酸代謝産物の探索

第 70 回日本東洋医学会学術総会, 2019 年 6 月 28-30 日 (東京) .

松岡 尚則、田中耕一郎、牧野利明、別府正志

日本の薬・医療の始まりを考えさせられる出土物について

第 70 回日本東洋医学会学術総会, 2019 年 6 月 28-30 日 (東京) .

牧野利明

漢方製剤に関する薬局ヒヤリ・ハット事例【シンポジスト講演】

第 70 回日本東洋医学会学術総会, 2019 年 6 月 28-30 日 (東京) .

牧野利明

身近な薬用植物と生薬・漢方薬～生物多様性とからめて

なごや環境大学, 2019 年 7 月 3 日 (名古屋) .

牧野利明

響声破笛丸の製造方法

第 21 回日本漢方交流会漢方薬剤師育成研修会, 2019 年 7 月 7 日 (京都) .

牧野利明

生薬・漢方薬に関する医薬品情報学

第 46 期東海漢方協議会入門講座, 2019 年 7 月 8 日 (名古屋) .

牧野利明

臨床生薬学

2019 年度医学生のための漢方医学セミナー, 2019 年 7 月 31 日 (大津) .

Masaaki Minami, Toshiaki Makino

Effect of Ryutansyakanto on urinary pathogenic *Escherichia coli*

The Urological Association of Asia Congress (UAA) 2019, 2019 年 8 月 7-10 日 (Kuala Lumpur, Malaysia) .

Toshiaki Makino, Masahiro Ohsawa

Neoline is the active ingredient of processed aconite root against peripheral neuropathic pain

The 18th Meeting of Consortium for Globalization of Chinese Medicine, 2019 年 8 月 8-10 日 (上海、中国) .

南正明、平雅代、牧野利明

歯周病菌処理マウス線維芽細胞の MCP-1 及び IL-6 分泌に対する排膿散の抑制作用

第 36 回和漢医薬学会学術大会, 2019 年 8 月 1 日-9 月 1 日 (富山) .

牧靖人、石内勘一郎、牧野利明

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索 (第 6 報)

第 36 回和漢医薬学会学術大会, 2019 年 8 月 1 日-9 月 1 日 (富山) .

Toshiaki Makino

18 $\beta$ -glycyrrhetyl-3-O-sulfate would be a causative agent of licorice-induced pseudoaldosteronism  
The 5th International Symposium for Japanese Kampo Medicine, 2019年9月6-7日 (Hann. Münden, Germany) .

浅井恒志、牧野利明、寺坂和祥

*Rheum rhabarbarum* 由来アントラキノン配糖化酵素候補遺伝子の単離と機能解析  
第37回日本植物細胞分子生物学会 (京都) 大会, 2019年9月7-8日 (京都) .

三田村実秋、森永紀、石内勘一郎、牧野利明

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索 (第7報)  
日本生薬学会第66回年会, 2019年9月22-23日 (東京) .

太田美里、倪昊、加藤大貴、森口翔平、中山秀斗、大岩優貴、石内勘一郎、牧野利明

カノコソウの GABAA 受容体結合活性成分の探索  
日本生薬学会第66回年会, 2019年9月22-23日 (東京) .

山田亜紀、近藤未来、石内勘一郎、牧野利明、寺坂和祥

モミジバダイオウからのアントラキノン配糖化酵素候補遺伝子の機能解析  
日本生薬学会第66回年会, 2019年9月22-23日 (東京) .

鈴木卓馬、杉浦由姫、牧野利明、石内勘一郎

*Lycopodium* アルカロイド生産糸状菌 *Paraboeremia* sp. Lsl3 の形質転換系構築  
日本生薬学会第66回年会, 2019年9月22-23日 (東京) .

大渡勝史、森永紀、牧野利明

抗マルチフロリン A 抗体を用いた競合的 ELISA 法による営実および OTC 医薬品中のマルチフロリン A 含量  
日本生薬学会第66回年会, 2019年9月22-23日 (東京) .

牧野利明

一から知りたい漢方の基礎  
名古屋市地域女性団体連絡協議会課題別リーダー研修, 2019年9月25日 (名古屋) .

牧野利明

甘草の副作用、偽アルドステロン症の真の原因物質の探索 【特別講演】  
第141回日本薬理学会関東部会, 2019年10月12日 (東京) .

Toshiaki Makino

Neoline is the active ingredient of processed aconite root against peripheral neuropathic pain and can be used as a marker compound for quality control  
The 6th Annual Conference of Specialty Committee of TCM Pharmacognosy of the World Federation of Chinese Medicine Societies, 2019年10月23-25日 (杭州、中国) .

寺坂和祥 【招待講演】

見た目だけじゃわからない！～植物の中の宝物を探して～  
名古屋市立大学×名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップイベント「生命科学と化学の融合」,  
2019年11月4日 (名古屋) .

牧野利明

各国薬局方の中の黄連【シンポジスト講演】

日本漢方生薬ソムリエ協会公開シンポジウム～黄連シンポジウム, 2019年11月10日（金沢）。

Zeynep Dogan, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Iclal Saracoglu

Chemotaxonomic aspects of new acylated iridoid glucosides from endemic *Scutellaria glaphyrostachys* Rech. f.

The 6th World Congress on Medicinal and Aromatic Plants for Human and Animal Welfare (WOCMAP VI),

2019年11月13–17日（Famagusta, Cyprus）

Zeynep Dogan, Kan'ichiro Ishiuchi, Toshiaki Makino, Iclal Saracoglu

Isolation and characterization of two new compounds from *Scutellaria salviifolia* Benth.

The 6th World Congress on Medicinal and Aromatic Plants for Human and Animal Welfare (WOCMAP VI),

2019年11月13–17日（Famagusta, Cyprus）

牧野利明

ブシの神経障害性疼痛緩和作用とその有効成分【シンポジスト講演】

第48回生薬分析シンポジウム, 2019年11月26日（京都）。

牧野利明

人参養栄湯の抗がん剤による神経障害性疼痛モデルにおける研究【シンポジスト講演】

国際東洋医学会日本支部主催人参養栄湯シンポジウム, 2019年12月1日（仙台）。

牧野利明

生薬・漢方薬に関する医薬品情報学

日進・豊明薬剤師会研修会, 2019年12月26日（日進）。

## 【衛生化学分野】

(原報)

Kazuhito Hayashi, Saotomo Itoh, Arisa Morikawa, Kikuo Onozaki, Shinsuke Taki, Tsutomu Tsuji, Shigeaki Hida.

Staphylococcal  $\alpha$ -hemolysin does not induce cell damage in murine mast cells but it augments the degranulation induced by Fc $\epsilon$ RI cross-linking and ionomycin.

*Biochem Biophys Res Commun.* **508**, 263-269 (2019)

Masato Kobayashi, Takuma Kitano, Saishi Nishiyama, Hideki Sanjo, Kikuo Onozaki, Shinsuke Taki, Saotomo Itoh, Shigeaki Hida.

Staphylococcal superantigen-like 12 activates murine bone marrow derived mast cells.

*Biochem Biophys Res Commun.* **511**, 350-355 (2019)

Makoto Tsuji, Kazuyuki Shiohara, Yoshinori Takei, Yoshinori Shinohara, Shigeyoshi Nemoto, Satoshi Yamaguchi, Masanori Kanto, Saotomo Itoh, Teruaki Oku, Masahiro Miyashita, Yoshiyuki Seyama, Masaaki Kurihara, Tsutomu Tsuji.

Selective Cytotoxicity of Staphylococcal  $\alpha$ -Hemolysin ( $\alpha$ -Toxin) against Human Leukocyte Populations.

*Biol Pharm Bull.* **42**, 982-988 (2019)

Yasuharu Watanabe, Yoshinori Nagai, Hiroe Honda, Naoki Okamoto, Tsutomu Yanagibashi, Masaru Ogasawara, Seiji Yamamoto, Ryu Imamura, Ichiro Takasaki, Hiromitsu Hara, Masakiyo Sasahara, Makoto Arita, Shigeaki Hida, Shun'ichiro Taniguchi, Takashi Suda, Kiyoshi Takatsu.

Bidirectional crosstalk between neutrophils and adipocytes promotes adipose tissue inflammation.

*FASEB J.* **33**, 11821-11835 (2019)

(学会発表)

Shouta Ogawa, Ryoji Yamamoto, Yasuhiro Horita, Saotomo Itoh, Naoya Ohara, Tetsuya Yagi, Kenji Ogawa, Shinji Maeda, Kei Nishimori, Nagatoshi Fujiwara, Yoshitaka Goto, Toshio Yamazaki, Shigeaki Hida, Kikuo Onozaki, Takemasa Takii

ANALYSIS OF THE ADAPTATION MECHANISM OF MYCOBACTERIUM AVIUM UNDER THE ACID ENVIRONMENT

U.S.-Japan Cooperative Medical Sciences Program (USJCMSP) 21st International Conference on Emerging Infectious Diseases in the Pacific Rim 2019年2月26日~3月1日 (ベトナム, ハノイ)

Takuma Kitano, Yuya Motoki, Keitaro Kishida, Saotomo Itoh, Shigeaki Hida

IL-3 regulates intracellular signaling pathways for cytokine production in and tissue localization of murine basophils

Nagoya Immunology Network in NCU. The first international symposium 2019年3月11日 (名古屋)

Kazuhito Hayashi, Arisa Morikawa, Shigeaki Hida, Saotomo Itoh

Staphylococcal  $\alpha$ -hemolysin augments the degranulation of mouse bone-marrow derived mast cells

Nagoya Immunology Network in NCU. The first international symposium 2019年3月11日 (名古屋)

宮竹佑治, 谷口恵一, 伊藤佐生智, 大原直也, 前山順一, 林大介, 山本三郎, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井猛将

Mycobacterium bovis BCG Tokyo 172 type 間での酸化ストレス応答の差違の解析

日本薬学会第 139 年会 2019 年 3 月 20～23 日 (千葉)

小川翔大, 大原直也, 小川賢二, 八木哲也, 藤原永年, 前田伸司, 伊藤佐生智, 肥田重明, 小野寄菊夫, 瀧井猛将

トリ型結核菌 *Mycobacterium avium* の酸性環境下における適応機構の解析  
日本細菌学会総会 2019 年 4 月 23～25 日 (札幌)

北野拓真, 岸田啓太郎, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明  
炎症時における IL-3 依存的な好塩基球の IgE 刺激応答性の上昇  
日本生化学会中部支部第 83 回例会・シンポジウム 2019 年 5 月 25 日 (名古屋)

北野拓真, 元木優也, 山条秀樹, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明  
IL-3 が炎症時の好塩基球の IgE 反応性と体内局在を制御する  
第 65 回日本薬学会東海支部会 2019 年 7 月 6 日 (名古屋)

泉和弥, 安富栄人, 岩城壮一郎, 肥田重明, 青山峰芳, 朝霧成挙  
数理生物学的アプローチにより明らかとなった TNF/IL-6 共刺激と RANKL 単独刺激の共通性  
第 65 回日本薬学会東海支部会 2019 年 7 月 6 日 (名古屋)

安富栄人, 泉和弥, 野間成人, 竹入雅敏, 岩城壮一郎, 井上靖道, 肥田重明, 青山峰芳, 朝霧成挙  
多核マクロファージの性状ならびにその分化機構の探索  
第 65 回日本薬学会東海支部会 2019 年 7 月 6 日 (名古屋)

Takemasa Takii, Saotomo Itoh, Shigeaki Hida, Kikuo Onozaki  
The cell death of lung fibroblasts by live *Mycobacterium tuberculosis* bacilli infection specifically induces inflammatory cytokines  
FEMS meeting 2019 2019 年 7 月 7～11 日 (Glasgow, Scotland)

金光東, 小林正都, 北野拓真, 滝藤遥希, 林知仁, 占部彩花, 肥田重明, 伊藤佐生智  
黄色ブドウ球菌毒素 SSL12 はマスト細胞を活性化する  
第 31 回微生物シンポジウム 2019 年 8 月 28～29 日 (京都)

前原有紀子, 竹内亮人, 北野拓真, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明  
自然免疫細胞に対するスタチン系薬剤の影響  
フォーラム 2019 衛生薬学・環境トキシコロジー 2019 年 8 月 31 日～9 月 1 日 (京都)

Shigeaki HIDA 【招待講演】  
Molecular regulation of Type-2 immune responses  
大韓薬学会 2019 秋季国際学術大会 2019 年 10 月 15 日 (大韓民国, 麗水)

元木優也, 北野拓真, 瀧伸介, 伊藤佐生智, 肥田重明  
炎症時における好塩基球の末梢リンパ組織への局在の制御  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019 2019 年 11 月 10 日 (名古屋)

Naoto Fujioka, Yuma Itoh, Shungo Sasaki, Saotomo Itoh, Shun'ichiro Taniguchi, Shigeaki Hida  
Immune modulation by Bifidobacterium-derived molecules  
第 48 回日本免疫学会学術集会 2019 年 12 月 11～13 日 (静岡)

## 【遺伝情報学分野】

(原報)

Nogimori, T., Nishiura, K., Kawashima, S., Nagai, T., Oishi, Y., Hosoda, N., Imataka, H., Kitamura, Y., Kitade, Y., Hoshino, S. (2019) Dom34 mediates targeting of exogenous RNA in the antiviral OAS/RNase L pathway. **Nucleic Acids Res** 47, 432-449.

Nogimori, T., Furutachi K., Ogami, K., Hosoda, N., Hoshino, S. (2019) A novel method for stabilizing microRNA mimics. **Biochem Biophys Res Commun** 511, 422-426.

Fukushima, M., Hosoda N., Chifu, K., Hoshino, S. (2019) TDP-43 accelerates deadenylation of target mRNAs by recruiting Caf1 deadenylase. **FEBS Lett** 593, 277-287.

(学会発表)

合田凌也、野木森拓人、細田直、山越博幸、岩渕好治、中村精一、星野真一：RNase Lを標的とした mRNA 医薬安定化剤の開発、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019、2019年11月10日（名古屋）

宮原彰太、細田直、星野真一：翻訳終結因子 eRF3/GSPT1 による翻訳と共役した mRNA 分解開始の分子機構、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019、2019年11月10日（名古屋）

大石結香、尾上耕一、星野真一：RNA 結合タンパク質 Larp1 は TOP mRNA のポリ A 鎖伸長を介し遺伝子発現を制御する、日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019、2019年11月10日（名古屋）ベストプレゼンテーション賞優秀賞受賞

稲垣佑都、細田直、星野真一：脊髄小脳変性症原因因子 Ataxin-2 はポリ A 鎖伸長を介して標的 mRNA の翻訳を性に制御する、第 21 回日本 RNA 学会年会、2019年7月17日—19日（東京）ベストプレゼンテーション賞優秀賞受賞

細田直、星野真一：脱ユビキチン化酵素 USP10 は Ccr4-Not 複合体を標的として mRNA ポリ A 鎖をグローバルに制御する、第 21 回日本 RNA 学会年会、2019年7月17日—19日（東京）

尾上耕一、大石結香、坂元健太郎、野木森拓人、星野真一：LARP1 は TOP mRNA のポリ A 鎖伸長を介してアミノ酸飢餓回復時の翻訳活性化を可能にする、第 21 回日本 RNA 学会年会、2019年7月17日—19日（東京）

野木森拓人、古舘和也、尾上耕一、細田直、星野真一：miRNA 医薬の新規安定化技術の開発、第 21 回日本 RNA 学会年会、2019年7月17日—19日（東京）

Inagaki, H., Hosoda, N., Hoshino, S.: Mechanism of translation activation by the spinocerebellar ataxia type 2 gene product Ataxin-2, 6<sup>th</sup> Nucleic Acids Conference, 2019年2月13日—16日（バハマ）

中山綾乃、細田直、星野真一：人工 mRNA の翻訳を効率化する技術の開発、第 65 回日本薬学会東海支部大会、2019年7月6日（名古屋）

永川由依、野木森拓人、細田直、佐藤綾人、木村康明、阿部洋、星野真一：mRNA 医薬実現を目指す

した mRNA 安定化剤の開発、第 65 回日本薬学会東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（名古屋）

中島朋香、尾上耕一、志水良亮、星野真一：RNA 結合タンパク質 LARP4 はミトコンドリア構成因子の mRNA を標的とする、第 65 回日本薬学会東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（名古屋）優秀発表賞受賞

田中幸嗣、菊川拓磨、細田直、星野真一：細胞運命決定因子 Musashi によるポリ A 鎖伸長と短縮、第 65 回日本薬学会東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（名古屋）

山口奈都美、尾上耕一、細田直、星野真一：インターロイキンエンハンサー結合因子 3(ILF3)は標的 mRNA のポリ A 鎖を制御する、第 83 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム、2019 年 5 月 25 日（名古屋）



## 【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Saeki T, Kimura T, Hashidume K, Murayama T, Yamamura H, Ohya S, Suzuki Y, Nakayama S, Imaizumi Y.  
Conversion of  $Ca^{2+}$  oscillation into propagative electrical signals by  $Ca^{2+}$ -activated ion channels and connexin as a reconstituted  $Ca^{2+}$  clock model for the pacemaker activity.  
Biochem Biophys Res Commun. 510(2):242-247 (2019).

Kawasaki K, Suzuki Y, Yamamura H, Imaizumi Y.  
Rapid  $Na^+$  accumulation by a sustained action potential impairs mitochondria function and induces apoptosis in HEK293 cells expressing non-inactivating  $Na^+$  channels.  
Biochem Biophys Res Commun. 513(1):269-274 (2019).

Kawasaki K, Suzuki Y, Yamamura H, Imaizumi Y.  
Development of a Novel Cell-Based Assay System for High-Throughput Screening of Compounds Acting on Background Two-Pore Domain  $K^+$  Channels.  
SLAS Discov. 24(6):641-652 (2019).

Minakata T, Inagaki A, Yamamura A, Yamamura H, Sekiya S, Murakami S.  
Calcium-sensing receptor is functionally expressed in the cochlear perilymphatic compartment and essential for hearing.  
Front Mol Neurosci. 12:175 (2019).

Saeki T, Suzuki Y, Yamamura H, Takeshima H, Imaizumi Y.  
A junctophilin-caveolin interaction enables efficient coupling between ryanodine receptors and BKCa channels in the  $Ca^{2+}$  microdomain of vascular smooth muscle.  
J Biol Chem. 294(35):13093-13105 (2019).

(総説・著書・総合論文など)

山村寿男、山村彩  
肺動脈性肺高血圧症の新規創薬標的分子  
化学工業, 70(10):721-726 (2019). 【総説】

(学会発表)

山村寿男  
肺高血圧症におけるカルシウムシグナリング  
第31回蔵王カンファレンス、2019年1月25日(山形)

山村寿男  
ミトフュージンを中核とした細胞内酸素およびカルシウム制御機構の解明  
第6回新学術領域「酸素生物学」全体班会議(成果報告会)、2019年1月31日(東京)

Kazuki Maeda, Yoshiaki Suzuki, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura  
Kir2.1 channel regulates cellular functions in murine bone marrow-derived macrophage.  
Nagoya Immunology Network in NCU the first international symposium, March 11, 2019, (Nagoya);P-17

Yuuki Sawai, Yoshiaki Suzuki, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura

Caveolin-1 regulates ATP signaling in macrophages

Nagoya Immunology Network in NCU the first international symposium, March 11, 2019, (Nagoya);P-18

山村寿男

肺動脈性肺高血圧症における  $\text{Ca}^{2+}$ シグナルとイオンチャネル

第 92 回日本薬理学会年会、2019 年 3 月 14 日（大阪）;1-S04-2

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

血管平滑筋細胞において Mitofusin2 はミトコンドリア  $\text{Ca}^{2+}$ 取り込みを促進する

第 92 回日本薬理学会年会、2019 年 3 月 14 日（大阪）;1-YIA-20

鈴木良明、小澤拓海、今泉祐治、山村寿男

カベオラによる血管平滑筋の興奮転写連関の制御

第 92 回日本薬理学会年会、2019 年 3 月 15 日（大阪）;2-O-27

前田和輝、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

マウス骨髄由来マクロファージの細胞機能における Kir2.1 チャネルの寄与

第 92 回日本薬理学会年会、2019 年 3 月 15 日（大阪）;2YIA-11

今泉祐治

創薬標的としてのカルシウムシグナルとカリウムチャネルの多様性

第 92 回日本薬理学会年会、2019 年 3 月 16 日（大阪）;3-SL09

鈴木良明、大矢進、Wayne R. Giles、今泉祐治、山村寿男

イオンチャネルによる軟骨細胞の生理機能および病態形成への関与

日本薬学会第 139 年会、2019 年 3 月 22 日（幕張）;S33-5

澤井優輝、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

カベオリン 1 は P2X7 受容体の機能調節を介してマクロファージの ATP シグナルを制御する

第 135 回日本薬理学会近畿部会、2019 年 6 月 21 日（岐阜）;A-12

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

大動脈平滑筋 Mitofusin2 は小胞体-ミトコンドリア間  $\text{Ca}^{2+}$ マイクロドメインを制御する

日本薬学会 第 65 回東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（愛知）;J-3S

三島寛貴、鈴木良明、山村寿男

電位依存性カリウムチャネル Kv4.3 に対するメラトニンの作用の解明

日本薬学会 第 65 回東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（愛知）;J-4S

黒瀬梨沙、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

軟骨細胞内  $\text{Ca}^{2+}$ シグナルの変形性関節症病態に対する寄与

日本薬学会 第 65 回東海支部大会、2019 年 7 月 6 日（愛知）;H-3S

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

大動脈平滑筋細胞の筋小胞体-ミトコンドリア  $\text{Ca}^{2+}$ シグナルにおける Mitofusin2 の機能

第 61 回平滑筋学会総会、2019 年 8 月 2 日（愛知）;P-23

川出有希子、山村彩、鈴木良明、山村寿男

肺高血圧症モデルラットにおける週齢差の解析

第 61 回平滑筋学会総会、2019 年 8 月 2 日（愛知）;P-28

野田さゆり、鈴木良明、山村寿男、今泉祐治

BKCa チャネル修飾サブユニット $\gamma 1$  の気管支喘息形成への関与

第 61 回平滑筋学会総会、2019 年 8 月 2 日（愛知）;YIA-7

藤原萌園、山村彩、鈴木良明、山村寿男

肺動脈性肺高血圧症の肺血管リモデリングに対するフィンゴリモドの抑制効果

第 61 回平滑筋学会総会、2019 年 8 月 2 日（愛知）;P-18

鈴木良明、佐伯尚紀、山村寿男、今泉祐治

蛍光イメージング技術を応用した画像解析法による平滑筋  $Ca^{2+}$  マイクロドメイン研究

第 61 回平滑筋学会総会、2019 年 8 月 3 日（愛知）;WS-3

鈴木貴久、安本美貴、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

TMEM16A は、脳微小血管内皮細胞における細胞増殖及び細胞遊走に関与する

生体機能と創薬シンポジウム 2019、2019 年 8 月 29 日（東京）;P-A5

川出有希子、山村彩、鈴木良明、山村寿男

肺高血圧症モデルラットの週齢差と病態形成の関連について

生体機能と創薬シンポジウム 2019、2019 年 8 月 29 日（東京）;P-02

澤井優輝、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

カベオリン 1 は P2X7 受容体の機能を調節し、マクロファージの ATP シグナルを制御する

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2019、2019 年 8 月 31 日（東京）;B-2-2

山村英斗、鈴木良明、浅井清文、今泉祐治、山村寿男

酸化ストレス下脳微小血管内皮細胞の細胞死に対するストア作動性  $Ca^{2+}$  流入の寄与

次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム 2019、2019 年 8 月 31 日（東京）;P-6

楯野真也、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

マウス軟骨細胞における IL-1 $\beta$  誘発性 TEA 感受性  $K^+$  電流の減少

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日（愛知）;H-6

澤井優輝、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

カベオリン 1 と P2X7 受容体によるマクロファージ ATP シグナルの制御

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日（愛知）;III-G-2

野田さゆり、近澤佳南、鈴木良明、山村寿男、今泉祐治

膝神経内分泌腫瘍由来 QGP-1 細胞における BKCa チャネルの機能解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日（愛知）;III-H-5

鈴木貴久、安本美貴、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男

TMEM16A の脳微小血管内皮細胞における細胞増殖及び細胞遊走への関与

第 29 回日本循環薬理学会、2019 年 11 月 29 日（香川）;YIA-5

Hisao Yamamura

Pathophysiological significance of TRPC6 channels in pulmonary arterial hypertension  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi)

Hideto Yamamura, Yoshiaki Suzuki, Kiyofumi Asai, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura  
The suppression of Orail-mediated  $Ca^{2+}$  entry causes oxidative stress-induced cell death in brain capillary  
endothelial cells  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi)

Sayuri Noda, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura, Wayne R. Giles, Yuji Imaizumi  
LRRC26 regulates BK channel function in bronchial smooth muscle cells  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi);P-17

Shinya Tateno, Yoshiaki Suzuki, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura  
IL-1b decreases TEA-sensitive potassium channels in mouse articular chondrocytes  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi);P-33

Takahisa Suzuki, Miki Yasumoto, Yoshiaki Suzuki, Kiyohumi Asai, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura  
Contribution of TMEM16A  $Ca^{2+}$ -activated  $Cl^-$  channel to cell proliferation and migration in brain capillary  
endothelial cells  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi);P-12

Yuki Sawai, Yoshiaki Suzuki, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura  
Inhibitory regulation of P2X7-mediated ATP signaling by caveolin-1 in pro-inflammatory macrophages  
The 50th NIPS International Symposium MIRACLES In Cardiovascular Physiology, December 5-7, 2019,  
(Aichi);P-21

山村寿男  
イオンチャネル研究におけるトランスレーショナルリサーチ  
2019年度薬友会特別講演会、2019年4月20日（名古屋）

山村寿男  
肺高血圧症におけるカルシウムシグナルとイオンチャネル  
東海薬剤師生涯学習センター講座、2019年5月22日（名古屋）

山村寿男  
肺高血圧症の病態と治療ガイドライン  
名古屋市立大学薬学部卒後教育講座、2019年9月1日（名古屋）

## 【病態生化学分野】

(原報)

Yuko Yamakage, Hitomi Tsuji, Takao Kohno, Himari Ogino, Takashi Saito, Takaomi C. Saido, Mitsuharu Hattori

Reducing ADAMTS-3 Inhibits Amyloid  $\beta$  Deposition in App Knock-in Mouse.

*Biol. Pharm. Bull.* **42**, 354-356 (2019).

Keisuke Ishii, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori

Differential binding of anti-Reelin monoclonal antibodies reveals the characteristics of Reelin protein under various conditions.

*Biochem. Biophys. Res. Commun.* **514**, 815-820 (2019).

Yuko Yamakage, Michinao Kato, Aya Hongo, Himari Ogino, Keisuke Ishii, Takumi Ishizuka, Takana Kamei, Hitomi Tsuji, Tomomi Miyamoto, Hisashi Oishi, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori

A disintegrin and metalloproteinase with thrombospondin motifs 2 cleaves and inactivates Reelin in the postnatal cerebral cortex and hippocampus, but not in the cerebellum.

*Mol. Cell. Neurosci.* **100**, 103401 (2019).

Yumiko Hatanaka, Takahiko Kawasaki, Takaya Abe, Go Shioi, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori, Akira Sakakibara, Yasuo Kawaguchi, Tasumi Hirata

Interactions between neuron and radial glia mediated by Semaphorin 6A-Plexin A2/A4 signaling regulates migration termination of superficial layer neurons of the cerebral cortex.

*iScience* **21**, 359 (2019).

(総説・著書・総合論文など)

服部光治

中枢神経系のリポクオリティ制御と疾患.

医学のあゆみ **269**, 1144 (2019) .

(学会発表)

築地仁美、横川美丹衣、服部光治

筋委縮性側索硬化症 ALS の原因となる C9orf72 遺伝子変異がもたらす細胞毒性の解析

日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 20 - 23 日 (幕張) .

興梶勝成、水上智晴、周春雨、嶋中雄太、河野望、池田和貴、新井洋由、有田誠、服部光治

リーリン欠損マウス脳の脂質組成変化と、その意義に関する解析

日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 20 - 23 日 (幕張) .

大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、服部光治

脳におけるリン脂質フリッパーゼの機能の解明

日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 20 - 23 日 (幕張) .

森由紀子、中尾洋介、河野孝夫、服部光治

分泌タンパク質リーリンの切断を担う酵素 ADAMTS-3 の構造解析に向けた精製及び安定化の検討

日本薬学会第 139 年会, 2019 年 3 月 20 - 23 日 (幕張) .

Hideo Hagihara, Hirotaka Shoji, Takao Kohno, Atsuko Hayata, Kota Tamada, Kei Hori, Tetsuya Tatsukawa, Mihiro Shibutani, Shuji Wakatsuki, Yoko Hagino, Takaoki Kasahara, Tadahiro Numakawa, Hikari Ohtabi, Ikuo Nobuhisa, Yoshio Hoshiba, Haruko Nakamura, Shota Katori, Kyosuke Yamanishi, Yoshihiro Takamiya, Mika Tanaka, Ipek Yalcin, Masayuki Matsushita, Mitsuharu Hattori, Hitoshi Hashimoto, Toru Takumi, Mikio Hoshino, Katsuhiko Tabuchi, Kazuhiro Yamakawa, Izuho Hatada, Kazutaka Ikeda, Tadafumi Kato, Hiroshi Kunugi, Atsushi Toyoda, Tetsuya Taga, Akiko Hayashi-Takagi, Yoshio Goshima, Takuji Iwasato, Shigeo Okabe, Herbert Y Meltzer, Tsuyoshi Miyakawa

Systematic analysis of brain pH and lactate levels in animal models: relationships and implications for behavioral outcomes.

21st Annual Meeting of the International Behavioural and Neural Genetics Society

2019 年 5 月 10 - 14 日 (Edinburgh, UK) .

石井圭介、河野孝夫、服部光治

分泌タンパク質リーリンによる海馬形成制御機構の解明

第 83 回日本生化学会中部支部例会, 2019 年 5 月 25 日 (名古屋) .

重信奉文、奥川英介、河野孝夫、大石久史、服部光治

分解抵抗型リーリン発現マウスにおける海馬層構造異常の原因解明

第 65 回日本薬学会東海支部総会, 2019 年 7 月 6 日 (名古屋) .

荻野ひまり、中島鼓美、鳥内皐暉、青山峰芳、服部光治

分泌タンパク質リーリンは脳でオリゴデンドロサイト前駆細胞の数と配置に影響を与える

第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学大会 (Neuro2019) , 2019 年 7 月 25 - 28 日 (新潟) .

常浦祐未、北川佳奈子、高瀬冴子、澤幡雅仁、伊藤教道、河野孝夫、服部光治、永井拓、山田清文

RNA 干渉法を利用した脳内リーリンシグナルを増強させる手法の開発

第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学大会 (Neuro2019) , 2019 年 7 月 25 - 28 日 (新潟) .

澤幡雅仁、浅野裕樹、常浦祐未、永井拓、河野孝夫、鍋島俊隆、服部光治、山田清文

Reelin の前頭前皮質内投与が MK801 誘発性行動障害および c-Fos 発現に与える影響

第 42 回日本神経科学大会・第 62 回日本神経化学大会 (Neuro2019) , 2019 年 7 月 25 - 28 日 (新潟) .

石井圭介、河野孝夫、服部光治

海馬形成における分泌タンパク質リーリンの機能解明

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019, 2019 年 9 月 7 - 8 日 (静岡) .

興梶勝成、水上智晴、河野孝夫、服部光治

海馬形成における分泌タンパク質リーリンの機能解明神経細胞における特定の脂肪酸の生理的意義

第 18 回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム 2019, 2019 年 9 月 7 - 8 日 (静岡) .

河野孝夫、服部光治

大脳皮質形成におけるリーリンの機能制御機構

第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

石井圭介、河野孝夫、服部光治

リーリンは発生後期における海馬形成を制御する

第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、服部光治  
脳におけるリン脂質フリッパーゼの機能の解明  
第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

興梠勝成、水上智晴、河野孝夫、服部光治  
神経細胞における特定の脂肪酸の生理的意義  
第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

上原理加、梅本銀河、中川真一、吉田稔、服部光治、築地仁美  
長鎖ノンコーディング RNA である Gomafu の核内繫留機構における SF3b2 の寄与の解明  
第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

森由紀子、中尾洋介、河野孝夫、服部光治  
分泌タンパク質リーリンの切断を担う酵素 ADAMTS-3 の構造解析に向けた精製及び安定化の検討  
第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

中島鼓美、荻野ひまり、鳥内皐暉、青山峰芳、服部光治  
リーリンはオリゴデンドロサイト前駆細胞の数及び配置を制御する  
第 92 回日本生化学会大会, 2019 年 9 月 18 - 20 日 (横浜) .

Keisuke Ishii, Takao Kohno, Mitsuharu Hattori  
Reelin regulates the positioning of late-born neurons during hippocampal development  
Society for Neuroscience (SFN) 2019, 2019 年 10 月 19 - 23 日 (Chicago, USA) .

澤幡雅仁、浅野裕樹、常浦祐未、永井拓、河野孝夫、鍋島俊隆、服部光治、山田清文  
成熟マウスにおける Reelin の前頭前皮質内微量投与が MK801 誘発性行動障害及び cFos 発現に与える影響  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会, 2019 年 11 月 10 日 (名古屋) .

興梠勝成、水上智晴、河野孝夫、関仁望、仁子陽輔、服部光治  
神経細胞における特定の脂肪酸の意義  
第 42 回日本分子生物学会年会, 2019 年 12 月 3 - 6 日 (福岡) .

大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、服部光治  
神経細胞におけるリン脂質フリッパーゼの局在と機能の解明  
第 42 回日本分子生物学会年会, 2019 年 12 月 3 - 6 日 (福岡) .

## 【薬物動態制御学分野】

(原報)

Kanichiro Ishiuchi, Osamu Morinaga, Takeshi Ohkita, Chuanting Tian, Asuka Hirasawa, Miaki Mitamura, Yasuhito Maki, Tsubasa Kondo, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa, Kiyoshi Minamizawa, Takao Namiki, Toshiaki Makino

18 $\beta$ -glycyrrhetyl-3-*O*-sulfate would be a causative agent to cause licorice-induced pseudoaldosteronism. *Sci. Rep.*, **9**, 1587 (2019).

Takahiro Yamashiro, Tomoya Yasujima, Kinya Ohta, Katsuhisa Inoue, Hiroaki Yuasa

Identification of the amino acid residue responsible for the myricetin sensitivity of human proton-coupled folate transporter.

*Sci. Rep.*, **9**, 18105 (2019).

(総説・著書・総合論文など)

井上勝央, 湯浅博昭

核酸塩基トランスポーターSLC43A3/ENBT1の輸送特性とガンシクロビルを用いた自殺遺伝子療法における役割.

医学のあゆみ, **271**, 122-127 (2019).

(学会発表)

竹中理沙, 山城貴弘, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ENBT1の輸送機能に影響する変異体の検索.

日本薬学会第139年会, 2019年3月21日 - 23日 (千葉) .

三宅浩平, 高橋駿介, 石川千尋, 大久保雅彦, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

pyridoxineの小腸上皮取込の解析: ヒトとラットとの種差.

日本薬学会第139年会, 2019年3月21日 - 23日 (千葉) .

篠田裕太郎, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

分化型THP-1細胞におけるポリアミン輸送系: putrescine輸送と spermidine輸送との比較解析.

日本薬学会第139年会, 2019年3月21日 - 23日 (千葉) .

矢嶋陽菜, 篠田裕太郎, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

CNT2に対するフラボノイド類の阻害作用の解析.

日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日 - 18日 (富山) .

唐木祐理恵, 篠田裕太郎, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

ラット好塩基球様RBL-2H3細胞におけるアラキドン酸の担体輸送系.

日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日 - 18日 (富山) .

奈良佳幸, 保嶋智也, 山城貴弘, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

BCRPの尿酸排出活性評価におけるSNBT1/BCRP共発現細胞の利用.

日本薬剤学会第34年会, 2019年5月16日 - 18日 (富山) .



保嶋智也, 井上勝央, 太田欣哉, 山城貴弘, 湯浅博昭【招待講演】  
核酸代謝酵素と equilibrative nucleobase transporter 1 (ENBT1/SLC43A3) の機能的協働機構.  
第 14 回トランスポーター研究会年会, 2019 年 7 月 20 日 - 21 日 (札幌) .

篠田裕太郎, 唐木祐理恵, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭  
ラット好塩基球様 RBL-2H3 細胞におけるアラキドン酸の促進拡散型担体輸送.  
第 14 回トランスポーター研究会年会, 2019 年 7 月 20 日 - 21 日 (札幌) .

細岡 晶, 村田彩乃, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
OCT2 の atenolol 輸送機能の動物種差.  
第 14 回トランスポーター研究会年会, 2019 年 7 月 20 日 - 21 日 (札幌) .

湯浅博昭, 保嶋智也, 井上勝央【招待講演】  
ENBT1 及び SNBT1 の分子的・機能的特徴とヌクレオベース類の動態に関わる生理的意義  
第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18 日 - 19 日 (船橋) .

間竹 勇, 片山めぐみ, 吉田行宏, 保嶋智也, 山城貴弘, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
HepG2 細胞での尿酸輸送における ENBT1 の関与.  
第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18 日 - 19 日 (船橋) .

山城貴弘, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
PCFT の葉酸輸送機能における myricetin 感受性に関与するアミノ酸残基の同定.  
第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18 日 - 19 日 (船橋) .

細岡 晶, 村田彩乃, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
OCT2 の atenolol 輸送機能の動物種差 : MPP<sup>+</sup>輸送機能との比較.  
第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18 日 - 19 日 (船橋) .

奈良佳幸, 保嶋智也, 山城貴弘, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭  
SNBT1/BCRP 共発現細胞の利用による BCRP の尿酸排出活性の評価.  
第 41 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2019 年 10 月 18 日 - 19 日 (船橋) .

山下紗瑛奈, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
SLC19A3 に対するフラボノイド類の阻害作用.  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 10 日 (名古屋) .

山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
ピリドキシントランスポーターとしての SLC19A2/3 の同定.  
第 34 回日本薬物動態学会年会, 2019 年 12 月 9 日 - 12 日 (つくば) .

難波莉子, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭  
HepG2 細胞における担体介在性 nicotinamide 取込の解析.  
第 34 回日本薬物動態学会年会, 2019 年 12 月 9 日 - 12 日 (つくば) .

三宅浩平, 高橋駿介, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
SLC19A3 のピリドキシン輸送機能の種差.  
第 34 回日本薬物動態学会年会, 2019 年 12 月 9 日 - 12 日 (つくば) .

間竹 勇, 片山めぐみ, 保嶋智也, 太田欣哉, 井上勝央, 湯浅博昭

ENBT1 の尿酸輸送機能：肝臓における尿酸動態との関わり。  
第 34 回日本薬物動態学会年会, 2019 年 12 月 9 日 - 12 日（つくば）。

## 【病態解析学分野】

(学会発表)

安富栄人、泉和弥、野間成人、竹入雅敏、井上靖道、肥田重明、青山峰芳、朝霧成挙  
多核マクロファージの性状ならびにその分化機構の探索  
第 65 回 日本薬学会東海支部大会、2019 年 7 月 6 日(名古屋)

泉和弥、安富栄人、竹入雅敏、野間成人、岩城壮一郎、肥田重明、青山峰芳、朝霧成挙  
数理生物学的アプローチにより明らかとなった TNF/IL-6 共刺激と RANKL 単独刺激の共通性  
第 65 回 日本薬学会東海支部大会、2019 年 7 月 6 日(名古屋)

鳥内皐暉、垣田博樹、岩城壮一郎、田村哲也、山田恭聖、青山峰芳  
低温培養はアストロサイトのエリスロポエチン産生を亢進させ神経保護効果をもたらす  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日 (名古屋) 【ベストプレゼンテーション賞】

大塚勇斗、後藤洋、関谷健夫、宮澤健、後藤滋己、岩城壮一郎、青山峰芳  
低酸素条件において CXCR4<sup>+</sup>CD45<sup>-</sup>細胞は破骨細胞の形成を促進する  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019、2019 年 11 月 10 日 (名古屋)

鳥内皐暉、垣田博樹、岩城壮一郎、田村哲也、山田恭聖、青山峰芳  
Neuroprotective hypothermia enhances astrocytic erythropoietin production  
低温培養によるアストロサイトのエリスロポエチン分泌亢進を介した神経保護効果  
第 13 回 次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム、2019 年 10 月 19-20 日 (岐阜)  
【YCPS 2019 Best Presentation Award】

鳥内皐暉、垣田博樹、岩城壮一郎、田村哲也、山田恭聖、青山峰芳  
低温培養はアストロサイト由来エリスロポエチンを増加させ神経細胞死を抑制する  
第 136 回 日本薬理学会近畿部会、2019 年 11 月 23 日 (大阪)

## 【細胞情報学分野】

(原報)

Kaori Tsuzuki, Yuka Itoh, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi

TRB1 negatively regulates gluconeogenesis by suppressing the transcriptional activity of FOXO1.  
FEBS Lett., 593(3), 369-380 (2019). Doi: 10.1002/1873-3468.13314.

Mai Nagasaka, Kaori Tsuzuki, Yu Ozeki, Muneshige Tokugawa, Nobumichi Ohoka, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi

Lysine-specific demethylase 1 (LSD1/KDM1A) is a novel target gene of c-Myc.  
Biol. Pharm. Bull., 42 (3), 481-488 (2019). Doi: 10.1248/bpb.b18-00892.

Keishi Fukuura, Yasumichi Inoue, Chiharu Miyajima, Shin Watanabe, Muneshige Tokugawa, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Masayuki Komada, Hidetoshi Hayashi

The ubiquitin-specific protease USP17 prevents cellular senescence by stabilizing the methyltransferase SET8 and transcriptionally repressing p21.  
J. Biol. Chem., 294(44), 16429-16439 (2019). Doi: 10.1074/jbcRA119.009006.

Sachiko Nishikawa, Yuka Itoh, Muneshige Tokugawa, Yasumichi Inoue, Nakashima, Yuka Hori, Chiharu Miyajima, Kou Yoshida, Daisuke Morishita, Nobumichi Ohoka, Makoto Inoue, Hajime Mizukami, Toshiyuki Makino, Hidetoshi Hayashi

Kurarinone from *Sophora flavescens* roots triggers ATF4 activation and cytostatic effects through PERK phosphorylation.  
Molecules, 24(17), 3110 (2019). Doi: 10.3390/molecules24173110.

Naoya Ieda, Kaoru Itoh, Yasumichi Inoue, Yusuke Izumiya Mitsuyasu Kawaguchi, Naoki Miyata, Hidehiko Nakagawa

An irreversible inhibitor of peptidyl-prolyl cis/trans isomerase Pin1 and evaluation of cytotoxicity.  
Bioorg. Med. Chem. Lett., 29(3), 353-356 (2019). Doi: 10.1016/j.bmcl.2018.12.044.

Satoshi Sakai, Tatsuya Ohhata, Kyoko Kitagawa, Chiharu Uchida, Takuya Aoshima, Hiroyuki Niida, Tetsuro Suzuki, Yasumichi Inoue, Keiji Miyazawa, Masatoshi Kitagawa

Long noncoding RNA ELIT-1 acts as a Smad3 cofactor to facilitate TGF $\beta$ /Smad signaling and promote epithelial-mesenchymal transition.  
Cancer Res., 79(11), 2821-2838 (2019). Doi: 10.1158/0008-5472.CAN-18-3210.

(学会発表)

### Hidetoshi Hayashi 【招待講演】

Diversity of TGF- $\beta$  signaling

Nagoya Immunology Network, the 1st international symposium in NCU. 2019年3月11日 (名古屋) .

長田茂宏, 大村隆之, 澤田妙子, 中村真也, 林 秀敏, 今川正良, 白根道子

クラス IIa ヒストン脱アセチル化酵素とハンチントン病関連因子 HAP1 の相互作用

日本薬学会第139年会. 2019年3月23日 (幕張) ; 23N-pm94.

川原田祐貴, 井上靖道, 伊藤友香, 林 秀敏

Smad/p53 クロストークによる PAI-1 遺伝子発現制御

第20回 Pharmaco-Hematology シンポジウム, 2019年6月8日(東京); O6.

宮嶋ちはる, 岩城孝行, Victoria A Ploplis, 梅村和夫, Francis J Castellino

高LDL血症におけるマクロファージ泡沫化に対する Plasmin 活性の役割

第20回 Pharmaco-Hematology シンポジウム, 2019年6月8日(東京); O7.

渡辺 信, 柏原翔陽, 井上靖道, 林 秀敏

脱ユビキチン化酵素 USP7 による上皮間葉転換関連転写因子 Twist のタンパク制御機構解析

第65回日本薬学会東海支部大会, 2019年7月6日(名古屋); J-5S.

徳川宗成【学生優秀発表賞】, 伊藤友香, 石内勘一郎, 牧野利明, 松野倫代, 水上 元, 井上靖道, 林 秀敏

天然生理活性成分による小胞体ストレス応答の制御機序の解明

第65回日本薬学会東海支部大会, 2019年7月6日(名古屋); J-6S.

金尾佳美, 宮嶋ちはる, 川原田祐貴, 鈴木千晶, 三田村佳奈, 井上靖道, 林 秀敏

転写共役因子 TAZ は p53 活性を抑制し細胞老化を制御する

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019年11月10日(名古屋); G-11.

渡辺 信, 柏原翔陽, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林 秀敏

USP7 は Twist の脱ユビキチン化酵素としてがんの浸潤に寄与する

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019年11月10日(名古屋); G-12.

Muneshige Tokugawa

Biological analysis of mechanisms for endoplasmic reticulum stress response by phytochemicals

NCU Contact Points in Asia Symposium 2019: Think about SDGs on Public Health and Bio-Diversity at Urban Environment in Asia, 2019年12月5-6日(Nagoya); P-8.

## 【神経薬理学分野】

(原報)

Hirayama J, Alifu Y, Hamabe R, Yamaguchi S, Tomita J, Maruyama Y, Asaoka Y, Nakahama K-I, Tamaru T.

The clock components Period2, Cryptochrome1a, and Cryptochrome2a function in establishing light-dependent behavioral rhythms and/or total activity levels in zebrafish.

*Sci Rep*, 9, 196, 2019

Miyamoto K., Ishikura K-I, Kume K, Ohsawa M.

Astrocyte-neuron lactate shuttle sensitizes nociceptive transmission in the spinal cord.

*Glia*, 67, 27-36, 2019

Kobayashi R, Maruoka J, Norimoto H, Ikegaya Y, Kume K, Ohsawa M.

Involvement of l-lactate in hippocampal dysfunction of type I diabetes.

*J Pharmacol Sci*, 9, 141, 2019

Narushima M, Yagasaki Y, Takeuchi Y, Aiba A, Miyata M.

The metabotropic glutamate receptor subtype 1 regulates development and maintenance of lemniscal synaptic connectivity in the somatosensory thalamus.

*PLoS One*, 14, e0226820, 2019

Inami C, Tanihira H, Kikuta S, Ogasawara O, Sobue K, Kume K, Osanai M, Ohsawa M.

Visualization of brain activity in neuropathic pain model using quantitative activity-dependent manganese magnetic resonance imaging (qAIM-MRI).

*Front Neural Circuits*, 13, 74, 2019

Sato Y, Ohsawa M.

Patients' awareness of palliative care in a community pharmacy.

*日本緩和医療薬学会雑誌*, 12, 23-28, 2019

Zhang F, Ishiuthi K-I, Sugiyama A, Ohsawa M, Makino T.

Peroxisome proliferator-activated receptor-g agonistic effects from *Chrysanthemum morifolium capitulum* and its active ingredients.

*J Nat Med*, 73, 497-503, 2019

Haruta M, Kurauchi Y, Ohsawa M, Inami C, Tanaka R, Kimura A, Sugie K, Ohta Y, Noda T, Sasagawa K, Tokuda T, Katsuki H, Ohta J.

Chronic brain blood-flow imaging device for a behavior experiment using mice.

*Biomed Opt Express*, 10, 1557-1566, 2019

Tanimura Y, Yoshida M, Ohsawa M, Makino T.

Neolin is the active ingredient of processed aconite root against peripheral neuropathic pain.

*J Ethnopharmacol*, 241, 111859, 2019

Nomura N, Matsuno K, Muranaka T, Tomita J.

How Does Time Flow in Living Systems? Retrocausal Scaffolding and E-series Time.

*Biosemiotics*, 12, 267-287, 2019

(総説・著書・総合論文など)

桑和彦, 高橋英彦

不眠症

過眠症・ナルコレプシー

臨床薬学テキストシリーズ 神経・筋・精神・麻酔・鎮痛, 241-257(2019)

桑和彦

不眠症治療の基礎となる睡眠の生理学

治療, Vol.101, No.9, 1033-1037(2019)

中川寛之, 桑和彦

ゾルピデム vs. エスゾピクロン

月刊薬事, Vol.61 No.12, 49-53(2019)

小林里帆, 桑和彦

夏休み睡眠を見直す 睡眠と健康な生活リズム

健康教室 8, 第 825 集, 20-23(2019)

小林里帆, 桑和彦

睡眠医学の原典：石森國臣論文現代語訳

時間生物学, 25, 36-40(2019)

加藤善章, 富田淳, 桑和彦

ショウジョウバエの睡眠制御機構

生体の科学, 71 巻 1 号(2019)

大澤匡弘

がん終末期医療と緩和ケア

コンパス薬物治療学, 533-542(2019)

(学会発表)

Kazuhiko Kume

APDNC 2019, 2019 年 01 月 19 日 (Taipei, Taiwan)

Yoshiaki Kato, Gosuke Ban, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

Identification of sleep-regulations central complex neurons in *Drosophila*

APDNC 2019, 2019 年 01 月 19 日 (Taipei, Taiwan)

TianXiang Gao, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

Analysis of *drosophila* tau in memory and sleep regulation

APDNC 2019, 2019 年 01 月 19 日 (Taipei, Taiwan)

安永弘樹、大澤匡弘、関口寛人

マイクロ LED と神経電極のハイブリッド集積プローブの作製

第 66 回応用物理学会春季学術講演会, 2019 年 03 月 09 日 (東京)

大澤匡弘、宮本啓補、石倉啓一郎、上田莉奈、桑和彦

脊髄後角アストロサイトの痛覚伝達における役割の解明  
第 28 回行動薬理若手研究者の集い, 2019 年 03 月 13 日 (兵庫)

稲波千尋、谷平大樹、菊田里美、糸和彦、小山内実、大澤匡弘  
脳活動の可視化と慢性疼痛の機序解明への応用  
第 28 回行動薬理若手研究者の集い, 2019 年 03 月 13 日 (兵庫)

Takeuchi Y., Harangozó M., Pedraza L., Földi T., Kozák G., Berényi A.  
Real-time control of epileptic seizures via on-demand deep brain stimulation  
第 28 回精神行動薬理若手研究者の集い, 2019 年 03 月 13 日 (兵庫)

大澤匡弘、宮本啓補、石倉啓一郎、上田莉奈、歌大介、糸和彦  
神経障害性疼痛の発症におけるアストロサイト-乳酸シャトルの関与-  
第 92 回日本薬理学会年会, 2019 年 03 月 14 日 (大阪)

山口翔、富田淳、糸和彦  
Drosophila insulin-like peptide (dilp) 3 regulates circadian rhythm in *Drosophila melanogaster*  
第 3 回名古屋リズム研究会, 2019 年 03 月 22 日 (名古屋)

高天翔、富田淳、糸和彦.  
Drosophila tau in sleep regulation specially within sleep deprivation  
第 3 回名古屋リズム研究会, 2019 年 03 月 22 日 (名古屋)

Riho Kobayashi, Shin Nakane, Hiroyuki Nakagawa, Sho Yamaguchi, Junta Hara, Jun Tomita, Hiromasa Funato, Masashi Yanagisawa, Kazuhiko Kume  
Drosophila sik3, a homologue of mouse Sleepy1 gene in clock neurons  
第 3 回名古屋リズム研究会, 2019 年 03 月 22 日 (名古屋)

Masahiro OHSAWA, Keisuke MIYAMOTO, Kei-ichiro ISHIKURA, Kazuhiko KUME  
Excessive spinal L-lactate transport from reactive astrocytes to neurons induces mechanical hyperalgesia through the PKA pathway  
FAOPS, 2019 年 03 月 28 日 (神戸)

Takeuchi Y., Harangozó M., Pedraza L., Földi T., Kozák G., and Berényi A.  
Automated, closed-loop stimulation of the medial septum alleviates temporal lobe epilepsy in rats  
The 9th FAOPS Congress, Mar 28-31, 2019 (神戸)

Kazuhiko Kume  
5th WCC, 2019 年 04 月 26 日 (Suzhou, China)

Hiroyuki Nakagawa, Kazuhiko Kume  
Sleep regulation by D-Amino acids in *Drosophila melanogaster*  
5th WCC, 2019 年 04 月 26 日 (Suzhou, China)

TianXiang Gao, Jun Tomita, Kazuhiko Kume  
5th WCC, 2019 年 04 月 26 日 (Suzhou, China)

Miyamoto K., Uta D., Kume K., Ohsawa M.  
L-Lactate-induced activation of PKA pathway sensitizes nociceptive transmission in mice  
7th International Congress on Neuropathic pain, 2019 年 05 月 09 日 (London, UK)



山口翔、富田淳、桑和彦

*Drosophila* insulin like peptide (dilp) 3 による概日リズム制御  
第 44 回日本睡眠学会定期学術集会, 2019 年 06 月 28 日 (名古屋)

春田牧人、倉内祐樹、大澤匡弘、徳田崇、太田淳

慢性脳観察用イメージングデバイスの開発  
バイオ・マイクロシステム研究会, 2019 年 07 月 01 日 (神奈川)

宮本啓補、鷺見和行、宇野康介、桑和彦、新田敦美、大澤匡弘

Shati/Nat81 regulates mechanical sensitivity through the spinal mGluR3 activation in neuropathic pain  
第 42 回日本神経科学大会, 2019 年 07 月 25 日 (新潟)

山口翔、富田淳、桑和彦

*Drosophila* insulin-like peptide (dilp) 3 regulates circadian rhythm in *Drosophila melanogaster*  
第 42 回日本神経科学大会, 2019 年 07 月 25 日 (新潟)

Yoshiaki Kato, Gosuke Ban, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

Regulation of sleep by neuronal circuit of central circuit in *Drosophila melanogaster*  
第 42 回日本神経科学大会, 2019 年 07 月 25 日 (新潟)

Toshiharu Ichinose, Mai Kanno, Shu Kondo, Shun Hiramatsu, Ayako Abe, Sena Hatori, Riho Kobayashi, Kazuhiko Kume, Hiromu Tanimoto

Chronic malnutrition enhances preference for rewarding substances  
第 42 回日本神経科学大会, 2019 年 07 月 27 日 (新潟)

富田淳、坂豪祐、加藤善章、桑和彦

ショウジョウバエの睡眠を促進する中心複合体ニューロンの調節機構  
第 12 回分子高次機能研究会, 2019 年 09 月 06 日 (岩手)

山口翔、富田淳、桑和彦

*Drosophila* insulin like peptide (dilp) 3 による概日リズム制御  
第 12 回分子高次機能研究会, 2019 年 09 月 06 日 (岩手)

Yoshiaki Kato, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

A novel sleep regulatory circuit in *Drosophila* central complex  
第 12 回分子高次機能研究会, 2019 年 09 月 06 日 (岩手)

羽鳥聖七、小林里帆、中川寛之、富田淳、船戸弘正、柳沢正史、桑和彦

HDAC4 による睡眠制御  
第 12 回分子高次機能研究会, 2019 年 09 月 06 日 (岩手)

Yoshiaki Kato, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

A novel sleep regulatory circuit in *Drosophila* central complex  
Cold Spring Harbor Laboratory Neurobiology of *Drosophila* 2019, 2019 年 10 月 03 日 (New York, USA)

Sho Yamaguchi, Jun Tomita, Kazuhiko Kume

*Drosophila* insulin-like peptide (Dilp) 3 regulates circadian rhythm in *Drosophila melanogaster*  
Cold Spring Harbor Laboratory Neurobiology of *Drosophila* 2019, 2019 年 10 月 04 日 (New York, USA)

Miyamoto K., Uta D., Kume K., Ohsawa M.  
L-Lactate sensitizes spinal nociceptive transmission through the PKA activation  
内藤カンファレンス, 2019年10月08日 (北海道)

富田淳、坂豪祐、加藤善章、桑和彦  
Regulation of central complex neurons promoting sleep in *Drosophila melanogaster*  
第26回日本時間生物学会, 2019年10月12日 (石川)

Yoshiaki Kato, Jun Tomita, Kazuhiko Kume  
Sleep regulatory pathway in central complex of *Drosophila*  
第26回日本時間生物学会, 2019年10月13日 (石川)

羽鳥聖七、小林里帆、中川寛之、富田淳、船戸弘正、柳沢正史、桑和彦  
Sik3 regulates sleep in *Drosophila*  
第26回日本時間生物学会, 2019年10月13日 (石川)

Sena Hatori, Riho Kobayashi, Hiroyuki Nakagawa, Jun Tomita, Hiromasa Funato, Masashi Yanagisawa,  
Kazuhiko Kume  
Functional analysis of SIK3 in *Drosophila*  
IIS meeting, 2019年11月26日 (東京)

Takeuchi Y., Harangozó M., Pedraza L., Földi T., Kozák G., Berényi A.  
A closed-loop proxy-intervention of epileptic seizures  
次世代脳シンポジウム, 2019年12月19日 (東京)

## 【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Yamazoe Y, Goto T, Tohkin M

Reconstitution of CYP3A4 active site through assembly of ligand interactions as a grid-template: Solving the modes of the metabolism and inhibition

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **34**(2), 113-125(2019).

Ambe K, Sakakibara Y, Sakabe A, Makino H, Ochibe T, Tohkin M

Comparison of the developmental/reproductive toxicity and hepatotoxicity of phthalate esters in rats using an open toxicity data source

*J. Toxicol. Sci.*, **44**(4), 245-255(2019).

榊原由子, 落部達也, 甘利涼香, 頭金正博

ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期せん妄の発症要因に関する研究

*医療薬学*, **45**(4), 195-207(2019).

Ikeda M, Ochibe T, Tohkin M

Possible causes of failing to meet primary endpoints: a systematic review of randomized controlled phase 3 clinical trials in patients with non-small-cell lung cancer

*Ther. Innov. Regul. Sci.*, **53**(3), 324-331(2019).

Goto T, Tohkin M, Yamazoe Y

Solving the interactions of steroidal ligands with CYP3A4 using a grid-base template system

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **34**(6), 351-364(2019).

Maekawa K, Ri M, Nakajima M, Sekine A, Ueda R, Tohkin M, Miyata N, Saito Y, Iida S

Serum lipidomics for exploring biomarkers of bortezomib therapy in patients with multiple myeloma

*Cancer Sci.*, **110**(10), 3267-3274(2019).

(学会発表)

安部 賀央里、頭金 正博【招待講演】

毒性データベースを用いた *in silico* 安全性予測

第1回医薬品毒性機序研究会 2019年1月10日-11日 (名古屋)

落部 達也、安部 賀央里、頭金 正博

機械学習法を利用した化学物質誘発性腎毒性の予測

第1回医薬品毒性機序研究会 2019年1月10日-11日 (名古屋)

槇野 隆太、長部 誠、頭金 正博

HLA-B\*58:01 を介したオキシプリノールによる特異体質性副作用 *in vitro* 評価系の構築

第1回医薬品毒性機序研究会 2019年1月10日-11日 (名古屋)

宮路 康平、岡本 秀人、槇野 隆太、長部 誠、頭金 正博

Lapatinib による T 細胞分化誘導機構の解析

第1回医薬品毒性機序研究会 2019年1月10日-11日 (名古屋)

齋藤 嘉朗、今任 拓也、青木 良子、佐井 君江、頭金 正博  
主として低分子分子標的薬6種に関する日中韓の添付文書比較  
薬学会第139回年会 2019年3月20日-23日 (千葉)

槇野 隆太、長部 誠、頭金 正博  
HLA-B\*58:01 を介したオキシプリノールによる細胞傷害性 T 細胞の活性化に必要な抗原ペプチドの  
探索  
第 46 回日本毒性学会学術年会 2019 年 6 月 26 日-28 日 (徳島)

大矢 和幸、安部 賀央里、頭金 正博  
JADER を用いた医薬品の重症皮膚副作用 *in silico* 予測  
第 46 回日本毒性学会学術年会 2019 年 6 月 26 日-28 日 (徳島)

Ochibe T, Ambe K, Tohkin M  
*In Silico* Models for the Predicting of the Repeated Dose Toxicity Based on HESS Database  
15<sup>th</sup> International Congress of Toxicology 2019 年 7 月 15 日-18 日 (Honolulu, HI, USA)

Ambe K, Ohya K, Tohkin, M  
*In Silico* Prediction of Severe Cutaneous Adverse Drug Reactions Using the Japanese Adverse Drug Event  
Report Database.  
15<sup>th</sup> International Congress of Toxicology 2019 年 7 月 15 日-18 日 (Honolulu, HI, USA)

黒田 侑花、落部 達也、榊原 由子、頭金 正博  
レセプトデータベースを用いた周術期スタチン療法の有用性についての研究  
医療薬学フォーラム 2019 第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム 2019 年 7 月 13 日-14 日  
(広島)

宮路 康平、岡本 秀人、長部 誠、頭金 正博【優秀発表賞】  
Ximelagatran による特異体質性肝障害の発症機構の解析  
第 5 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2019 年 9 月 14 日 (東京)

魏 捷、秋田 彩佑、早瀬 稔起、安部 賀央里、頭金 正博  
臨床試験データを用いた心房細動患者における直接経口抗凝固薬の有効性と安全性に関する民族差  
第 5 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2019 年 9 月 14 日 (東京)

東野 竜空、落部 達也、鈴木 政晴、安部 賀央里、頭金 正博、佐々木 崇光、吉成 浩一  
機械学習によるラットのシトクロム P450 阻害活性の *in silico* 予測に関する研究  
第 5 回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2019 年 9 月 14 日 (東京)

Sato T, Cheng C-L, Park H-W, Kao Yang Y-H, Yang M-S, Fujita M, Imatoh T, Kumagai Y, Tohkin M, Saito  
Y, Sai K  
Evaluation of Ethnic Differences in Incidence of Severe Cutaneous Adverse Reactions in East Asians  
35th International Conference on Pharmacoepidemiology & Therapeutic Risk Management 2019 年 8 月 24  
日-28 日 (Philadelphia, PA USA)

Sai K, Sato T, Cheng C-L, Park H-W, Kao Yang Y-H, Yang M-S, Fujita M, Imatoh T, Kumagai Y, Tohkin  
M, Saito Y  
Population differences in incidence of allopurinol-related severe cutaneous adverse reactions in East Asians  
日本薬剤疫学会第 25 回学術総会第/12 回国際薬剤疫学会アジア会議(ACPE) 2019 年 10 月 11 日-13 日  
(京都)

Ochibe T, Ambe K, Tohkin M

*In silico* models for predicting hepatotoxicity and renal toxicity based on HESS database

CBI学会 2019年大会 2019年10月22日-24日 (船堀)

Suzuki M, Ambe K, Ashikaga T, Yamada T, Tohkin M

Development of *in silico* prediction model for skin sensitization using the alternative tests

CBI学会 2019年大会 2019年10月22日-24日 (船堀)

坂部 彩、頭金 正博

医薬品副作用データベースを用いたボルテゾミブ投与による有害事象発現時期の検討

第29回日本医療薬学会年会 2019年11月2日-4日 (福岡)

伊藤 友香、安部 賀央里、早瀬 稔起、小林 牧由、頭金 正博 【優秀発表賞】

DPP-4阻害薬とSGLT2阻害薬の有効性における民族差研究：システマティックレビュー及びメタアナリシス

第40回日本臨床薬理学会学術総会 2019年12月4日-6日 (東京)

早瀬 稔起、小林 牧由、伊藤 友香、安部 賀央里、頭金 正博

臨床試験データを用いた複合心血管イベントの発症に対する2型糖尿病治療薬の影響と民族差に関する研究

第40回日本臨床薬理学会学術総会 2019年12月4日-6日 (東京)

渡邊 崇、堀 雄史、川上 純一、頭金 正博

ランジオロールによる心房細動治療が与える心不全への中長期的な影響：傾向スコアを用いた後ろ向きコホート研究

第40回日本臨床薬理学会学術総会 2019年12月4日-6日 (東京)

安部 賀央里、落部 達也、東野 竜空、鈴木 政晴、頭金 正博、佐々木 崇光、吉成 浩一

Development of *in silico* prediction method of rat cytochrome P450 inhibition activity by machine learning

日本薬学物動態学会第34回年会 2019年12月9日-12日 (筑波)

Ri M, Iida S, Maruyama D, Saito K, Saito Y, Osaga S, Tohkin M, Miyata N, Fukuhara N, Miyazaki K, Tsukamoto N, Tsujimura H, Yoshimitsu M, Miyamoto K, Tsukasaki K, Nagai H

Lipidomic profiling of plasma samples in patients with newly diagnosed multiple myeloma; a biomarker study for predicting the response and toxicity of Melphalan, Prednisolone, and Bortezomib (MPB) regimen: an ancillary study of JCOG1105 (JCOG1105A1)

61st American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition 2019年12月7日-10日 (Orland, FL, USA)

Ochibe T, Ambe K, Tohkin M 【Best Poster Award】

Machine learning models for predicting hepatotoxicity and renal toxicity based on HESS toxicological test database

NCUアジア拠点校シンポジウム 2019年12月6日-7日 (名古屋市)

## 【病院薬学分野】

(原報)

Sanagawa A, Shiraishi N, Sekiguchi F, Akechi T, Kimura K.

Successful use of brexpiprazole for Parkinson's disease psychosis without adverse effects: a case report.  
*J Clin Psychopharmacol.* 39(6):685-687. 2019.

Ieda N, Hotta Y, Kawaguchi M, Kimura K, Nakagawa H.

In Cellulo and ex Vivo Availability of a Yellowish-Green-Light-Controllable NO Releaser.  
*Chem Pharm Bull (Tokyo).* 67(6):576-579. 2019.

Ikenaka K, Atsuta N, Maeda Y, Hotta Y, Nakamura R, Kawai K, Yokoi D, Hirakawa A, Taniguchi A, Morita M, Mizoguchi K, Mochizuki H, Kimura K, Katsuno M, Sobue G.

Increase of arginine dimethylation correlates with the progression and prognosis of ALS.  
*Neurology.* 92(16):e1868-e1877. 2019.

Nakamura Y, Nakatochi M, Kunimoto S, Okada T, Aleksic B, Toyama M, Shiino T, Morikawa M, Yamauchi A, Yoshimi A, Furukawa-Hibi Y, Nagai T, Ohara M, Kubota C, Yamada K, Ando M, Ozaki N.

Methylation analysis for postpartum depression: a case control study.  
*BMC Psychiatry.* 19(1):190. 2019.

Moroi H, Kimura K, Ido A, Banno H, Jin W, Wachino JI, Yamada K, Kikkawa F, Park YJ, Arakawa Y.  
Erythromycin-Susceptible but Clindamycin-Resistant Phenotype of Clinical ermB-PCR-Positive Group B

Streptococci Isolates with IS1216E-Inserted ermB.  
*Jpn J Infect Dis.* 72:420-422. 2019.

田中創始、鈴木美奈、和知野千春、荒川和幸、正木克由規、兼松孝好、鈴木幹三、赤津裕康、中村敦、大原弘隆

診断が遷延した播種性クリプトコックス症の1例  
日本病院総合診療医学会雑誌 15(5). 2019.

田中創始、本間静佳、和知野千春、荒川和幸、正木克由規、兼松孝好、鈴木幹三、赤津裕康、中村敦、大原弘隆

CTガイド下腸腰筋膿瘍穿刺で診断した結核性脊椎炎・粟粒結核の1例  
日本病院総合診療医学会雑誌 15(4):395-396. 2019

(総説・著書・総合論文など)

木村和哲

泌尿器科領域の抗加齢医学の最前線(Ⅰ)「遺伝子とアンチエイジング」  
ドクターサロン 63巻10月号(9.2019)

木村和哲、江崎哲夫、坂口努

大学病院で研修!?

ヤクゼミプラス 2019 SPRING No.45

片岡智哉、木村和哲

Testosterone 低下が排尿金収縮力に及ぼす影響  
学会記録集 JUA2019 2019.6

Hotta Y, Kataoka T, Kimura K.  
Testosterone deficiency and endothelial dysfunction: nitric oxide, asymmetric dimethylarginine, and endothelial progenitor cells.  
*Sex Med Rev.* 7(4):661-668. 2019.

日比陽子  
わかりやすい新実務実習テキスト 2019-2020  
(2019年1月発行、出版社：じほう) 共著  
執筆箇所：PP. 9-13

(学会発表)

Kondo M, Hotta Y, Yamauchi K, Komatsu H, Ishida S, Kimura K.  
Effect of bortezomib and male sex on the risk for developing tumor lysis syndrome in patients with multiple myeloma: a retrospective study  
American society of nephrology, Kidney Week 2019. (Washington DC, USA) 2019.11

Hotta Y, Tomita N, Naiki-Ito A, Yoshikawa M, Kataoka T, Takahashi S, Kimura K.  
Renoprotective Effects of Phosphodiesterase 5 Inhibitor in Models of CKD with Hypertension and Nephrotic Syndrome  
American society of nephrology, Kidney Week 2019. (Washington DC, USA) 2019.11

Kataoka T, Hotta Y, Maeda Y, Kimura K.  
Low-carbohydrate diet prolongs voiding functions by changing the afferent pathways in rats  
International Continence Society 47th Annual Meeting. (Gothenburg, Sweden) 2019.9

Hotta Y, Nishikawa A, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.  
Regulation of the relaxation of the corpus cavernosum by a near-infrared light-controlled NO donor in vivo and in vitro studies  
21st Congress of the European Society for Sexual Medicine. (Ljubljana, Slovenia) 2019.2

Kataoka T, Sanagawa A, Suzuki J, Muto T, Kawade Y, Hotta Y, Maeda Y, Tohkin M, Kimura K.  
Influence of Anticancer Agents on Erectile Function: A Study of Erectile Responses to Anticancer Agents in Rats After Analysis of FDA Adverse Event Reporting System  
21st Congress of the European Society for Sexual Medicine. (Ljubljana, Slovenia) 2019.2

Mori T, Hotta Y, Kataoka T, Kimura K.  
Association between stress from overwork and penile fibrosis: A study with a rat model of stress.  
21st Congress of the European Society for Sexual Medicine. (Ljubljana, Slovenia) 2019.2

片岡智哉【招待講演】  
糖質制限の罨ー糖質制限による効果と有害事象ー  
第11回泌尿器抗加齢医学研究会, 2019年12月(東京)

朝岡みなみ, 田中創始, 和知野千春, 柳田剛, 中村敦  
(会員外協力者) 近藤周平, 真川明将, 早川智章, 片岡智哉, 堀田康弘, 堀田祐志, 木村和哲  
Clostridioides(Clostridium) difficile 感染症の重症度判定  
第62回日本感染症学会中日本地方会学術集会, 2019年11月(浜松)

和知野千春、柳田剛、田中創始、加藤裕史、朝岡みなみ、中村敦

テジゾリド使用症例の検討

第 89 回日本感染症学会西日本地方会学術集会, 2019 年 11 月 (浜松)

栗木駿輔、井上裕康、山田健太郎、山下純世、西出景子、森下修行

CTRX 脳症を発現した 1 例における 薬物血中濃度の解析

第 13 回日本腎臓病薬物療法学会, 2019 年 11 月 (熊本)

大橋一輝、浅野知子、江崎哲夫、木村和哲

錠剤仕分け装置 TABSORT を用いた薬剤の鑑別の現状

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 (名古屋)

三村佳久、加藤弘子、松本晴年、服部隆宏、江崎哲夫、木村和哲

コンシェルジュサービス導入による病棟での持参薬確認業務の効率化

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 (名古屋)

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、前田康博、木村和哲

若年期における抗がん剤投与後の男性性機能 —ラットを用いた薬理的検討—

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2019, 2019 年 11 月 (名古屋)

真川明将、早川智章、森悠香梨、須藤遥、近藤勝弘、堀田祐志、木村和哲

肥満・過体重はベキサロテンによる高トリグリセリド血症の重症化因子である

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

富田なつみ、堀田祐志、内木綾、吉川麻優、片岡智哉、高橋智、木村和哲【優秀発表賞】

PDE5 阻害薬による腎保護作用の検討—慢性腎臓病モデルとネフローゼモデルから見えた知見—

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

松田夏鈴、堀田祐志、富田なつみ、片岡智哉、伊藤秀和、山本優子、祖父江和哉、木村和哲

人工心肺使用後の急性腎障害と生体内微量金属の関連性の検討

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

片岡智哉、真川明将、鈴木純、中島晃、堀田祐志、前田康博、木村和哲

抗がん剤治療がラットの性腺機能へ及ぼす影響-男性性機能低下を及ぼす薬剤投与後の男性ホルモン濃度の検討-

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

日比陽子、長水正也、神田光司、久田宜範、諸角一成、佐藤由美子、中村康夫

実務実習カリキュラムを基にした新人教育プログラムの構築

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

平手琢真、首代敏宏、長水正也、佐藤由美子、日比陽子、中村康夫

認知症ケアチームと病棟薬剤師業務の連携

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

長水正也、猪飼崇通、久田宜範、諸角一成、佐藤由美子、日比陽子、菊池基雄、中村康夫

CRE に対するコリスチンの使用経験～アミノグリコシド系およびカルバペネム系抗菌薬との併用療法への介入～

第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

浅沼恵美、真川明将、白石直、外ノ池文乃、明智龍男、木村和哲



ブレクスピプラゾールが奏功したパーキンソン精神病の一症例  
第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 (福岡)

片岡智哉【招待講演】

男性ホルモンによる血管保護作用

第 26 回若手イブニングセミナー (名古屋) 2019 年 10 月

杉山洋介、内木拓、田崎慶彦、中村大学、三村佳久、片岡智哉、恵谷俊紀、安藤亮介、大佐賀智、安井孝周、木村和哲

ウェアラブル活動量計 (FITBIT) を使用した尿路上皮がん患者の副作用モニタリング

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月 (福岡)

黒田純子、川出義浩、小松弘和、木村和哲

がん化学療法における妊孕性への影響に関する情報提供体制について

第 57 回日本癌治療学会学術集会, 2019 年 10 月 (福岡)

堀田祐志【招待講演】

難治性勃起不全に対する新たな治療薬の開発

第 25 回若手イブニングセミナー, 2019 年 9 月 (名古屋)

堀田祐志、森泰毅、松本成史、山本徳則、片岡智哉、木村和哲

非細胞製剤「間葉系幹細胞濾液(FSCL)」の神経性 ED モデルに対する効果

日本性機能学会第 30 回学術総会, 2019 年 9 月 (徳島)

堀田祐志、西川敦士、家田直弥、森泰毅、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲

光応答性 NO ドナー「NORD-1」を用いた勃起現象の制御

日本性機能学会第 30 回学術総会, 2019 年 9 月 (徳島)

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、前田康博、木村和哲

小児期における抗がん剤投与がラットの勃起機能へ及ぼす影響

日本性機能学会第 30 回学術総会, 2019 年 9 月 (徳島)

日高隼也、片岡智哉、堀田祐志、木村和哲

炭水化物制限食がラットの勃起機能に及ぼす影響

日本性機能学会第 30 回学術総会, 2019 年 9 月 (徳島)

森泰毅、堀田祐志、春木慶太、保浦敬乃、片岡智哉、木村和哲

ストレスモデルラットを用いた ED の可逆性の検討 ～ストレスからの解放は有効か?～

日本性機能学会第 30 回学術総会, 2019 年 9 月 (徳島)

片岡智哉、堀田祐志、濱川隆、太田裕也、前田康博、窪田泰江、安井孝周、木村和哲

ラットの排尿機能に対する炭水化物制限食の作用機序の検討

第 26 回日本排尿機能学会, 2019 年 9 月 (東京)

堀田祐志、西川敦士、家田直弥、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲【優秀演題賞】

赤外光応答性 NO ドナー「NORD-1」を用いた勃起不全治療への応用

第 61 回日本平滑筋学会総会, 2019 年 8 月 (名古屋)

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、前田康博、木村和哲

小児期における抗がん剤治療が将来の男性性機能へ及ぼす影響—ラットを用いた薬理的検討—

医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2019 年 7 月 (広島)

真川明将、早川智章、須藤遥、森悠香梨、近藤勝弘、堀田祐志、木村和哲  
肥満・過体重が皮膚 T 細胞リンパ腫治療薬ベキサロテンの治療忍容性に及ぼす影響の検討  
医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 2019 年 7 月 (広島)

杉山洋介、内木拓、田崎慶彦、中村大学、三村佳久、片岡智哉、恵谷俊紀、安藤亮介、大佐賀智、安井孝周、木村和哲  
がん化学療法治療中患者に対するウェアラブル活動量計 (FITBIT) の有用性に関する検証  
第 24 回日本緩和医療学会学術大会, 2019 年 6 月 (横浜)

片岡智哉、真川明将、鈴木純、中島晃、堀田祐志、前田康博、木村和哲  
ドキシソルピシン投与後の勃起障害発症メカニズムの薬理的検討  
日本アンドロロジー学会第 38 回学術大会, 2019 年 6 月 (大阪)

日高隼也、片岡智哉、堀田祐志、木村和哲  
概日リズムの変化が勃起機能に及ぼす影響-慢性的時差ぼけ処理ラットを用いた検討-  
第 29 回日本性機能学会中部総会, 2019 年 6 月 (京都)

堀田祐志、西川敦士、家田直弥、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲  
4 次元制御可能な NO ドナーの開発と勃起反応の制御  
第 19 回日本抗加齢医学会総会, 2019 年 6 月 (横浜)

片岡智哉、堀田祐志、前田康博、木村和哲  
炭水化物制限食がラットの男性性機能を低下させる  
第 19 回日本抗加齢医学会総会, 2019 年 6 月 (横浜)

小川晴香、白石直、沢田光代、石川貴康、真川明将、関口文乃、明智龍男  
父子関係への家族介入後、急激なうつ病の改善と宗教観の変化を示したキリスト教牧師の一例  
第 115 回日本精神神経学会学術総会, 2019 年 6 月 (新潟)

山内歌恋、近藤勝弘、堀田祐志、真川明将、小松弘和、飯田真介、木村和哲  
ボルテゾミブは多発性骨髄腫における腫瘍崩壊症候群の発生リスクを上昇させる  
日本医療薬学会 第 3 回フレッシュャーズカンファレンス, 2019 年 6 月 (東京)

片岡智哉、堀田祐志、濱川隆、前田康博、窪田泰江、安井孝周、木村和哲  
Testosterone 低下が排尿筋収縮力に及ぼす影響  
第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 (名古屋)

堀田祐志、高橋瀬奈、所美里、内木綾、片岡智哉、窪田泰江、濱川隆、安井孝周、高橋智、木村和哲  
DPP-4 阻害薬アナグリプチンの虚血に伴う膀胱機能障害に対する予防効果  
第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 (名古屋)

松本成史、山本徳則、堀田祐志、山本雅大、西川祐司、木村和哲  
非細胞製剤「間葉系幹細胞濾液(FSCL)」を用いた ED 治療への有効性-ラットモデルでの検討-  
第 107 回日本泌尿器科学会総会, 2019 年 4 月 (名古屋)

和知野千春、柳田剛、田中創始、加藤裕史、井上雅史、朝岡みなみ、中村敦  
重症急性膵炎の経過中に広範囲感染性被包化壊死および陰囊膿瘍を併発し治療に難渋した 1 例  
第 93 回日本感染症学会総会, 2019 年 4 月 (名古屋)

田中創始, 和知野千春, 赤津裕康, 鈴木幹三, 中村敦  
CTガイド下腸腰筋膿瘍穿刺で診断した結核性脊椎炎・粟粒結核の1例  
第93回日本感染症学会総会, 2019年4月(名古屋)

田中創始, 和知野千春, 赤津裕康, 鈴木幹三, 中村敦  
診断が遷延した播種性クリプトコックス症の1例  
第93回日本感染症学会総会, 2019年4月(名古屋)

杉山洋介, 内木拓, 田崎慶彦, 中村大学, 三村佳久, 片岡智哉, 恵谷俊紀, 安藤亮介, 大佐賀智, 安井孝周, 木村和哲  
Anti-tumor effects of non-coding RNA, TUG1 in pancreatic cancer  
第13回エピジェネティクス研究会, 2019年6月(横浜)

堀田祐志【招待講演】  
光応答性NOドナーを用いた新たなED治療薬の開発  
第107回日本泌尿器科学会総会, 2019年4月(名古屋)

片岡智哉【招待講演】  
2型糖尿病に伴う男性性機能障害の発症と男性ホルモン投与の有効性  
第51回愛知県糖尿病薬物療法研究会, 2019年3月(名古屋)

須藤遥, 真川明将, 近藤勝弘, 堀田祐志, 竹本将士, 木村和哲  
第2世代ALK阻害薬アレクチニブ投与後のeGFR変動に関する後方視的調査  
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019, 2019年3月(札幌)

山内歌恋, 近藤勝弘, 堀田祐志, 真川明将, 竹本将士, 木村和哲  
多発性骨髄腫における腫瘍崩壊症候群発生のリスク因子に関する後方視的研究  
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2019, 2019年3月(札幌)

片岡智哉, 日高隼也, 堀田祐志, 前田康博, 木村和哲  
小児期における不規則な生活が将来の性機能に及ぼす影響 - 慢性時差ボケモデルラットを用いた検討 -  
日本薬学会137回年会, 2019年3月(千葉)

【臨床薬学分野】

(原報)

Atsushi Okada, Hiromasa Aoki, Daichi Onozato, Taiki Kato, Tadahiro Hashita, Hiroshi Takase, Teruaki Sugino, Rei Unno, Kazumi Taguchi, Shuzo Hamamoto, Ryosuke Ando, Kentaro Mizuno, Keiichi Tozawa, Tamihide Matsunaga, Kenjiro Kohri, Takahiro Yasui

Active phagocytosis and diachronic processing of calcium oxalate monohydrate crystals in an in vitro macrophage model

*Kidney Blood Press Res.*, **44**, 1014-1025 (2019)

Hiroki Okumura, Anna Nakanishi, Satoshi Toyama, Mai Yamanoue, Kana Yamada, Akane Ukai, Tadahiro Hashia, Takahiro Iwao, Tomomi Miyamoto, Yoh-ichi Tagawa, Masumi Hirabayashi, Ichiro Miyoshi, Tamihide Matsunaga

Contribution of rat embryonic stem cells to xenogeneic chimeras in blastocyst or 8-cell embryo injection and aggregation

*Xenotransplantation*, **26**, e12468 (2019)

Akiko Koeda, Takahiro Iwao, Anna Nakanishi, Shota Mizuno, Misaki Yamashita, Yoko Sakai, Katsunori Nakamura, Tamihide Matsunaga

Comparison of mRNA expression profiles of drug-metabolizing enzymes and transporters in fresh and cryopreserved cynomolgus monkey hepatocytes

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **34**, 253-263 (2019)

Yoko Sakai, Takahiro Iwao, Takeshi Susukida, Takumi Nukaga, Akinori Takemura, Shuichi Sekine, Kousei Ito, Tamihide Matsunaga

In vitro bile acid-dependent hepatocyte toxicity assay system using human induced pluripotent stem cell-derived hepatocytes: Current status and disadvantages to overcome

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **34**, 264-271 (2019)

Hiromasa Aoki, Misaki Yamashita, Tadahiro Hashita, Mizuki Nakayama, Mayuko Yagi, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Isolation of induced pluripotent stem cell-derived endothelial progenitor cells from sac-like structures

*Biochem. Biophys. Res. Commun.*, **515**, 672-678 (2019)

Yoko Sakai, Hiroki Okumura, Takahiro Iwao, Koichi Watashi, Kousei Ito, Tamihide Matsunaga

Development of an in vitro cholestatic drug-induced liver injury evaluation system using HepG2-hNTCP-C4 cells in sandwich configuration

*Toxicol. In Vitro*, **61**, 104619 (2019)

Eisei Hori, Chigusa Kikuchi, Kenro Imaeda, Naotsuka Okayama, Tadashi Suzuki, Tamihide Matsunaga  
Effect of statins on glycemic status and plasma adiponectin concentrations in patients with type 2 diabetes mellitus and hypercholesterolemia

*Yakugaku Zasshi*, **139**, 807-815 (2019)

鈴木理朱, 鈴木 匡, 菊池千草

薬局店頭での継続的な生活習慣振り返りによる生活習慣改善効果

*Yakugaku Zasshi*, **139**, 1047-1054 (2019)

(総説・著書・総合論文など)

菊池千草

大学での服薬アドヒアランスの実習  
くすりと糖尿病, **8**, 68-70 (2019)

鈴木 匡, 土屋照雄, 寺町ひとみ, 長谷川洋一, 脇屋義文 編集  
モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2019-2020  
株式会社じほう, 2019年1月

菊池千草

モデル・コアカリキュラムに沿ったわかりやすい新実務実習テキスト 2019-2020, 鈴木 匡, 土屋照雄, 寺町ひとみ, 長谷川洋一, 脇屋義文 編集, じほう, 東京, pp. 295-299, pp. 303-307 (2019)

坡下真大, 松永民秀

臓器チップ (Organ-on-a-Chip) システムの開発  
Histo-Logic Japan, **47**, 30-33 (2019)

Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Intestinal cells differentiated from human induced pluripotent stem cells for use in drug development studies  
*Translat. Regulat. Sci.*, **1**, 24-30 (2019)

岩尾岳洋, 松永民秀

Body-on-a chip と薬物動態: 小腸と肝臓のデバイスを中心として  
ファルマシア, **55**, 414-418 (2019)

岩尾岳洋, 松永民秀

薬物動態研究への応用を目指した iPS 細胞由来肝・腸管上皮細胞の作製  
日本薬理学雑誌, **154**, 72-77 (2019)

岩尾岳洋, 壁谷知樹, 近藤聡志, 細川正清, 松永民秀

ヒト iPS 細胞の小腸上皮細胞への分化誘導と創薬研究への利用  
谷本学校毒性質問箱, **21**, 31-38 (2019)

岩尾岳洋, 松永民秀

肝臓-小腸を接続したバイオアベイラビリティ評価システムの開発  
*Drug Delivery System*, **34**, 249-260 (2019)

(学会発表)

松永民秀【招待講演】

ヒト iPS 細胞を用いた in vitro 医薬品毒性予測システム: 消化管と血液毒性  
日本毒化学会 第1回医薬品毒性機序研究会, 2019年1月10日(名古屋)

松永民秀【招待講演】

小腸-肝臓連結系モデルに使用する細胞作製とモデルの薬物動態研究への応用  
シンポジウム: 細胞アッセイ技術の現状と将来, 2019年1月30日(つくば)

美馬伸治, 今倉悠貴, 小椋 泉, 柿沼千早, 壁谷知樹, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 山本 武

ヒト iPS 細胞を活用した腸管吸収評価モデルの開発  
細胞アッセイ研究会シンポジウム 201, 2019 年 1 月 30 日 (つくば)

邱 施萌, 壁谷知樹, 岩尾岳洋, 松永民秀  
ヒト iPS 細胞由来小腸上皮細胞への分化誘導に対する機能性ポリマーの検討  
細胞アッセイ研究会シンポジウム 2019, 2019 年 1 月 30 日 (つくば)

松永民秀【招待講演】  
ヒト iPS 細胞から小腸細胞の分化誘導法と創薬研究への利用  
第 6 回 心臓安全性に関するシンクタンクミーティング 2019, 2019 年 2 月 28 日 (東京)

松永民秀【招待講演】  
In vitro 評価モデル系のテーマ: iPS 分化細胞を用いたヒト薬物動態評価のための in vitro モデル構築  
JSSX-APDD 合同ワークショップ, 2019 年 3 月 1 日 (町田)

松永民秀【招待講演】  
ヒト iPS 細胞の小腸細胞への分化誘導と創薬研究支援材料としての期待  
名古屋大学 NLS セミナー, 2019 年 3 月 13 日 (名古屋)

松永民秀【招待講演】  
ヒト iPS 細胞の小腸細胞への分化誘導と創薬研究への応用  
第 18 回日本再生医療学会総会, 2019 年 3 月 21 日 (神戸)

小川 勇, 小野里太智, 岩尾岳洋, 松永民秀  
再生医療応用を目指したヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイド培養法の確立  
第 18 回日本再生医療学会総会, 2019 年 3 月 21-23 日 (神戸)

今倉悠貴, 美馬伸治, 小椋 泉, 柿沼千早, 壁谷知樹, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 山本 武  
ヒト iPS 細胞を用いた腸管吸収評価モデルの開発  
第 18 回日本再生医療学会総会, 2019 年 3 月 21-23 日 (神戸)

松永民秀【招待講演】  
ヒト iPS 細胞由来小腸細胞: 創薬研究と再生医療への利用の可能性  
名古屋市立大学 医学研究科 消化器・代謝内科学セミナー, 2019 年 5 月 7 日 (名古屋)

松永民秀【招待講演】  
iPS からの腸・肝臓オルガノイド作製方法と Organ on Chip 化  
KiC (JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター) フォーラム, 2019 年 5 月 10 日 (東京)

野田雅人, 樽井亮太, 菊池千草, 中村敬志, 村瀬貴代, 森下修行, 松永民秀  
糖尿病モデル動物におけるトピロキソスタットの抗酸化作用の機序の解明  
第 62 回日本糖尿病学会年次学術集会, 2019 年 5 月 24 日, II-P-434 (仙台)

松永民秀【招待講演】  
ヒト iPS 細胞から腸管細胞および脳毛細血管内皮細胞への分化誘導と新規研究支援材料としての期待  
第 3 回 iPSC 研究協議会講演会, 2019 年 5 月 29 日 (東京)

Tamihide Matsunaga, Tomoki Kabeya, Shimeng Qiu, Takahiro Iwao  
Differentiation of human iPS cells into enterocyte-like cells using cAMP-activating compounds and its function

International Conference on Cytochrome P450, Jun. 23–27, 2019 (Brisbane, Australia)

岩尾岳洋【招待講演】

創薬研究での利用に向けた小腸–肝臓連結デバイスの開発.  
第46回日本毒性学会学術大会, 2019年6月28日 (徳島)

Anna Nakanishi, Satoshi Toyama, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Evaluating and usefulness of human iPS cell-derived intestinal organoids for treatment of inflammatory bowel diseases

The 3<sup>rd</sup> Workshop for Japan-Korea Young Scientists on Pharmaceutics, Jul. 10–11, 2019 (Tokyo, Japan)

松永民秀【招待講演】

ヒト iPS 細胞を医薬品開発研究に利用する  
夢ナビライブ 2019, 2019年7月20日 (名古屋)

田中李奈, 小林華奈, 田中日向子, 山下みずき, 菊池千草, 鈴木 匡  
学生同士で行う服薬・生活習慣指導ならびに薬歴作成体験学習の効果  
第4回日本薬学教育学会大会, 2019年8月24–25日 (大阪)

松永民秀【招待講演】

生体模倣小腸–肝臓チップ: バイオアベイラビリティ予測と安全性評価 *in vitro* モデルの開発  
令和元年度AMED再生医療研究交流会, 2019年9月3日 (東京)

Misaki Yamashita, Hiromasa Aoki, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Differentiation and freeze-thawing of human iPS cell-derived brain microvascular endothelial cells

55<sup>th</sup> Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2019), Sep. 8–11, 2019 (Helsinki, Finland)

Yoko Sakai, Hiroki Okumura, Takahiro Iwao, Koichi Watashi, Kousei Ito, Tamihide Matsunaga

Development of *in vitro* cholestatic drug-induced liver injury evaluation system using HepG2-hNTCP-C4 cells with sandwich culture

55<sup>th</sup> Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2019), Sep. 8–11, 2019 (Helsinki, Finland)

Hiromasa Aoki, Misaki Yamashita, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Differentiation of human iPS cell-derived endothelial progenitor cells into brain microvascular endothelial cells

55<sup>th</sup> Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX 2019), Sep. 8–11, 2019 (Helsinki, Finland)

松永民秀【招待講演】

ヒト iPS 細胞の創薬支援材料としての期待  
内外環境応答・代謝酵素研究会, 2019年9月22日 (仙台)

岩尾岳洋【招待講演】

医薬品の消化管吸収や毒性評価に利用可能なヒト iPS 細胞由来小腸上皮細胞の開発  
第4回トランスポーター研究会関東部会, 2019年10月5日 (東京)

松永民秀【招待講演】

創薬研究支援材料として期待されるヒト iPS 細胞

医薬系交流シンポジウム, 2019年10月31日 (名古屋)

小林華奈, 渡邊 崇, 菊池千草, 鈴木 匡

ドラッグストアの ID-POS データを用いた睡眠改善薬の高齢者購買動向とその問題点  
第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 3 日, P0643-3-AM (福岡)

山下みずき, 堀池理沙, 浅井治行, 松波晋平, 鍋谷伸子, 橋村孝博, 佐々木豊, 鈴木 匡

薬局検体測定室における継続的な測定と運動習慣意識向上の効果検証  
第 29 回日本医療薬学会年会, 2019 年 11 月 3 日, P0644-3-PM (福岡)

Satoshi Toyama, Anna Nakanishi, Tadahiro Hashita, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga **【Best Abstract Award】**

Therapeutic effects of transplant of human-induced pluripotent stem cell-derived intestinal stem cells in inflammatory bowel disease model mice

The 10<sup>th</sup> Asian Cellular Therapy Organization Meeting, Nov. 7–9, 2019 (Sapporo, Japan)

Isamu Ogawa, Takahiro Iwao, Hisato Hayashi, Tatsuro Kanaki, Tamihide Matsunaga

Matrigel-free culture method for intestinal organoids derived from human induced pluripotent stem cells using gellan gum analogues

The 10<sup>th</sup> Asian Cellular Therapy Organization Meeting, Nov. 7–9, 2019 (Sapporo, Japan)

坂下真大 **【招待講演】**

BBB モデルを目指した iPS 細胞由来脳毛細血管内皮細胞の開発と課題  
実験動物代替法学会第 32 回大会, 2019 年 11 月 20 日 (つくば)

小椋 泉, 美馬伸治, 今倉悠貴, 後藤 俊, 柿沼千早, 岩尾岳洋, 松永民秀, 山田忠範, 畠賢一郎  
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞 (FUJIFILM human iPS cell-derived Small Intestinal Epithelial like Cell; F-hiSIEC<sup>TM</sup>) の特性と腸管吸収評価モデルとしての有用性.

日本動物実験代替法学会第 32 回大会, 2019 年 11 月 20–22 日 (つくば)

松永民秀 **【招待講演】**

ヒト iPS 細胞: 創薬研究支援及び再生医療材料としての期待  
FCeM 研究会, 2019 年 11 月 22 日 (東京)

松永民秀 **【招待講演】**

Utility of iPS Cells for Study of Drug Metabolism and Pharmacokinetics: Differentiation of Human iPS Cells into Enterocytes

中国薬物動態学会(CSSX)との連携シンポジウム, 2019年11月24日 (中国, 広州)

Takahiro Iwao **【招待講演】**

Generation of intestinal cells from human iPS cells for application to drug development study  
NCU Contact Points in Asia Symposium, Dec. 5, 2019 (Nagoya, Japan)

Satoshi Kondo, Shota Mizuno, Takahiro Iwao, Tamihide Matsunaga

Establishment of culture method for intestinal stem cells derived from human iPS cells and applications of enterocytes derived from human iPS cells for drug development

ASBC/EMBO 2019 meeting, Dec. 7–11, 2019 (Washington DC, USA)

松永民秀 **【招待講演】**

ヒト iPS 細胞由来腸管細胞と MPS の開発 (Human iPS cell-derived enterocytes and MPS development)



第34回年会（2019年）日本薬物動態学会ショートコース，2019年12月9日（つくば）

美馬伸治，今倉悠貴，小椋 泉，後藤 俊，柿沼千早，岩尾岳洋，松永民秀，畠賢一郎  
ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞（F-hiSIEC™）の機能解析：薬物吸収予測モデルへの応用とアプリケーション開発  
日本薬物動態学会第 34 回年会，2019 年 12 月 9-12 日（つくば）

小川 勇，岩尾岳洋，林 寿人，金木達朗，松永民秀  
マトリゲルを用いない iPS 細胞由来腸管オルガノイドの浮遊培養技術の開発  
日本薬物動態学会第 34 回年会，2019 年 12 月 9-12 日（つくば）

成田敦貴，坡下真大，岩尾岳洋，松永民秀  
ヒト iPS 細胞由来肝細胞膜上への NTCP の局在化の亢進  
日本薬物動態学会第 34 回年会，2019 年 12 月 9-12 日（つくば）

小田切州広，水野正子，内山敬太，菊池千草，鈴木 匡  
在宅訪問薬剤師の薬剤情報報告書による多職種間共有情報カテゴリ分析  
日本薬学会第 139 年会，2019 年 3 月 20-23 日（千葉）

樽井亮太，菊池千草，野田雅人，中村敬志，村瀬貴代，松永民秀  
キサントニン酸化酵素阻害剤の抗酸化作用に関する検討  
日本薬学会第 139 年会，2019 年 3 月 20-23 日（千葉）

## 5 科学研究費等補助金

科学研究費

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間開始日	期間終了日	2019年度 配分額(円)	研究課題名
新学術領域研究 (研究領域提案 型)	19H05224	竹内 雄一	研究員	20190401	20210331	2,860,000	精神病態の行動表現型を生じる神経回路動態の逆問題的解明
基盤研究(A)	19H01017	加藤 晃一	教授	20190401	20230331	10,920,000	先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の関連機構の解明
基盤研究(B)	17H03635	星野 真一	教授	20170401	20210331	4,550,000	細胞質ポリA鎖伸長による新しい遺伝子発現制御機構の解明
基盤研究(B)	17H03985	服部 光治	教授	20170401	20200331	5,720,000	脳の形成と機能に重要な分泌タンパク質リーンの機能解明と、その創薬への応用研究
基盤研究(B)	17H04000	樋口 恒彦	教授	20170401	20200331	3,510,000	生理的条件下で効率よく機能する化学発光型センサー分子の開発
基盤研究(B)	18H02481	糸 和彦	教授	20180401	20210331	5,070,000	ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構の総合的研究
基盤研究(B)	18H02564	平嶋 尚英	教授	20180401	20210331	1,170,000	分泌細胞における新しいカルシウムストアとCa <sup>2+</sup> 放出の誘導機構
基盤研究(B)	19H03354	中川 秀彦	教授	20190401	20220331	6,500,000	多様な制御モードによる一酸化窒素等シグナル分子のケージド化合物開発と生体応用
基盤研究(B)	19H03361	佐藤 匡史	准教授	20190401	20220331	6,500,000	タンパク質の糖鎖修飾の特異性を決定する分子機構の解明と人工糖タンパク質技術の開発
基盤研究(B)	19H03381	鈴木 良明	講師	20190401	20220331	5,850,000	オルガネラ間カルシウムネットワークによる平滑筋リモデリング疾患成立機構の解明
基盤研究(B)	19H03391	松永 民秀	教授	20190401	20220331	6,890,000	ヒトiPS細胞由来小腸細胞・組織を用いた薬物動態及び毒性予測モデル系の創製
基盤研究(B)	19H03550	竹内 雄一	研究員	20190401	20240331	3,770,000	てんかんの根治を目的としたけいれん準備性の定量法開発とその応用
基盤研究(C)	KK17K04990	山中 淳平	教授	20170401	20200331	1,040,000	粒子間摩擦力の制御による対称性に優れた正四面体型荷電コロイド粒子会合体の構築
基盤研究(C)	KK17K08215	中村 精一	教授	20170401	20200331	1,560,000	イソベンゾフランの新規発生法を活用する生物活性天然物合成
基盤研究(C)	KK17K08280	築地 仁美	講師	20170401	20200331	1,170,000	抑制性介在ニューロン変性の前頭側頭葉変性症発症における重要性の解明
基盤研究(C)	KK17K08281	河野 孝夫	講師	20170401	20200331	1,560,000	巨大分泌蛋白質リーンのシグナル活性機構と、その精神神経疾患における重要性の解明
基盤研究(C)	KK17K08306	日比 陽子	准教授	20170401	20210331	1,430,000	ストレス感受性転写因子NPAS4を標的とした神経精神疾患治療薬の開発
基盤研究(C)	KK17K08389	肥田 重明	教授	20170401	20200331	910,000	常在細菌による免疫制御ネットワークの解明
基盤研究(C)	KK17K08421	岩尾 岳洋	准教授	20170401	20200331	1,430,000	薬物動態および相互作用の新規予測系としてのヒトiPS細胞由来腸管上皮細胞の応用
基盤研究(C)	KK17K08422	坂下 真大	講師	20170401	20200331	1,300,000	新規ヒトiPS細胞由来血管内皮前駆細胞を用いた血液脳関門モデルの構築
基盤研究(C)	KK17K08456	尾関 哲也	教授	20170401	20200331	1,820,000	機能性吸入DDS製剤のone step調製を可能にするスプレードライ技術の研究
基盤研究(C)	KK17K08571	富田 淳	講師	20170401	20200331	1,300,000	ショウジョウバエとマウスで共通するNMDA受容体による睡眠制御機構の解明

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間開始日	期間終了日	2019年度 配分額(円)	研究課題名
基盤研究(C)	KK18K03568	奥菌 透	准教授	20180401	20210331	1,300,000	表面化学反応を伴った等方的な荷電コロイド粒子の自己電気泳動メカニズムの探求
基盤研究(C)	KK18K05063	豊玉 彰子	講師	20180401	20210331	910,000	引力系コロイドの原子系結晶モデルとしての有効性の検証
基盤研究(C)	KK18K06551	久松 洋介	講師	20180401	20210331	1,820,000	超分子化学的手法を用いたヘム高親和性合成分子の創製とケミカルバイオロジーへの展開
基盤研究(C)	KK18K06660	井上 靖道	准教授	20180401	20210331	1,560,000	上皮間葉転換を制御する新規脱ユビキチン化酵素の同定とがん治療への応用
基盤研究(C)	KK18K06754	菊池 千草	講師	20180401	20210331	1,170,000	薬局でのロコモティブシンドローム予防活動の健康増進効果検証
基盤研究(C)	KK18K06789	頭金 正博	教授	20180401	20210331	1,560,000	ナショナルレセプトデータベースを用いる新規2型糖尿病治療薬の有効性と安全性の評価
基盤研究(C)	KK18K06962	中津海 洋一	講師	20180401	20210331	1,300,000	栄養と炎症を直結するシグナル伝達経路の糖尿病への関与の解明
基盤研究(C)	KK18K07453	太田 美里	研究員	20180401	20210331	1,560,000	生薬の修治一蜜炙法による免疫賦活作用発現の分子機構の解明
基盤研究(C)	KK18K11026	加藤 順子	研究員	20180401	20210331	910,000	機能と心血管機能に着目した『低インスリンダイエット』による突然死の原因解明
基盤研究(C)	KK19K06999	山越 博幸	講師	20190401	20220331	1,690,000	伝統薬成分カドコシラクトンAの全合成研究
基盤研究(C)	KK19K07067	伊藤 佐生智	准教授	20190401	20220331	1,430,000	黄色ブドウ球菌毒素の新機能ー免疫活性化作用と免疫アレルギー疾患発症増悪への関与ー
基盤研究(C)	KK19K07086	細田 直	講師	20190401	20220331	1,430,000	翻訳終結因子eRF3のプロセッシング異常がもたらす新しい癌発症メカニズム
基盤研究(C)	KK19K07125	山村 壽男	教授	20190401	20220331	1,690,000	肺高血圧症に関与するカルシウム関連イオンチャネルの機能解析と創薬
基盤研究(C)	KK19K07149	牧野 利明	教授	20190401	20220331	2,340,000	サルコペニア予防に適した牛車腎気丸製剤の開発
基盤研究(C)	KK19K07170	田上 辰秋	講師	20190401	20220331	1,300,000	3Dプリンター技術を用いたオーダーメイド医薬品の製造に関する基盤研究
基盤研究(C)	KK19K07485	田中 正彦	准教授	20190401	20220331	1,560,000	消化器官のグリア細胞・星細胞におけるカルシニューリンと細胞間相互作用の役割
基盤研究(C)	KK19K10537	和知野 千春	研究員	20190401	20230331	2,210,000	小児領域の抗菌薬適正使用支援のための評価管理プログラムの開発と臨床実用化
挑戦的研究(萌芽)	KK18K19408	樋口 恒彦	教授	20180401	20210331	2,210,000	疎水性短冊形分子の水溶性ナノカプセル封入新手法:蛋白質の動的核偏極NMRへの応用
挑戦的研究(萌芽)	KK19K22504	服部 光治	教授	20190401	20210331	3,640,000	特殊な脂肪酸を利用する神経再生医療法の検証
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	KK18KK0218	今泉 祐治	教授	20180401	20210331	4,680,000	慢性炎症疾患と組織線維化におけるイオンチャネルの病態生理学的役割
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	KK18KK0236	竹内 雄一	研究員	20180401	20220331	3,900,000	難治性てんかんの発作を非侵襲的かつオンデマンドに制御する臨床技術の開発
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	KK19KK0197	中川 秀彦	教授	20190401	20230331	2,990,000	特殊アミノ酸を駆使したエピジェネティック制御酵素可視化蛍光プローブの開発

研究種目	研究課題/ 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間開始日	期間終了日	2019年度 配分額(円)	研究課題名
若手研究	KK18K14358	川口 充康	講師	20180401	20200331	2,080,000	ENPP1を標的とした分子標的プロドラッグ基盤技術の開発研究
若手研究	KK18K14630	尾上 耕一	講師	20180401	20200331	1,950,000	細胞質ポリ(A)鎖伸長因子CPEBによる多様な遺伝子発現調節の分子基盤
若手研究	KK18K14873	家田 直弥	助教	20180401	20200331	2,210,000	生体での精密制御を志向したPeT型光制御NOドナー群の開発
若手研究	KK18K14953	保嶋 智也	講師	20180401	20200331	1,690,000	生体内における新規チアミンプール機構と癌細胞における増殖能との関連性
若手研究	KK18K14987	安部 賀央里	助教	20180401	20200331	1,690,000	副作用ビッグデータを用いた人工知能による薬物性肝障害予測手法の開発
若手研究	KK18K16081	宮嶋 ちはる	助教	20180401	20220331	1,040,000	マクロファージを介した動脈硬化促進機構を操る血液線溶因子Plasmin活性の役割
若手研究	KK18K16742	堀田 祐志	講師	20180401	20200331	1,690,000	4次元制御可能なNOドナー「NO-Rosa」の軟膏製剤化とED治療への応用
若手研究	KK19K16416	山城 貴弘	助教	20190401	20210331	2,340,000	ピリドキシンの腸管吸収の分子機構の解明と癌治療戦略への応用
若手研究	KK19K16417	真川 明将	研究員	20190401	20210331	2,730,000	分子標的薬の腎障害メカニズムの解明—大規模データから検出された新規リスクの検討—
若手研究(B)	KK17K15467	石内 勘一郎	講師	20170401	20200331	1,560,000	有用物質生産基盤の確立へ向けた糸状菌における二次代謝発現調節メカニズムの解明
研究活動スタート支援	KK19K24170	竹内 まどか	研究員	20190401	20210331	1,430,000	男性ホルモン低下に着目した加齢に伴う高血圧症の発症原因の探求

## その他の研究補助金

### 【助成金等】

補助金等名称	公益財団法人 ソルト・サイエンス研究財団
研究課題名	肺高血圧症に關与する2ポアドメイン型カリウムチャネルの機能解析
氏名	山村壽男
金額(千円)	1,100
補助金等名称	大陽日酸株式会社
研究課題名	大学院薬学研究科 生命分子構造学分野 加藤晃一特任教授の学術研究奨励のため
氏名	加藤晃一
金額(千円)	600
補助金等名称	一般財団法人 東海産業技術振興財団
研究課題名	光誘起電子移動をトリガーとした可視および近赤外光作動性ゲージド基の開発
氏名	家田直弥
金額(千円)	800
補助金等名称	公益財団法人 喫煙科学研究財団
研究課題名	松果体ニコチン受容体とイオンチャネルによるメラトニン産生制御機構の解明
氏名	山村壽男
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人 東洋医学研究財団
研究課題名	転写因子ATF4を活性化する新規化合物の同定とその作用機序の解析
氏名	宮嶋ちはる
金額(千円)	700
補助金等名称	公益財団法人 東洋医学研究財団
研究課題名	甘草の副作用、偽アルドステロン症の原因物質の探索
氏名	石内勘一郎
金額(千円)	700
補助金等名称	公益財団法人 一般用医薬品セルフメディケーション振興財団
研究課題名	潜在する一般用医薬品用ガム製剤の探索に関する研究
氏名	田上辰秋
金額(千円)	800
補助金等名称	公益財団法人 愛知県がん研究振興会
研究課題名	アルギニン類事物に着目したシスプラチン投与に伴う腎障害の予測
氏名	堀田祐志
金額(千円)	250
補助金等名称	公益財団法人 愛知県がん研究振興会
研究課題名	ENPP1阻害剤の構造最適化およびSTING経路活性化剤としての機能評価研究
氏名	川口充康
金額(千円)	250
補助金等名称	中外製薬株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	堀田祐志
金額(千円)	100

補助金等名称	公益財団法人 武田科学振興財団
研究課題名	低エネルギー光で制御可能なケージド化合物群の開発
氏名	家田直弥
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人 武田科学振興財団
研究課題名	ショウジョウバエを用いた神経細胞レベルでの眠気の測定とその応用
氏名	冨田 淳
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人 カシオ科学振興財団
研究課題名	体外から光で制御する血流制御ツールの開発
氏名	家田直弥
金額(千円)	1,000
補助金等名称	小野薬品工業株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
金額(千円)	1,000
補助金等名称	公益財団法人 日中医学協会
氏名	津田洋幸特任教授研究室における学術研究奨励のため
金額(千円)	600
補助金等名称	武田薬品工業株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
金額(千円)	200
補助金等名称	大川原化工機株式会社
研究課題名	スプレードライヤーを用いた研究
氏名	尾関哲也
金額(千円)	600
補助金等名称	テルモ生命科学振興財団
研究課題名	光誘起電子移動を駆使した低エネルギー光制御ケージド基の開発
氏名	家田直弥
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人 上原記念生命科学財団
研究課題名	痛風を誘発するリソソームにおける尿酸動態の分子基盤
氏名	保嶋智也
金額(千円)	2,000
補助金等名称	公益財団法人 小林財団
研究課題名	免疫活性化能を有する黄色ブドウ球菌毒素を見出し、これを標的としたアレルギー予防ワクチンを創製する
氏名	伊藤佐生智
金額(千円)	4,000
補助金等名称	公益財団法人 小林財団
研究課題名	生薬ジオウおよびニンジンの加熱加工による有用性向上メカニズムに関する研究
氏名	牧野利明
金額(千円)	5,500

## 【受託研究等】

補助金等名称	東和薬品株式会社
研究課題名	副作用データベースを利用した医薬品による薬物性肝障害発症リスクの評価(期間延長)
氏名	頭金正博
金額(千円)	1,000
補助金等名称	一般社団法人 日本化学工業協会
研究課題名	機序に基づくカーボンナノマテリアルの有害性と発がんリスク評価法の確立
氏名	津田洋幸
金額(千円)	10,000
補助金等名称	株式会社ベックス
研究課題名	電気式遺伝子導入装置を用いた遺伝子導入効率に関する基礎的研究(R1.7.31まで)
氏名	井上靖道
金額(千円)	1,058
補助金等名称	内閣府食品安全委員会事務局 2019年度食品健康影響評価技術研究
研究課題名	新規評価支援技術の開発に関する研究～毒性予測に向けたデータベースの活用方法の検討～
氏名	頭金正博
金額(千円)	4,000
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業
研究課題名	分化制御培養法によるiPS細胞由来血液脳関門モデル細胞の安定的な製造・供給体制の構築
氏名	坡下真大
金額(千円)	9,000
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 糖鎖利用による革新的創薬技術開発事業
研究課題名	NMRと計算科学の統合による糖鎖の3次元構造ダイナミクスの体系的評価法の開発
氏名	矢木宏和
金額(千円)	8,800
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業
研究課題名	生体模倣小腸-肝臓チップ: バイオアベイラビリティ予測と安全性評価in vitroモデルの開発
氏名	松永民秀
金額(千円)	68,200
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 再生医療実用化研究事業
研究課題名	ヒトiPS細胞由来肝細胞を用いた医薬品の肝毒性を予測・評価するin vitro試験法の開発研究
氏名	松永民秀
金額(千円)	2,500
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 医療品等規制調和・評価研究事業
研究課題名	東アジア地域で国際共同知見を計画する際の留意事項に関する研究
氏名	頭金正博
金額(千円)	3,900
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 「統合医療」に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業
研究課題名	天草の副作用、偽アルドステロン症発症予防のためのバイオマーカーの開発
氏名	牧野利明
金額(千円)	2,701
補助金等名称	文部科学省 先端研究基盤共用促進事業 新たな共用システム導入支援プログラム
研究課題名	新たな共用システムの導入・運営
氏名	林 秀敏(共用機器センター長)
金額(千円)	11,341



補助金等名称	みずほ情報総研株式会社
研究課題名	平成31年度省エネ型電子デバイス材料の評価技術の開発事業(機能性材料の社会実装を支える高速・高効率な安全性評価技術の開発(インビボ毒性の予測を指向した生体分子反応性のインシリコ予測モデルの構築))
氏名	頭金正博
金額(千円)	3,414
補助金等名称	国立大学法人 岡山大学 橋渡し研究戦略的推進プログラム
研究課題名	細胞内透過性をめざした、次世代環境応答型LSD1(リシン特異的脱メチル化酵素)阻害ペプチドの開発
氏名	梅澤直樹
金額(千円)	1,500
補助金等名称	独立行政法人 日本学術振興会
研究課題名	平成31年度二国間交流事業共同研究・セミナー
氏名	大澤匡弘
金額(千円)	2,337
補助金等名称	独立行政法人 日本学術振興会
研究課題名	平成31年度二国間交流事業共同研究・セミナー
氏名	山中淳平
金額(千円)	980
補助金等名称	国立大学法人 大阪大学
研究課題名	高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンス教育研究プログラムの共同開発
氏名	鈴木 匡
金額(千円)	3,726
補助金等名称	国立大学法人 九州大学
研究課題名	FOXK1によるCCL2発現調節機構を標的としたがん治療法の開発
氏名	白根道子
金額(千円)	5,000
補助金等名称	旭化成株式会社
研究課題名	新規な乳化重合粒子のキャラクタリゼーションに関する研究
氏名	山中淳平
金額(千円)	500
補助金等名称	旭化成株式会社
研究課題名	サララテックスの粒子表面酸量解析
氏名	山中淳平
金額(千円)	500
補助金等名称	国立国際医療研究センター国府台病院
研究課題名	個別改良に対応したゲノム編集技術による肝臓内HBVゲノムの完全不活性化を目指した革新的治療法の包括的開発
氏名	星野真一
金額(千円)	13,260
補助金等名称	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業(分担)
研究課題名	実用化に向けたB型肝炎新規治療薬の探索及び最適化
氏名	松永民秀
金額(千円)	3,800

【名古屋市立大学 特別研究奨励費】

種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	小腸上皮の側底膜型尿酸トランスポーターの機能解明:尿酸関連疾患治療の新たな基盤
氏名	湯浅博昭
金額(千円)	975
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	オルガネラ膜接触部位の生理機能の解明
氏名	白根道子
金額(千円)	975
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	慢性疼痛のバイオマーカー探索と新規治療デバイス開発への応用
氏名	大澤匡弘
金額(千円)	975
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	新奇グリセロールリン酸修飾の生合成経路と細胞間相互作用における機能発現機構の解明
氏名	矢木宏和
金額(千円)	975
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	アリストロキア酸の生合成と蓄積に関わる分子メカニズムの解明
氏名	寺坂和祥
金額(千円)	650
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	NTCP強制発現HepG2細胞によるin vitro薬剤性胆汁鬱滞型肝障害評価法
氏名	堺 陽子
金額(千円)	650
種別	科学研究費獲得活性化事業
研究課題名	勃起不全治療における光応答性NOドナーの効果と安全性に関する研究
氏名	野村有紀
金額(千円)	500
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	2次元金コロイド結晶を用いた診断用チップの開発
氏名	山中淳平
金額(千円)	6,000
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	ヒトiPS細胞由来腎糸球体細胞を用いた糸球体模倣モデルによるギャロウエイ・モワト症候群治療薬の探索
氏名	坂下真大
金額(千円)	1,100
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	新規リーリンシグナルの分子メカニズムと脳形成における意義の解明
氏名	河野孝夫
金額(千円)	1,100
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	オルガネラゾーンによる平滑筋興奮-転写連関の制御
氏名	鈴木良明
金額(千円)	1,050

種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	医薬品のシステマティックレビュー効率化に向けたAI活用に関する研究
氏名	安部賀央里
金額(千円)	1,400
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	精神疾患の治療を思考した、リーリン分解酵素阻害剤の開発
氏名	服部光治
金額(千円)	1,680
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	治療標的としてのニッチ細胞に着目した自己免疫疾患治療および主要免疫賦活化療法
氏名	青山峰芳
金額(千円)	1,031
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	RNA結合タンパク質群TDP-43、FUS、Ataxin2の異常により引き起こされる神経変性疾患の発症機構解明と治療法開発
氏名	築地仁美
金額(千円)	700
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	金微粒コロイド結晶を用いた表面プラズモン増強基盤の開発
氏名	豊玉彰子
金額(千円)	700
種別	国の競争的資金獲得活性化事業
研究課題名	オピオイド受容体に作用するアルカロイド誘導体の創製
氏名	山越博幸
金額(千円)	700
種別	論文発表活性化事業
種別	国際共著論文プラス1
氏名	矢木宏和
金額(千円)	50
種別	論文発表活性化事業
種別	高インパクト
氏名	尾関哲也
金額(千円)	25
種別	論文発表活性化事業
種別	高インパクト
氏名	田上辰秋
金額(千円)	25
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	イオンチャネルの病態生理機能に関する国際共同研究と薬学研究科講義および医薬研究科連携セミナー
氏名	山村壽男
金額(千円)	287
種別	国際交流の推進事業
研究課題名	南カリフォルニア大学との交流の拡充
氏名	岩尾岳洋
金額(千円)	270

## 6 新聞報道等

(2019年1月から2019年12月)

## 【新聞報道】

鬼頭典子，木村和哲  
小児薬物療法認定薬剤師の現状と今後の課題  
薬事新報 2019年2月7日

牧野利明  
漢方薬による副作用の原因物質を発見、簡易測定法も開発  
QlifePro 医療ニュース 2019年2月13日

白根道子  
「研究現場発」細胞内オルガネラの制御と神経変性疾患  
中部経済新聞 2020年3月10日

桑和彦  
「研究現場発」より良い睡眠を目指して 人間とハエの共通点 体内時計と睡眠の研究  
中部経済新聞 2019年3月12日

牧野利明  
トリカブト疼痛緩和効果 名市大グループ発見  
中日新聞 2019年4月11日

牧野利明  
トリカブト神経の痛み抑える？ 名古屋市立大 根から有効成分発見  
毎日新聞夕刊 2019年4月12日

青山峰芳  
「病気を知って、病気を治す」  
中部経済新聞 2019年7月9日

加藤晃一  
免疫細胞と抗体に新たな結合部 異物攻撃促進 新薬へ期待  
中日新聞 令和元年8月17日

大澤匡弘，稲波千尋  
「先進 飛騨高山の「薬薬連携」」  
中日新聞 2019年8月18日

桑和彦  
「からだ café 旅先での不調どう防ぐ？」  
読売新聞夕刊 2019年9月21日

牧野利明  
第3回課題別リーダー研修「一から知りたい漢方の基礎」  
女性なごや 2019年11月20日

## 【その他のメディア報道】

加藤晃一

番組名：宇宙飛行士の健康管理術Ⅲ ～「健康長寿のヒントは、宇宙にある」～  
BS朝日 2019年3月24日 午前11:00～11:30

## 【受賞】

齋藤泰輝, 矢木宏和, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, 加藤晃一

「特定のタンパク質へのFUT9依存的なフコース転移機構の解明」

第6回将来を見据えた生体分子の構造・機能解析から分子設計に関する研究会 優秀発表賞  
2019年1月7日

堀田祐志

WJMH Best Reveiwer Award 2019年2月27日

稲波千尋

「脳活動の可視化と慢性疼痛機序解明への応用」

第28回行動薬理若手研究者の集い 最優秀発表賞 2019年3月13日

菊川考

「マウスにおける帯状疱疹関連痛へのmethylcobalaminの有効性とその作用機序の解明」

第28回行動薬理若手研究者の集い 最優秀発表賞 2019年3月13日

竹内雄一

「オンデマンド脳深部刺激によるてんかん発作のリアルタイム制御」

第28回行動薬理若手研究者の集い 優秀発表特別賞 2019年3月13日

本田怜奈

平成30年度日本化学会東海支部長賞 2019年3月15日

小林里帆

第82回日本生化学会中部支部会支部長賞 2019年3月25日

中津川瑛美

日本化学会東海支部長賞 2019年3月25日

與語理那

「膜を舞台にする抗体機能の高速原子間力顕微鏡解析」

日本薬学会第139年会 優秀発表賞（口頭発表の部） 2019年4月22日

和田万理子（生命薬科学科4年生）

瑞秀賞 2019年5月10日

尾関哲也

日本薬剤学会 第15回（2019年度）タケル&アヤ・ヒグチ記念賞 2019年5月17日

山内歌恋

「ボルテゾミブは多発性骨髄腫における腫瘍崩壊症候群の発症リスクを上昇させる」  
日本医療薬学会 第3回フレッシュャーズ・カンファランス 優秀演題発表賞 2019年6月16日

加藤善章

「Regulation of sleep by neuronal circuit of central circuit in *Drosophila melanogaster*」  
第42回日本神経科学大会 優秀ポスター賞 2019年7月25日

堀田祐志

「赤外光応答性 NO ドナー「NORD-1」を用いた勃起不全治療への応用」  
第61回日本平滑筋学会総会 優秀演題賞 2019年8月2日

山口拓実

「常磁性 NMR 計測を活用した糖鎖の動的立体構造解析法の開発」  
第22回日本糖質学会奨励賞 2019年8月19日

齋藤泰輝

「フコース転移酵素による特定のタンパク質への Lewis X 修飾機構」  
第1回日本糖質学会 優秀講演賞 2019年8月19日

三宅玲香

第44回日本医用マスペクトル学会年会 優秀ポスター賞 2019年9月12日

宮路康平, 岡本秀人, 長部誠, 頭金正博

「Ximelagatran による特異体質性肝障害の発症機構の解析」  
第5回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 優秀発表賞  
2019年9月14日

木村和哲

令和元年度愛知県薬事功労者知事表彰  
一般社団法人愛知県病院薬剤師会 2019年10月6日

羽鳥聖七

「Sik3 regulates sleep in *Drosophila*」  
第26回学術大会日本時間生物学会 優秀ポスター賞 2019年10月12日

柚木康弘, 石井健太郎, 矢木真穂, 村上怜子, 寺内一姫, 内山 進, 矢木宏和, 加藤晃一

「ATP hydrolysis by KaiC regulates its binding to Kai proteins in the cyanobacterial circadian clock system」  
第26回学術大会日本時間生物学会 優秀ポスター賞 2019年10月13日

富田なつみ

「PDE5 阻害薬による腎保護作用の検討-慢性腎臓病モデルとネフローゼモデルから見えた知見-」  
第29回日本医療薬学会年会 優秀発表賞 2019年11月3日

斎藤彩有里

「カドコッシラクトン A の合成研究 ～光レドックス触媒反応によるヒドロインダン骨格の立体選択的構築～」  
第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会 2019年11月22日

梅澤芙美子, 矢木宏和, 加藤晃一

「真核生物における新規グリセロール酸修飾の生合成経路の探索」

第3回 Glycolleague 奨励賞 2019年11月29日

伊藤友香, 安部賀央里, 早瀬稔起, 小林牧由, 頭金正博

「DPP-4 阻害薬と SGLT2 阻害薬の有効性における民族差研究：システマティックレビュー及びメタアナリシス」

第40回日本臨床薬理学会学術総会 優秀発表賞 2019年12月4日-6日

落部達也, 安部賀央里, 頭金正博

「Machine learning models for predicting hepatotoxicity and renal toxicity based on HESS toxicological test database」

NCU アジア拠点校シンポジウム 2019 Best Poster Award 2019年12月6日

山下美紗季

NCU アジア拠点校シンポジウム 2019 Best Poster Award 2019年12月6日

榊原由子, 落部達也, 甘利涼香, 頭金正博

「ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期せん妄の発症要因に関する研究」

医療薬学誌論文賞 (医療薬学 Vol.45, No.4, 195-207, 2019)



## 7 進路および就職状況

薬学部・薬学研究科卒業生（修了者）進路調（2019年度卒業）

学部

2020年4月1日現在（単位：人）

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業 含む)	就職決定者 (有職者・自営業 含む)	就職先業種別	就職地域別							計	就職 未決定者	進学・その他			
				市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他			進学・その他			
100 (51)	57 (37)	57 (37)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)		
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学院進学	39 (13)		
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学（他学部）進学	1 (0)		
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学（別科）進学	0 (0)		
			E 製 造 業	1 食品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)	1 (1)	海外の大学・大学院進学	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	9 (5)	2 (1)	3 (0)		15 (7)	公務員試験準備	0 (0)	
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	その他(進路未定を含む)	3 (1)	
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	計	43 (14)	
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	※別途、人数を集計してください 既の有職者（現職継続） 0 (0) 自営 0 (0)		
				8 電気・情報通信機器器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)		1 (1)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (0)			
			I-2小売業	1 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (5)					
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)		2 (2)			
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	5 (4)	10 (8)	1 (1)	1 (0)	5 (3)	1 (1)	3 (2)	26 (19)					
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業（その他）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	4 (2)							
計	8 (5)	11 (9)	3 (3)	1 (0)	22 (14)	4 (3)	8 (3)	57 (37)								
全体の地域別割合	14.0%	19.3%	5.3%	1.8%	38.6%	7.0%	14.0%	100.0%								
女子の地域別割合	(13.5%)	(24.3%)	(8.1%)	(0.0%)	(37.8%)	(8.1%)	(8.1%)	(100.0%)								

( ) は女子で内数

大学院博士前期課程

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業 含む)	就職決定者 (有職者・自営業 含む)	就職地域別 就職先業種別	就職地域別							計	就職 未決定者	進学・その他				
				市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他			アルバイト・パート	0 (0)			
40 (13)	27 (8)	27 (8)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	大学院進学	11 (4)		
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	海外の大学・大学院進学	1 (0)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	専門学校進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
			製 造 業	E-1 食品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (0)	1 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				E-2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				E-3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	1 (1)
				E-4 化学工業・石油・石炭製品	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (3)	5 (1)	2 (0)		17 (5)		計	13 (5)
				E-5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	※別途、人数を集計してください	
				E-6 汎用・生産業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	既に有職者(現職継続)	0 (0)
				E-7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	自営	0 (0)
				E-8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				E-9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				E-10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)			
			I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)					
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)	1 (0)	0 (0)	5 (2)					
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)								
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)							
計	2 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	15 (6)	6 (1)	3 (0)	27 (8)									
全体の地域別割合	7.4%	0.0%	3.7%	0.0%	55.6%	22.2%	11.1%	100.0%									
女子の地域別割合	(12.5%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(75.0%)	(12.5%)	(0.0%)	(100.0%)									

( ) は女子で内数

大学院博士後期・博士課程

卒業者	就職希望者 (有職者・自営業 含む)	就職決定者 (有職者・自営業 含む)	就職先業種別	就職地域別							計	就職 未決定者	進学・その他			
				市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他			進学・その他			
14 (8)	13 (7)	13 (7)	A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)		
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	大学院進学	0 (0)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)
			E 製 造 業	1 食品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)		0 (0)	1 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	1 (1)
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	2 (2)		0 (0)	4 (3)	計	1 (1)
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	※別途、人数を集計してください 既に有職者(現職継続) 5 (4) 自営 0 (0)	
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			I-2小売業	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		1 (1)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		1 (1)			
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			O-1学校教育	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)		3 (1)			
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			P-1医療業・保健衛生	1 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		3 (1)			
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)			
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計	4 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (1)	2 (2)	2 (1)	13 (7)								
全体の地域別割合	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%	30.8%	15.4%	15.4%	100.0%								
女子の地域別割合	(28.6%)	(14.3%)	(0.0%)	(0.0%)	(14.3%)	(28.6%)	(14.3%)	(100.0%)								

( ) は女子で内数

## 8 在籍者名簿

名古屋市立大学院薬学研究科（薬学部）所属教員一覧

(2019年4月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦			家田 直弥 川口 充康
	精密有機反応学	樋口 恒彦	梅澤 直樹	久松 洋介	
	薬品合成化学	中村 精一	近藤 和弘		山越 博幸
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦		
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透	豊玉 彰子	
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	佐藤 匡史	矢木 宏和	
	分子生物薬学	白根 道子		中津海洋一	
	薬物送達学	尾関 哲也		田上 辰秋	
	マイクロRNAゲノム創薬学		藤井 陽一		
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明		寺坂 和祥 石内勘一郎	
	衛生化学	肥田 重明	伊藤佐生智		
	遺伝情報学	星野 真一		細田 直	尾上 耕一
	細胞分子薬効解析学	山村 壽男		鈴木 良明	
	病態生化学	服部 光治		築地 仁美 河野 孝夫	
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭		保嶋 智也	山城 貴弘
	病態解析学	青山 峰芳		岩城壮一郎	
	細胞情報学	林 秀敏	井上 靖道		
	神経薬理学	条 和彦	大澤 匡弘	富田 淳	
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博			安部賀央里
	病院薬剤学	木村 和哲 (兼務)	日比 陽子 (兼務)	堀田 祐志 西出 景子 (兼務)	(特任助教) 野村 有紀 (特任助教) 竹内まどか
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	岩尾 岳洋	菊池 千草 坡下 真大	(特任助教) 堺 陽子
附属研究所 創薬基盤科学研究所					
連携大学院	腫瘍制御学 (県がんセンター研究所)	青木 正博 <small>客員教授</small> 小根山千歳 <small>客員教授</small>	藤下 晃章 <small>客員准教授</small>		
	加齢病態制御学 (国立長寿医療センター研究所)	飯島 浩一 <small>客員教授</small>	木村 展之 <small>客員准教授</small> 関谷 倫子 <small>客員准教授</small>		
	医薬品質保証学 (国立医薬品食品衛生研究所)	佐藤 陽治 <small>客員教授</small> 伊豆津健一 <small>客員教授</small>			
	生命動態制御学 (自然科学研究機構)	青木 一洋 <small>客員教授</small>	奥村 久士 <small>客員准教授</small>		
	医薬品医療機器審査科学 (医薬品医療機器総合機構)	大澤 智子 <small>客員教授</small>			

専攻	講座	分野	学年		博士前期課程			博士後期課程			博士課程				非正規生	
			1年	2年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年					
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	ARI MERVE 鈴木 脩平 中村 旭良 古瀬 友梨	伊藤 聖人 菰田 潮 齋藤 大介 本部 竜馬			太田 悠平									
		精密有機反応学	大谷 紘生 矢野 雄輝 山口 真史	北川 宙輝												
		薬品合成化学	安藤 龍志 小林 誠 山下 智圭 梁 宇源	伊藤 翼 大迫 将弥 斎藤 彩有里												
		機能分子構造学												坂崎 美香		
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	寺本 光 二宮 里帆	丹羽 恭平 古澤 遥									鈴木 瑠理子			
		コロイド・高分子物性学	佐藤 結 藤田 みのり 三木 裕之	西尾 文貴	青山 柚里奈											
		生命分子構造学	梅澤 芙美子 佐々木 雄大	小藤 加奈 齋藤 泰輝		柚木 康弘 與語 理那										
		分子生物薬学	國松 滯奈 林 直希 松本 悠希 山畑 育子		中野 友香											
		薬物送達学	古閑 健人 近藤 康人 中村 和哉 彭 姝瑗 馬 佳倩	小松 美穂 LIU JIN	ALGHURABI, HAMID SADEQ KHALEEL		石川 治雄 善田 直樹		後藤 瑛一							

専攻	講座	学年	博士前期課程		博士後期課程			博士課程				非正規生		
			1年	2年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年			
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	奥村 雄一	許 鑫 近藤 泰嗣 倪 昊	大野 雄也 丁 科文		山田 亜紀						許 玲玉	
		衛生化学		滝藤 遥希 藤岡 直人				北野 拓真		森川 ありさ				
		遺伝情報学	菅野 大志 山口 奈都美	大石 結香 合田 凌也 宮原 彰太								稲垣 佑都		
		細胞分子薬効解析学	黒瀬 梨沙 出口 朱理 三島 寛貴	栗栖 紘基 小澤 拓海 澤井 優輝 楯野 真也			佐伯 尚紀 山村 英斗	稲垣 奏 川出 有希子	近藤 るびい	鈴木 貴久	野田 さゆり			
		病態生化学	重信 奉文 中尾 洋介 中島 鼓美	石井 圭介 大嶋 智葉 興梠 勝成			荻野 ひまり				近藤 佑多			
	医療薬学	薬物動態制御学	奈良 佳幸 間竹 勇	難波 莉子	篠田 裕太郎				秋野 翔伍					
		病態解析学	泉 和弥	白川 菜由 安富 栄人				大塚 勇斗 鳥内 皐暉	近藤 崇雄					
		細胞情報学	柏原 翔陽 菅野 真由美 水野 佑哉	杉田 直央 渡辺 信			西川 佐紀子 Baatar Bolormaa	徳川 宗成				川原田 祐貴		
		神経薬理学	上田 莉奈 加藤 善章 渡邊 僚介	石崎 千晶 岩城 杏奈	菊川 孝 山口 翔	高 天翔	佐藤 由美	稲波 千尋 小林 里帆	中川 寛之	宮本 啓補				
		レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学	亀位 涼 魏 捷	落部 達也 早瀬 稔起				浅野 邦仁 八木 聡美 野中 友香 後藤 貴浩			渡邊 崇			
		病院薬剤学	西川 敦士					早川 優子	森 泰毅	富田 なつみ 長水 正也	前田 琴美			
		臨床薬学		小川 勇 外山 智視	中西 杏菜	杉本 章 TSEDENBAL NARANTUYA 邱 施萌	小枝 暁子 坂本 栄 齊藤 将之	山下 美紗季	野田 雅人			榑原 明美 塚 陽子 堀場 亜佐子 青木 啓将 成田 敦貴	RAGHDA MOUSTAFA ABDELFATTAN	
		腫瘍制御学							三谷 文美絵					
		加齢病態制御学			山城 梨沙									
		医薬品質保証学		小林 健也										
	生命動態制御学													



## 2019年度卒業研究実習研究室配属

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	北村 紗枝 古屋敷 帆乃花	安藤 雄大	岡 由実奈	鳥居 志深 野中 美香 吉川 侑佳	倉地 彩花 中嶋 雄哉 山口 遥己
精密有機反応学	程 方舟	上松 昌幸	吹上 雄大	加藤 舞子	橋本 英典
薬品合成化学	石黒 達也	服部 泰之	木村 昂平	伊藤 壮祐 瀧川 皓太郎 野口 公寛	近藤 直記 高柳 優太
機能分子構造学			山田 夏海		
生体超分子システム解析学	鈴木 礼奈 棚橋 佑吏 松浦 哉太 吉田 圭佑	井倉 利佳子 篠田 桃 寺口 昌伸 那須 友葉	中田 康介 中野 敦思 川添 拓朗 小坂 朱里 與那覇 和希	村井 洸士 山田 真季	近藤 大介
コロイド・高分子物性学	佐々木 さやか 篠田 弥依 杉浦 一希 藤居 美奈	赤井 志帆 駒沢 穂乃佳 坂本 万由子 南 まどか	曲 嘉 山本 和史 大矢 絢香 竹田 優志 福島 文徳	平井 綾音 藤澤 貫平 山口 めぐみ	井岡 未優 石神 瑛圭 山田 望
生命分子構造学	太田 知世	渡辺 東紀男	シム ジンボ	沈 佳娜 西村 誠司 山本 菜	山田 梨乃
分子生物薬学	大平 巧 加藤 洸 中嶋 弘樹 森 正樹	金高 陸人 高橋 勇人 種子島 智哉 森 千伽子	佐藤 希帆 徐 美香 竹本 龍介 中村 優里	山本 敬太郎	大田 雄大 中本 遥菜 森田 敬子 和田 万理子
薬物送達学	幾世 真琳 岡村 麻矢 木田 理沙子 辰巳 真里奈	梶屋 昌史 岸 花笑 桑田 絵里子 玉越 知樹	森村 知紗 伊藤 恵里奈 北原 恵 鯉江 真帆	伊藤 潤 神谷 宝 恒川 勇太	井上 智貴 花木 彩香 山本 菜緒

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
生薬学	田下 優菜 南雲 秋穂 皆見 香里 安田 彩乃	石井 智子 玉田 彩 野村 史夏 春田 綾乃	杉浦 由姫 十川 志穂 平澤 明日香 三田村 実秋	日置 真太郎 満仲 安紀 渡邊 瞬	新谷 円華
衛生化学	石川 怜 占部 彩花 緒方 郁奈 松井 優佳	井上 ひかる 岸田 啓太郎 佐々木 駿吾 山田 理子	竹内 亮人 林 知仁 前原 有紀子 元木 優也	梅田 凌河	伊藤 佑真
遺伝情報学	隠岐 興一 都島 大知 寺山 七夢 中村 亮太	塩倉 翔 豊原 有希	飯塚 悠 永川 由依 笠井 詩織 中山 綾乃	石川 裕之 中北 侑希 西井 由佳	田中 幸嗣 中島 朋香
細胞分子薬効解析学	宮木 理子	柴原 映美菜 島 菜摘 藤原 萌園	石田 昌 平井 聖司	加藤 由納 川田 成紀 中島 七海	片山 大樹
病態生化学	五反田 逸孝	渥美 奈央	石塚 拓巳 森 由紀子 上原 理加	安藤 飛悠吾 梅村 悠太 大宅 真太郎	加藤 由真
薬物動態制御学	東 洋輔 小西 拓実 田中 雄大	唐木 祐理恵 種山 侑希 矢嶋 陽菜	黒田 大祐 山下 紗瑛奈 山原 由梨香 小川 有沙	難波 知堯 牧平 伊代	細岡 晶 三宅 浩平
病態解析学	荒木 早和子 荏田 柁人 立松 由衣 野村 知宏	木原 星衣 木村 優花 戸崎 友梨 益川 成美	大石 大祐 太田 桃花 木村 友香 村上 絢香	加藤 里菜 福田 直哉	櫻木 章 曾山 樹
細胞情報学	服部 友香 早川 由璃香 平丸 航太郎	油谷 綾夏 市岡 美友紀 金尾 佳美 堀 優華	内田 滯 尾関 優 桂川 結貴 吉田 航	安達 晴喜 鯨井 千実	金子 沙羅 柘田 昂毅 三浦 真仁
神経薬理学	松村 兼吾	小樋 翔太 鈴木 博子 向山 凜 村上 千翔子	原 純太	酒井 皓介 西 風花 三宅 遼	中井 慎也 羽鳥 聖七 山崎 久朗
医薬品安全性評価学	秋田 彩佑 島田 裕脩 東野 竜空 中村 良太	黒田 侑花 坂部 彩 高田 和季 半田 有紀	甘利 涼香 大矢 和幸 中嶋 琢人 宮路 康平	家田 維哉 片山 早紀 中森 瑞季	鈴木 政晴
病院薬剤学	伊藤 寛人 熊澤 杏早子 瀬崎 らら 中田 菜美	中島 晃 森 菜々香 森 悠香梨 吉川 麻優 佐野 里沙子	川田 龍哉 日高 隼也 松田 夏鈴 三宅 玲香 山内 歌恋	森 玲花	柴山 真純
臨床薬学教育研究センター	有田 彩夏 西 萌奈 西野 真衣 水野 由梨 山名 美帆 渡邊 ちひろ	伊藤 匠 神崎 稚菜 小林 華奈 田中 日向子 田中 李奈 山下 みずき	小田切 州広 神納 由美 瀬浪 孟明 中山 瑞希 山口 京子	岩崎 萌実 深谷 壮弥	徳島 優樹 松村 将成

## 2019年度研究員名簿

許可NO.	配属分野	氏名
1	臨床薬学	坂本 明彦
2	臨床薬学	梅原 健太
3	神経薬理学	乗本 裕明
4	神経薬理学	李 佳憶
5	神経薬理学	駱 宇鑫
6	病態解析学	竹下 覚
7	生薬学	小西 徹
8	生体超分子システム解析学	井上 悠
9	生体超分子システム解析学	足立 浩章
10	生体超分子システム解析学	宮地 克真
11	生命分子構造学	平松 佳永
12	生命分子構造学	千田 紀代美
13	生命分子構造学	服部 久美子
14	生命分子構造学	矢木 真徳
15	生命分子構造学	谷山 怜子
16	生命分子構造学	谷中 冴子
17	生命分子構造学	鈴木 達哉
18	生命分子構造学	関口 太一朗
19	生命分子構造学	水野 まい子
20	薬物送達学	Shaimma Mohamed Ramadan Elabd Ibrahim
21	生薬学	太田 美里
22	生薬学	趙 伯陽
23	生薬学	大渡 勝史
24	生薬学	高 勝莉
25	遺伝情報学	山本 肇
26	細胞分子薬効解析学	北原 文乃
27	薬物動態制御学	石黒 雅江
28	薬物動態制御学	山本 俊輔
29	病態解析学	齊藤 美加
30	病態解析学	小泉 恵子
31	病態解析学	後藤 洋
32	病態解析学	垣田 博樹
33	細胞情報学	中田 佳宏
34	細胞情報学	吉田 康子
35	神経薬理学	小笠原 治
36	神経薬理学	歌 大介
37	神経薬理学	竹内 雄一
38	臨床薬学	三木 健義
39	臨床薬学	李 亜玲
40	医薬品安全性評価学	長部 誠
41	病院薬剤学	須藤 遥
42	病院薬剤学	真川 明将
43	病院薬剤学	片岡 智哉
44	病院薬剤学	三村 佳久
45	臨床薬学	美馬 伸治
46	病態生化学	山影 祐子
47	病院薬剤学	中村 大学
48	遺伝情報学	福島 真
49	遺伝情報学	野木森 拓人
50	薬物送達学	Alghurabi, Hamid Sadeq Khaleel
51	病院薬剤学	和知野 千春
52	薬物送達学	Mariana Miyagi
53	病院薬剤学	加藤 順子
54	薬物動態制御学	辻田 麻紀
55	生薬学	王 慶源
56	生薬学	楊 黄琪子
57	臨床薬学	寺島 純一
58	薬物送達学	野田 剛弘
59	薬物送達学	福重 香
60	薬物送達学	竹内 堂朗

許可NO.	配属分野	氏名
61	薬物送達学	Ahmed Hassan Ibrahim Ali Abuelkhair
62	生薬学	大岩 優貴
63	生薬学	牧 靖人
64	薬物送達学	Esraa Ibrahim Abdelmaksod Shaaban
65	薬物送達学	Mohammed Manna

教員採用・昇任・退職

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職・移動先等
採用	病院薬剤学	特任助教	野村 有紀	H31.4.1	愛知学院大学薬学部
採用	病院薬剤学	特任助教	竹内 まどか	H31.4.1	愛知学院大学薬学部
採用	レギュラトリーサイエンス	助教	安部 賀央里	H31.4.1	特任助教
採用	細胞情報学	助教	宮嶋 ちはる	R1.5.1	浜松医科大学 助教
採用	分子生物薬学	助教	栗原 裕司	R1.9.1	横浜市立大学 特任助教
昇任	遺伝情報学	准教授	細田 直	R1.6.1	講師
昇任	薬化学	講師	川口 充康	R1.7.1	助教
退職	薬品合成化学	准教授	近藤 和弘	R1.5.24	逝去
退職	病態解析学	講師	岩城 壮一郎	R2.3.31	岐阜医療科学大学薬学部 准教授

職 員[2019年4月1日現在]

総合機器分析施設

衛生技師：加藤 節子，岩澤 加奈

薬学部事務室

事務長：木村 充江

学務係長：飯田 博之

主 事：林 香里，佐々木 綾，浅井 希美

事務系職員：諸岩 陽子，田中 美波，鶴岡 文代

総合情報センター田辺通分館-薬学部

分館長：白根 道子（分子生物薬学分野教授兼務）

司 書：吉根 佐和子

事務系職員：佐橋 まゆみ，河村 紫乃子

職員の異動（2019年3月31日～）

異 動：浅井 希美（2019年4月1日主事採用←事務系職員）

丹羽 隆 （2019年3月31日退職）

山田 俊也（2019年3月31日退職）

加藤 節子（2019年3月31日退職→再任用）

荻原 彩乃（2019年3月31日→教育研究課へ異動）

鶴岡 文代（2019年4月1日新規採用）

河村 紫乃子（2019年4月1日新規採用）

2019 年度 名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書

自己評価・点検委員会

担当者： 湯浅博昭（責任者），井上靖道，田上辰秋